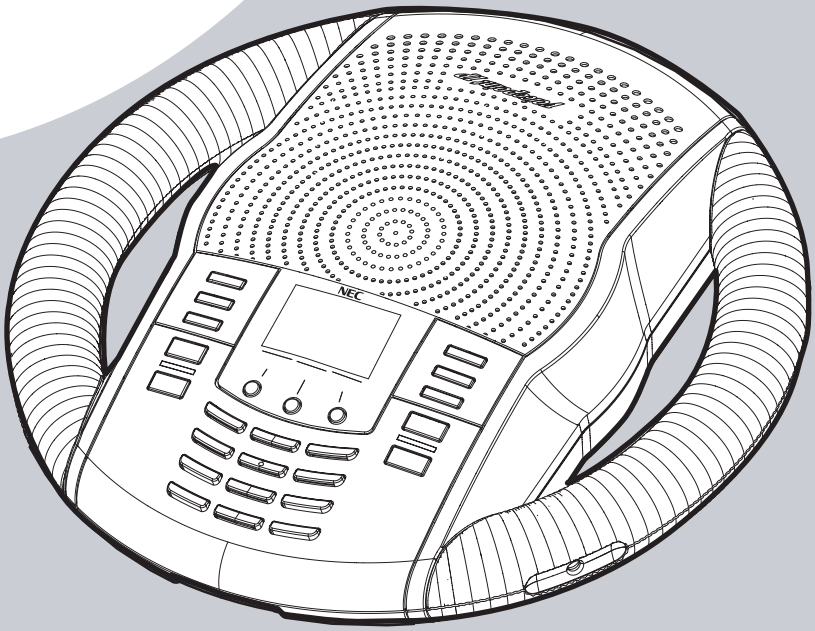
voicepoint® IP

NEC

AEC-70M/70/70i/70P

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は、音声会議装置「Voicepoint IP AEC-70M/70/70i/70P」
の使用方法について説明しています。



安全性について
第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章
第8章
第9章
第10章
第11章

NECエンジニアリング

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

警告マークについて

本書で使用している表示と図記号の意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本書をお読みください。

⚠	**警告**	この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡するまたは重傷を負うおそれが想定される内容を示しています。
⚠	**注意**	この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負うおそれが想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

警告表示の種類

	発煙または発火のおそれが想定されることを示しています。
	感電のおそれが想定されることを示しています。
	けがを負うおそれが想定されることを示しています。
	安全のため、機器の分解を禁止することを示しています。
	安全のため、電源コードのプラグを必ず抜くように指示するものです。
	安全のため、アース線を必ず接続するように指示するものです。

電源に関するご注意

警告

- AC100V±10V（50/60Hz）の家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。異なる電圧で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグに金属などが触れると火災、感電の原因となります。
- 電源コードの上に物を載せないでください。コードの損傷にから、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの接続は、テーブルタップ、分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。コンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタは、必ず本装置に添付のものをお使いください。ほかのものを使用すると、火災、故障の原因となります。

注意

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードの損傷による火災、感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグおよびACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグをコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本装置に触れないでください。感電の原因となることがあります。
- 機器を接続する場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントに接続したまま機器を接続すると、感電の原因となることがあります。

保管および使用環境に関するご注意

警告

- 本装置を風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所では使用しないでください。
- 設置環境条件は温度5～40℃／湿度20～80%です（結露しないようにご注意ください）。

注意

- 本装置を油飛びや湯気のあたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本装置を直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 本装置を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）に置かないでください。落ちてけがの原因となることがあります。
- 本装置を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちてけがの原因となることがあります。
- ラジオやテレビの受信している付近で使用しないでください。ラジオやテレビにノイズが入ったり、本装置の動作が異常になることがあります。

»» 禁止事項

警告

- 本装置の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれたり、中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。
- アース線は、絶対にガス管につながないでください。
- 当社サービスマン以外は、本装置を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本装置を直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

注意

- 本装置や電源コードを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本装置の通気孔などの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本装置の上に乗ったりしないでください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 本装置の使用直後は、装置内部に発熱する部分があるため、手を触れるとやけどをするおそれがあります。

»» 異常時およびトラブルに関するご注意

警告

- 万一、本装置の内部に水等が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- 万一、本装置を落としたり、破損したりした場合、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コード等が傷んだときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

注意

- 落雷のおそれがあるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて使用をお控えください。雷によって、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器を接続したりしないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れに関するご注意

注意

- 本装置のお手入れの際は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 必ずアース線を接続しないと、感電、故障の原因となります。
- ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品では拭かないでください。変形、変色の原因となります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。
- 液晶画面を強くこすったり、押したりしないでください。故障やトラブルの原因になります。
- ほこりやゴミが付いた場合、ブロアーブラシで拭きはらってください。また汚れがひどい場合は、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 万一、液晶画面が破損した場合は、破片などでけがをするおそれがありますので十分ご注意ください。

廃棄時のご注意

本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただくか、お買い求めの販売店にご依頼ください。

輸出する際のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

商標・知的財産権について

■ 商標について

- VoicepointはNECエンジニアリング株式会社の登録商標です。
- UNIVERGEは日本電気株式会社の登録商標です。
- Ethernetは米国Xerox Corporationの登録商標です。
- PolycomおよびPolycomロゴは米国Polycom, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoftは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Internet Exprolerは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。

■ 知的財産権について

- 本製品にはGNU General Pablic license（GPL）、GNU Lesser General Public license（LPGL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれます。
- 本製品で使用しているソフトウェアの大部分はBSDライセンスの著作とGNUのパブリックライセンスの条項に基づいて自由に配布することができます。ただし、アプリケーションの中には、その所有者に所有権があり、再配布に許可が必要なものがあります。
- 本製品で使用しているオープンソースコードについては弊社へお問い合わせください。

著作権情報

本装置は、Dr Brian Gladman が著作権を所有しているソフトウェアが一部含まれています。
Copyright (C) 2001, Dr Brian Gladman <brg@gladman.me.uk>, Worcester, UK.All rights reserved

■ ライセンス条件：

ソース形式およびバイナリ形式での本ソフトウェアの無料配布および使用（変更の有無にかかわらず）は、次の条件を満たしている場合にのみ許可されます。

- 本ソースコードの配布には、上記著作権通知、本条件および次の免責事項を含める。
- バイナリ形式の配布には、マニュアルおよびその他の関連文書（またはそのいずれか）に、著作権通知、本条件および以下の免責事項を含める。
- 書面による許可なしに、著作権保有者の名称を、本ソフトウェアを使用した製品の保証を目的として使用しない。

■ 免責事項

- 本ソフトウェアは、現状のままで提供されるもので、目的に対する正当性や適合性に限らず、その内容に関して、一切、保証を行いません。

目　次

安全にお使いいただくために ii
　警告マークについて ii
　警告表示の種類 ii
　電源に関するご注意 iii
　保管および使用環境に関するご注意 iii
　禁止事項 iv
　異常時およびトラブルに関するご注意 iv
　お手入れに関するご注意 v
　廃棄時のご注意 v
　輸出する際のご注意 v
　情報処理装置等電波障害自主規制について v
商標・知的財産権について v
著作権情報 vi

第 1 章　お使いになる前に 1-1

本装置の特長 1-2
箱の中身を確認する 1-4
　オプション品 1-4
各部の名称 1-5
　本体 1-5
　アナログ電話用アダプタ／ハンドセット用アダプタ 1-7
ディスプレイの見方 1-8

第 2 章　本体を接続・起動する 2-1

IP 回線およびアナログ電話回線に接続する 2-2
　IP 回線に接続してご使用になる場合 2-2
　一般のアナログ電話回線に接続してご使用になる場合 2-2
PHS、携帯電話、パソコンに接続する 2-3
　PHS ／携帯電話を接続する 2-3
　パソコンと接続する 2-4
　　パソコンのライン入出力コネクタと接続する 2-4
　　パソコンのラインマイク、ヘッドホンコネクタと接続する 2-4
デジタル電話機に接続する 2-5
AC アダプタを接続する 2-6
起動画面を確認する 2-7
本体をスタンバイ状態に設定／解除する 2-8
　スタンバイに設定する 2-8
　スタンバイを解除する 2-8
通話モードを設定する 2-9

IP 電話モードで使用する場合 2-9
アナログ電話モードで使用する場合 2-9
オーディオ接続モードで使用する場合 2-9
ハンドセット接続モードで使用する場合 2-10
本体を設置する 2-10
1 ～ 2 人の少人数で使用する場合 2-10
4 人以上の人数で使用する場合 2-10
外部音声入出力機器を使用する場合 2-11

第 3 章　本体を設定する 3-1

アナログ電話回線を使用する 3-2
ダイヤルモードを設定する 3-2
切断モードを設定する 3-3
IP 回線を使用する 3-4
IP ネットワークの設定 3-4
PPPoE の設定 3-5
DHCP ／ IP アドレスの設定 3-6
DHCP を使用する場合 3-6
DHCP を使用しない場合 3-6
DNS サーバの設定 3-7
IP マスカレードの設定 3-8
＜エコーサーバ＞ 3-8
＜アドレス解決＞ 3-8
＜「エコーサーバ」を使う＞ 3-9
＜「アドレス解決」を使う＞ 3-9
VLAN の設定 3-10
オプションの設定 3-11
＜暗号化＞ 3-11
＜ TOS ＞ 3-12
＜ PING 応答＞ 3-12
IP 電話の設定 3-13
接続プロトコルの設定 3-13
音声コーデックの設定 3-14
着信モードの設定 3-14
SIP に関する設定 3-15
＜ SIP サーバ＞ 3-15
＜サーバアドレス＞ 3-15
＜アカウント＞ 3-16
＜パスワード＞ 3-16
＜ IP-TEL ＞ 3-16
＜ SIP-URI ＞ 3-17
＜サーバ選択＞ 3-17

H.323 に関する設定 3-18
＜ゲートキーパ＞ 3-18
＜ゲートキーパアドレス＞ 3-18
＜ H.323-ID ＞ 3-19
＜ IP-TEL ＞ 3-19
オーディオ接続を設定する 3-20
モードを設定する 3-20

第 4 章　電話機能を使用する 4-1

IP 電話で通話する 4-2
電話をかける（発信） 4-2
相手のダイヤル番号を入力して、直接電話をかける 4-2
＜オンフックダイヤル＞ 4-2
＜オフフックダイヤル＞ 4-2
ダイヤル履歴から電話をかける 4-3
電話帳から電話をかける 4-3
電話を受ける（着信） 4-4
保留する 4-5
転送する 4-5
複数地点に電話をかける（IP 多地点接続機能） 4-6
通話中に別の地点に電話をかける（発信） 4-6
相手のダイヤル番号を入力して、直接電話をかける 4-6
ダイヤル履歴から電話をかける 4-6
電話帳から電話をかける 4-7
電話帳から一斉に電話をかける（一斉発信） 4-7
通話中に電話を受ける（着信） 4-8
電話を切る（切断、多地点接続の場合） 4-8
通話中の 1 地点を切断する 4-8
通話中のすべての地点を一斉に切断する 4-8
アナログ電話を使用する 4-9
電話をかける（発信） 4-9
相手のダイヤル番号を入力して、直接電話をかける 4-9
＜オンフックダイヤル＞ 4-9
＜オフフックダイヤル＞ 4-9
ダイヤル履歴から電話をかける 4-10
電話帳から電話をかける 4-10
電話を受ける（着信） 4-11
保留／転送する 4-11
ハンドセット接続を使用する 4-12
オーディオ接続を使用する 4-13
音声ミキシングを使用する 4-14
音声ミキシングの組み合わせパターン 4-14

IP 電話とアナログ電話 4-14
IP 電話とオーディオ接続（PHS、携帯電話／パソコン） 4-14
アナログ電話 + オーディオ接続（PHS、携帯電話／パソコン） 4-15
通話中に別の地点に電話をかける（発信） 4-17
通話中に電話を受ける（着信） 4-18
電話を切る（切断、音声ミキシング時の場合） 4-18
スピーカ音量を調節する 4-19
マイクオフする 4-20
マイクオフを使用する 4-20
リモートマイク制御を使用する 4-20

第 5 章　電話帳を登録する 5-1

電話帳を登録する 5-2
電話帳を登録する 5-2
電話帳を登録する 5-2
電話帳を履歴から登録する 5-3
電話帳を削除する 5-3
電話帳を編集する 5-4
一斉電話帳に登録する 5-5
一斉電話帳に登録する 5-5
通話モードを選択する 5-5
電話帳から登録する 5-6
一斉電話帳を削除する 5-7
一斉電話帳を編集する 5-7

第 6 章　外部音声機器を接続する 6-1

外部音声機器を使用する 6-2
専用マイクを使用する 6-2
音声入出力機器を使用する 6-3
マイクミキサやモニタスピーカを接続する場合 6-3
音声入力機器を接続する場合 6-3
音声出力機器を接続する場合 6-4
ヘッドホン・マイクを接続する場合 6-5
録音機器を接続する 6-6

第 7 章　管理者設定を変更する 7-1

管理者設定を変更する 7-2
管理者パスワードを入力する 7-2
一括設定を行う 7-3
設定を一括でセーブする 7-3
設定を一括でロードする 7-3
設定名を変更する 7-4

第 8 章　HTTP サーバ機能を使用する 8-1

HTTP サーバ機能を使用する 8-2
ログインする 8-2
ログアウトする 8-3
再起動する 8-4
設定の確認・変更をする 8-4
電話帳の登録・編集をする 8-4
環境設定の詳細 8-5
［音響］ 8-5
［効果音］ 8-7
［外部端子］ 8-9
［IP ネットワーク関連］ー［IP ネットワーク］ 8-10
［IP ネットワーク関連］ー［IP マスカレード］ 8-12
［IP オプション］ 8-13
［アナログ電話］ 8-15
［IP 電話］ 8-16
管理者設定の詳細 8-18
［地点名］ 8-18
［バージョンアップ］ 8-19
［オプションキー］ 8-20
一括設定の詳細 8-21
電話帳設定の詳細 8-22
［アナログ電話］ 8-22
［H.323］ 8-23
［SIP］ 8-24
［一斉発信］ー［H.323］ 8-25
［一斉発信］ー［SIP］ 8-26
［電話帳一括登録］ 8-27
インフォメーションの詳細 8-28

第 9 章　その他（ご参考） 9-1

LCD メニュー一覧 9-2
LCD 設定メニュー項目について 9-4
音響 9-4
効果音 9-5
外部端子 9-5
IP ネットワーク 9-6
アナログ電話 9-7
IP 電話 9-8
管理者 9-9
インフォメーション 9-10

第 10 章　主な仕様 10-1
主な仕様 10-2
キー一覧 10-4
ファンクションキー一覧 10-6
ポート番号一覧 10-8

第 11 章　こんなときは 11-1
切断コード一覧 11-2
H.323 の場合 11-2
SIP の場合 11-3
故障かな？と思ったら 11-5
保証書とアフターサービス 11-6

（準備編）
第１章　お使いになる前に

本装置をご使用になる前にお読みください。
本装置の機能と各部の特長、同梱品を確認できます。

本装置の特長

Voicepoint IPでは、次のようなことができます。

■ IP多地点接続*1

自局を含む最大6地点をIP電話で同時に通話することができます。また、センター局から各地点のマイクをリモート制御するリモートマイク制御を提供します。

■ 14kHz広帯域音声に対応した高音質

IP電話で接続時は14kHz広帯域音声の高音質な通話により、クリアで聞きやすい音声会議が可能です。

■ 音声ミキシング

音声ミキシング機能を搭載しました。「IP電話とアナログ電話」、「アナログ電話とオーディオ接続」、「オーディオ接続とIP電話」の3つのパターンが選べます。

■ PoE（HUB給電）に対応*2

IEEE802.3afに準拠したPoE（HUB給電）製品と組み合わせることで、電源の取りにくい場所でもLANケーブル一本の配線でIP電話による音声会議を行うことができます。

■ Webブラウザによる設定が可能

HTTPサーバ機能を搭載し、LANに接続したパソコンのWebブラウザ画面を見ながらメニュー設定、電話帳などの操作・登録を簡単に行うことができます。

■ 日本語表示

グラフィカルなLCDを搭載し、日本語表示での設定画面や、電話帳画面表示が可能になりました。また、ソフトウェアボタン、ポップアップ表示など、操作がより簡単になりました。

■ IP電話

SIP、H.323のプロトコルを使用しIPネットワークを経由して通話を行うことができます。

■ アナログ電話

アナログ電話用アダプタを使用しアナログ電話回線を経由して通話を行うことができます。

■ ハンドセット接続*1

ハンドセット用アダプタを使用しボタン電話機に接続、構内交換機等のデジタル電話回線を経由して通話を行うことができます。

■ オーディオ接続

PHS／携帯電話のイヤホンジャックと専用ケーブルで接続することで、電話回線がない場所でも音声会議を行うことができます。パソコンのライン入出力コネクタに接続することで、高音質なマイク、スピーカとして使用することができます。

■ 専用マイク接続

専用の外部マイクを接続するためのコネクタを提供します。

■ 外部音声機器接続

スピーカ、マイクミキサなどの外部音声入出力機器やヘッドセットマイクを接続可能なコネクタを提供します。

---

*1 AEC-70／70i／70Pはオプションでサポート

*2 AEC-70Pのみ対応

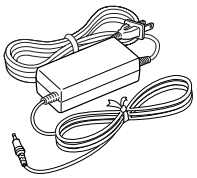
	AEC-70M （多地点モデル）	AEC-70 （エントリーモデル）	AEC-70i （IPモデル）	AEC-70P （PoE モデル：受注生産方式）
IP多地点接続	◎	○	○	○
14kHz広帯域音声	◎	◎	◎	◎
音声ミキシング	◎	◎	◎	◎
PoE（HUB給電）	-	-	-	◎
Webブラウザからの設定	◎	◎	◎	◎
日本語表示	◎	◎	◎	◎
IP電話	◎	◎	◎	◎
アナログ電話	◎	◎	○	○
ハンドセット接続	◎	○	○	○
オーディオ接続	◎	○	○	○
専用マイク	○	○	○	○
外部機器	○	○	○	○

◎：標準装備　　○：オプションサポート　　-：未対応

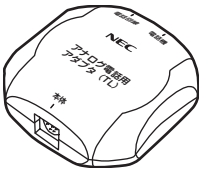
箱の中身を確認する

Voicepoint IPをご使用になる前に、箱の中身を確認してください。

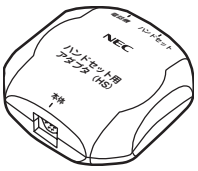
Voicepoint IP 本体
（AEC-70M/70/70i/70P）



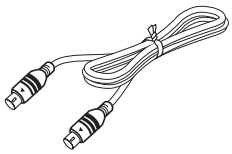
専用ACアダプタ
（AEC-70-PU）



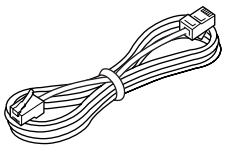
アナログ電話用アダプタ＊1
（AEC-70-TL）



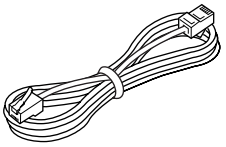
ハンドセット用アダプタ＊2
（AEC-70-HS）



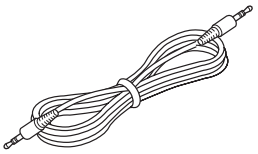
本体接続ケーブル
（AEC-70-C1）



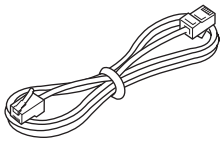
モジュラーケーブル
（AEC-60-C2）



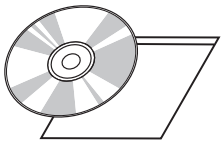
LAN ケーブル
（AEC-60-C9）



PHS／携帯電話接続用ケーブル＊2
（AEC-60-C4）



ハンドセット用
モジュラーケーブル＊2
（AEC-60-C1）



CD-ROM
（取扱説明書）

クイックガイド

保証書

＊1　AEC70i／70P ではオプションです。
＊2　AEC70 ／70i ／70P ではオプションです。

オプション品

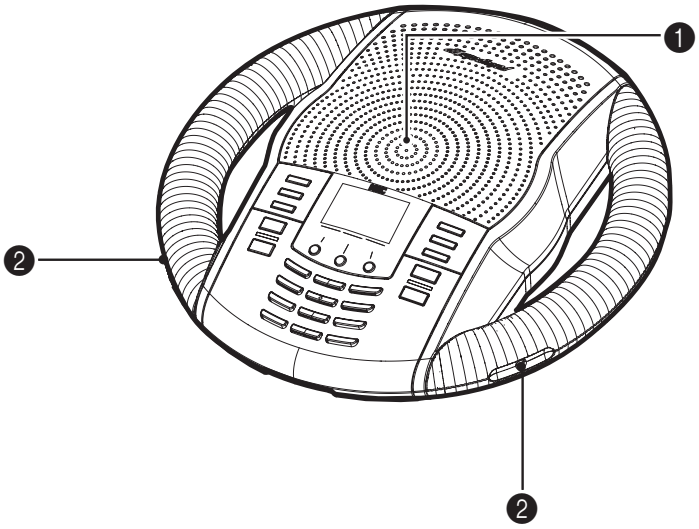
オプション品として、以下のものをご用意しています。

- ハンドセット用アダプタ（AEC-70-HS）
- PHS／携帯電話接続用ケーブル　1.5m（AEC-60-C4）
- パソコン接続用ケーブル 5m（AEC-60-C5）
- 外部機器接続用ケーブル 1m（AEC-60-C8）
- TV電話端末接続用ケーブル 5m（AEC-60-C6）
- 外部マイク（TC-2100MIC）

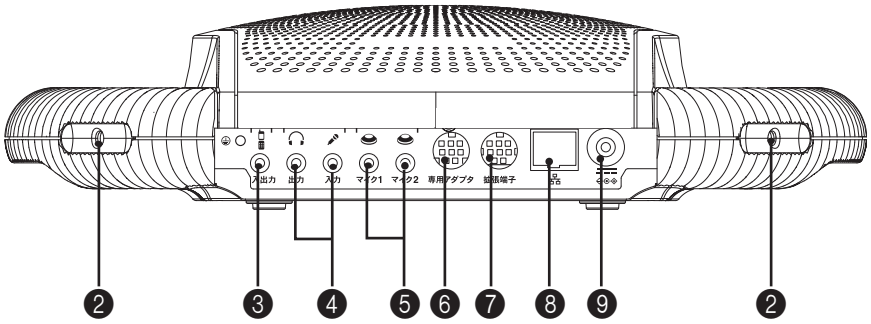
各部の名称

本体

【正面】

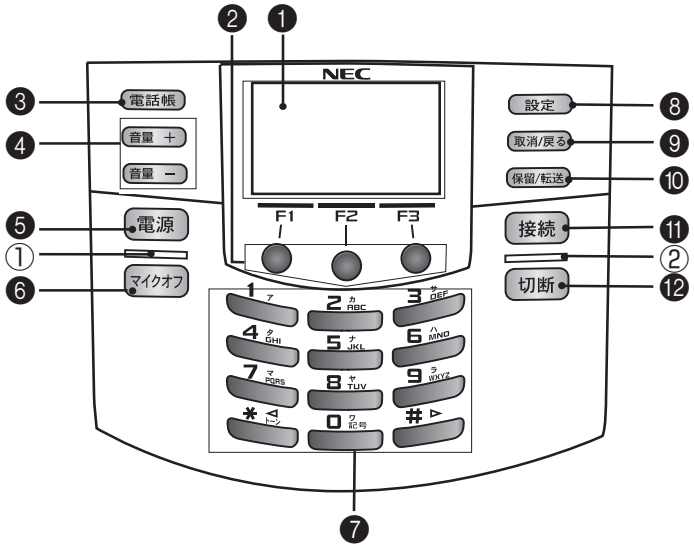


【背面】



名称	内容
❶ スピーカ	本体中央に1か所搭載されています。
❷ マイクロホン	本体に4か所搭載されています。
❸ オーディオ1コネクタ	PHS／携帯電話、パソコンの音声入出力コネクタ（ライン入出力コネクタ、ヘッドホン、マイクコネクタ）、または、録音機器を接続するコネクタです。
❹ オーディオ2コネクタ	外部音声入力機器（マイクミキサ、ヘッドセットマイク）、外部音声出力機器（外部スピーカ、ヘッドホン）等を接続するコネクタです。
❺ 専用マイクコネクタ	専用マイク（オプション）を接続するコネクタです。2本のマイクを接続することができます。
❻ 専用アダプタ	付属のアナログ電話用アダプタ、ハンドセット用アダプタを接続するコネクタです。
❼ 拡張端子	拡張用のコネクタです。
❽ LAN	IP ネットワークに接続するコネクタです。
❾ DC IN	専用AC アダプタのコネクタを接続します。

【操作部】



名称	内容
❶ **液晶（LCD）画面**	待ち受け、通話などの回線状態や設定メニュー、電話帳の内容を表示します。
❷ **ファンクションボタン**	F1、F2、F3のボタンの上に液晶画面に表示される機能アイコンを選択するときに使用します。
❸ **電話帳ボタン**	電話帳へ名前と電話番号、アドレスを登録するとき、また、電話帳を使用して電話をかけるときに使用します。
❹ **スピーカボリュームボタン**	スピーカ音量を調節するときに使用します。［音量+］ボタン押すとスピーカ音量が大きくなります。［音量-］ボタン押すとスピーカ音量が小さくなります。
❺ **電源ボタン**	待ち受け中にスタンバイにするとき、また、スタンバイから復帰するときに使用します。
❻ **マイクオフボタン**	通話中に自分の声を相手側に聞こえなくするマイクのON／OFFの切り替えに使用します。
❼ **ダイヤルボタン**	電話をかけるときや、文字、記号を入力するときに使用します。
❽ **設定ボタン**	設定メニューを表示するときや、入力した内容や設定した内容を確定するときに使用します。
❾ **取消／戻るボタン**	設定メニューで設定した内容や、入力した内容を確定せずに一つ前の画面に戻るときに使用します。
❿ **保留／転送ボタン**	アナログ電話やIP電話で保留・転送を行うときに使用します。
⓫ **接続ボタン**	電話をかけるとき、また、電話を受けるときに使用します。
⓬ **切断ボタン**	電話を切断するときに使用します。
① **電源／マイクオフランプ**	電源、マイクの状態を表示します。詳しくは下記の表をご覧ください。
② **接続／切断ランプ**	接続状態を表示します。詳しくは下記の表をご覧ください。

状態	［電源／マイクオフ］ランプ	［接続／切断］ランプ
スタンバイ	橙点灯	消灯
待ち受け	緑点灯	赤点灯
発信	緑点灯	緑点滅 または緑点灯
着信	緑点灯	赤点滅
通話	緑点灯	緑点灯
マイクオフ	赤点滅	緑点灯
保留	緑点灯	緑点滅
切断	緑点灯	赤点灯

アナログ電話用アダプタ／ハンドセット用アダプタ

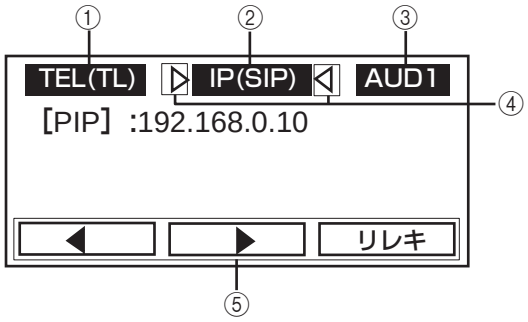
【アナログ電話用アダプタ】

【ハンドセット用アダプタ】

名称	内容
❶ **電話機**	電話機に接続します。
❷ **電話回線**	電話回線に接続します。
❸ **本体**	Voicepoint IP本体に接続します。
❹ **ハンドセット**	ハンドセットに接続します。
❺ **電話機**	電話機に接続します。
❻ **本体**	Voicepoint IP本体に接続します。

ディスプレイの見方

【待ち受け、通話状態】



①～③ケーブルが接続されて利用可能な状態の回線が表示されます。

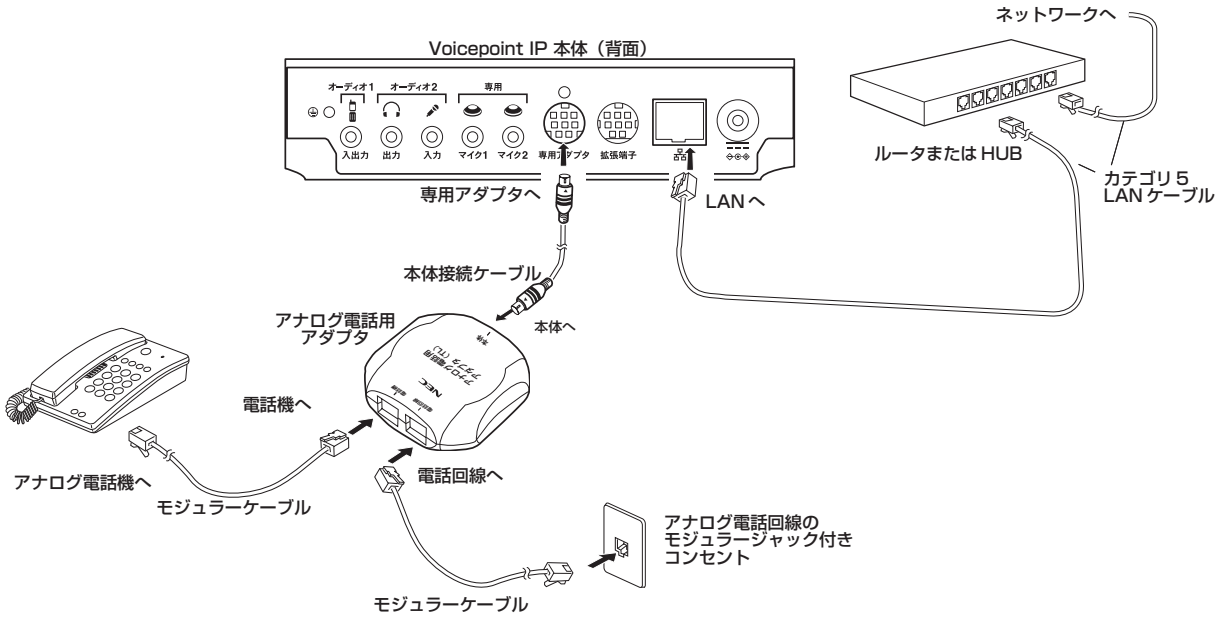
表示場所	アイコン	説明
①	TEL(TL)	アナログ電話回線を使用することができます。本体にアナログ電話用アダプタと電話回線が接続されているときに表示されます。
	TEL(HS)	ハンドセット接続を使用することができます。本体にハンドセット用アダプタが接続されているときに表示されます。
②	IP(SIP)	本体のLANコネクタにIP回線が接続されていて、IP電話のプロトコルにSIPが選択されている場合に表示されます。
	IP(323)	本体のLANコネクタにIP回線が接続されていて、IP電話のプロトコルにH.323が選択されている場合に表示されます。
③	AUD1	オーディオ接続を使用することができます。本体のオーディオ1コネクタにケーブルが接続されているときに表示されます。
④	▷ ◁	カーソルにより選択された①～③の回線から発信（または接続）、切断を行うことができます。
⑤	―――	画面に応じて使用できるアイコンが表示されます。ディスプレイに表示されているアイコンの直下にある［F1］～［F3］ボタンにより選択することができます。

通話状態では、接続回線のアイコンが点滅表示されます。
アイコンの詳細については、「ファンクションキー一覧」をご覧ください。

（準備編）
第２章　本体を接続・起動する

IP回線およびアナログ電話回線に接続する

ここでは、IP回線およびアナログ電話回線に接続する場合の説明をします。



IP回線に接続してご使用になる場合

① 付属のLANケーブルを、本体の「LAN」コネクタに差し込みます。

② LANケーブルの反対側をIP回線に接続されるルータやハブ等の「LAN」コネクタに差し込みます。

一般のアナログ電話回線に接続してご使用になる場合

① 付属の本体接続用ケーブルを「専用アダプタ」コネクタに差し込みます。

② 反対側をアナログ電話用アダプタの「本体」コネクタに差し込みます。

③ 付属の電話用モジュラーケーブルを、アナログ電話用アダプタの「電話回線」コネクタに差し込みます。

④ 反対側を電話回線のモジュラージャック付きコンセントに差し込みます。

⑤ また、アナログ電話用アダプタに電話機を接続する場合には、モジュラーケーブルをアナログ電話用アダプタの「電話機」コネクタに差し込みます。

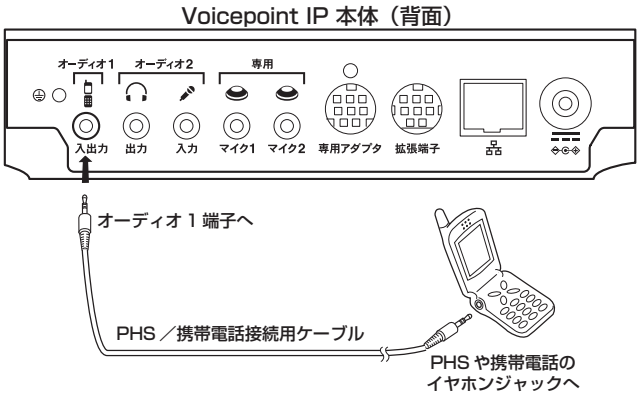
⑥ 反対側をアナログ電話の「モジュラー」コネクタに差し込みます。

重要　モジュラーケーブルを誤ってアナログ電話用アダプタの「電話機」コネクタに差し込まないでください。
TEL(TL) アイコンは表示しますが、発信／着信はできません。

PHS、携帯電話、パソコンに接続する

ここでは、専用のケーブルを使用して、PHS や携帯電話、パソコンに接続し、VoicePoint IP本体のマイク・スピーカを通じて、通話をする場合の説明をします。

PHS／携帯電話を接続する



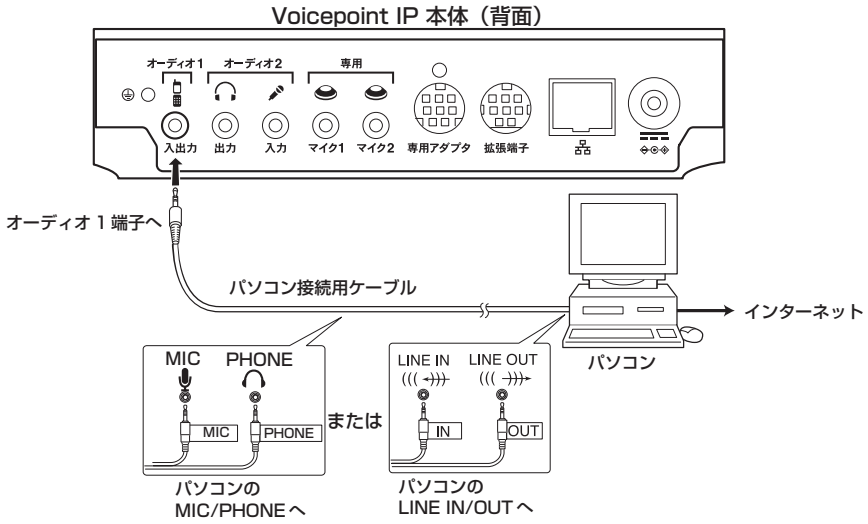
① 専用のPHS ／携帯電話接続用ケーブルを、「オーディオ1」コネクタに差し込みます。

② 反対側をPHS ／携帯電話のイヤホンジャックに差し込みます。

重要
- PHS／携帯電話の機種によっては、ご使用いただけないものがあります。
- PHS／携帯電話接続用ケーブルイヤホンジャック接続側のコネクタは丸型 φ2.5 ミニピンプラグとなります。
  お使いの携帯電話のイヤホンジャックが平型コネクタなど、異なる形状の場合は市販の変換アダプタを購入してください。

Point PHS／携帯電話接続用ケーブルは、AEC-70／70i／70Pではオプションです。

パソコンと接続する



パソコンのライン入出力コネクタと接続する

① 専用のパソコン接続用ケーブルを、「オーディオ1」コネクタに差し込みます。

② 反対側を、パソコンのライン入力、出力コネクタに差し込みます。

パソコンのラインマイク、ヘッドホンコネクタと接続する

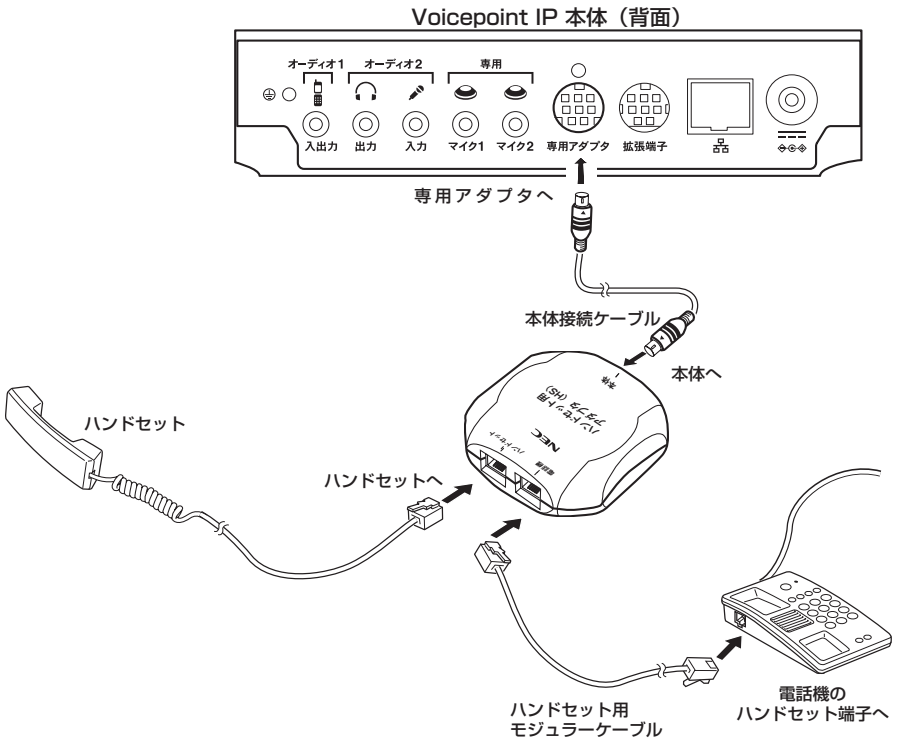
① 専用のパソコン接続用ケーブルを、「オーディオ1」コネクタに差し込みます。

② 反対側を、パソコンのマイク、ヘッドホンコネクタに差し込みます。

Point パソコン接続用ケーブルはオプションです。

デジタル電話機に接続する

ここでは、専用のハンドセット用アダプタを使用して、企業などの構内電話システム等で使用されるデジタル電話機に接続して、通話を行う場合の説明をします。



① 付属の本体接続ケーブルを、「専用アダプタ」コネクタに差し込みます。

② 反対側を、ハンドセット用アダプタの「本体」コネクタに差し込みます。

③ 付属のハンドセット用モジュラーケーブルを、ハンドセット用アダプタの「電話機」コネクタに差し込みます。

④ 反対側を電話機の「ハンドセット」コネクタに差し込みます。

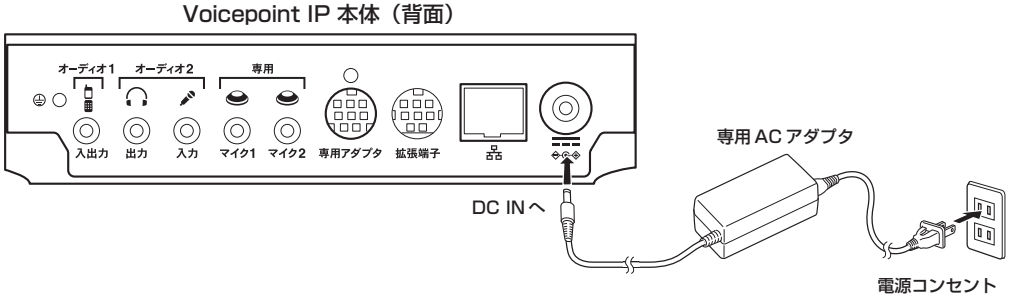
⑤ 電話機のハンドセットを、ハンドセット用アダプタの「ハンドセット」コネクタに差し込みます。

重要　電話機の種類によっては、接続できないものがあります。

Point　ハンドセット用アダプタは、AEC-70／70i／70Pではオプションです。

ACアダプタを接続する

ここでは、専用のACアダプタを接続する場合について説明します。ACアダプタを接続する前に、ご利用の目的に合わせて、回線ケーブルが正しく接続されているか確認してください。



① **専用AC アダプタを、本体の「DC IN」コネクタに差し込みます。**

② **AC アダプタをコンセントに差し込みます。**

PoE対応： AEC-70Pでは、IEEE802.3afに準拠したPoE（HUB給電）製品と組み合わせることで、専用のACアダプタを接続せずにご使用いただけます。

重要

- **必ず付属の専用ACアダプタをお使いになり、それ以外のものは絶対にご使用にならないでください。本体が故障する原因となります。**
- **電源を入れるには、本体と専用ACアダプタを接続した後、専用ACアダプタのACプラグをコンセントに差し込みます（本体に電源スイッチはありません）。**

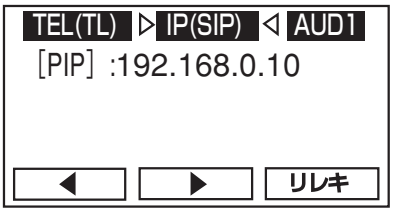
起動画面を確認する

ここでは、Voicepoint IP本体を起動する場合について説明をします。

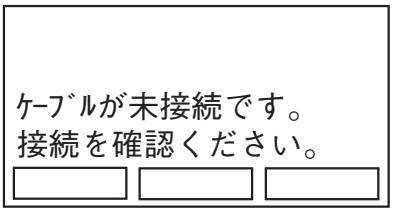
① 専用ACアダプタを本体とコンセントに差し込むと電源が入り、LCD 画面に起動画面が表示されます。

② 起動が完了すると、待ち受け画面が表示されます。

以下は「アナログ電話」、「IP電話」、「オーディオ接続」の3種類のケーブルが接接続された場合の待ち受け画面です。



以下の画面が表示される場合は、「IP 電話」、「アナログ電話」、「オーディオ接続」のうち、どのケーブルも接続されていない状態です。ご使用する回線ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。



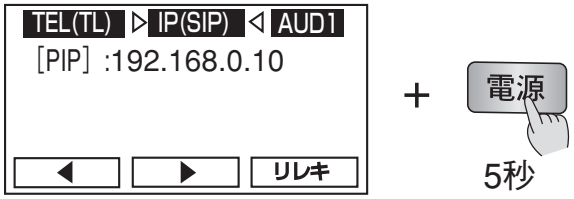
重要 **起動画面が表示されている間は、AC アダプタを本体のDC INコネクタおよび電源コンセントから外さないでください。**

本体をスタンバイ状態に設定／解除する

ここでは、本体の起動が完了後、本体をスタンバイに設定および解除する場合について説明します。

スタンバイに設定する

待ち受け中において、［電源］ボタンを５秒以上、押し続けてください。LCD画面が消えて、スタンバイ状態となります。また、オートスタンバイ機能により待ち受け状態で5分間以上操作が行われない場合には、自動的にスタンバイが設定されるオートスタンバイとなります。



スタンバイを解除する

スタンバイ状態において、［電源］ボタンを押します。スタンバイ状態が解除され、通話待ち受け画面が表示されます。

スタンバイ状態において、「IP電話」、「アナログ電話」の着信があった場合、スタンバイ状態が自動的に解除され、着信画面が表示されます。

重要　**通話、接続中の場合、スタンバイに設定することはできません。**

通話モードを設定する

ここでは、通話モードを選択する場合の操作について説明します。

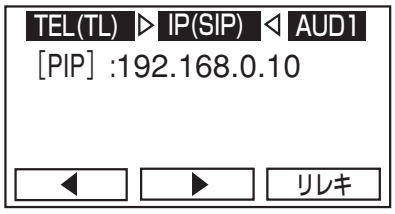
本装置では、以下の４つの回線（通話モード）を使用して電話をかけることができます。

IP電話モード	IP電話で通話する場合に選択します。
アナログ電話モード	アナログ電話で通話する場合に選択します。
オーディオ接続モード	PHS／携帯電話、パソコンに接続して本装置をマイク、スピーカとして通話する場合に選択します。なお、オーディオ接続時には電話機能（ダイヤル発信、着信など）はありません。
ハンドセット接続モード	電話機のハンドセットに接続して本装置をハンドセットの代わりにマイク、スピーカとして通話する場合に選択します。なお、ハンドセット接続時には電話機能（ダイヤル発信、着信など）はありません。

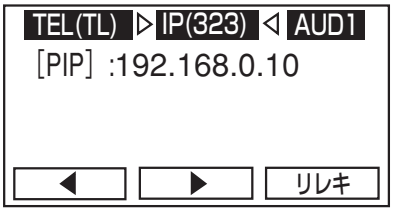
IP電話モードで使用する場合

① 待ち受け画面より［◀］(F1)［▶］(F2) ボタンを操作してカーソルを移動し、「IP (SIP)」または「IP (323)」を選択します。

以下は接続プロトコルに SIPが選択されている場合です。



以下は接続プロトコルに H.323が選択されている場合です。



Point LANケーブルが未接続の場合は、先にLANケーブルを接続してください。

アナログ電話モードで使用する場合

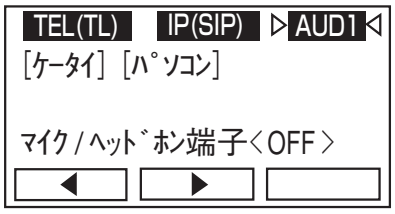
① 待ち受け画面より［◀］(F1)［▶］(F2) ボタンを操作してカーソルを移動し、「TEL(TL)」を選択します。

Point アナログ電話回線用アダプタを介してアナログ回線に接続してください。

オーディオ接続モードで使用する場合

① 待ち受け画面より［◀］(F1)［▶］(F2) ボタンを操作してカーソルを移動し、「AUD1」を選択します。

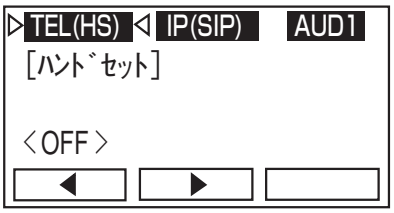
Point オーディオ１ケーブルを接続してください。



ハンドセット接続モードで使用する場合

① 待ち受け画面より［◀］（F1）［▶］（F2）ボタンを操作してカーソルを移動し、「TEL(HS)」を選択します。

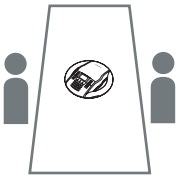
Point ハンドセット用アダプタを接続してください。



本体を設置する

ここでは、本装置を使用する環境について説明します。

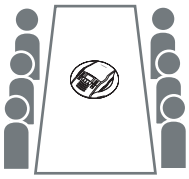
１～２人の少人数で使用する場合



1～2名で利用する場合には、Voicepoint IP本体を参加者の中央に置いて使用してください。参加者は、本体の正面と背面の対面に位置するように座ります。本体のマイク指向性を正面／背面に設定することで空調などの環境雑音等の影響を少なくすることができます。

マイク集音モードの切り替え方法については、本取扱説明書の「設定を変更する」を参照してください。

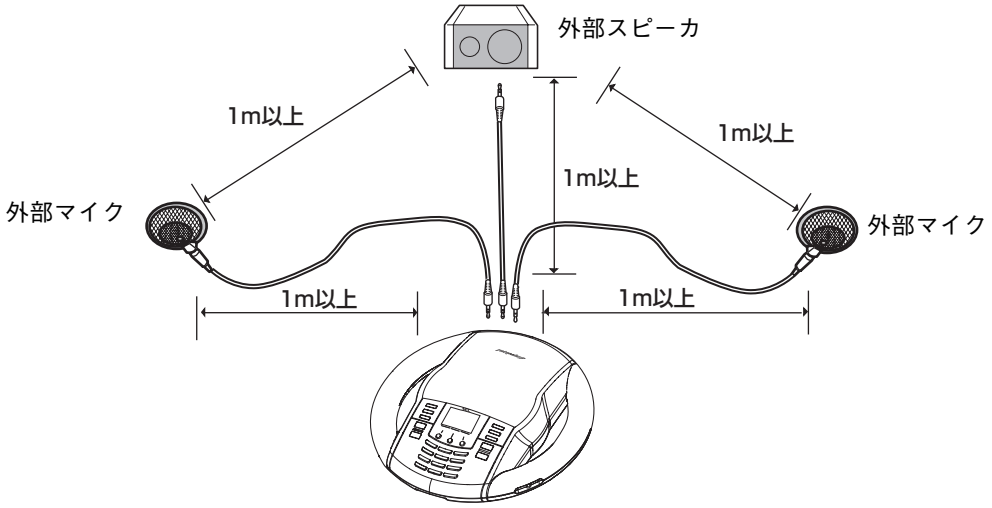
４人以上の人数で使用する場合



本体を参加者の中心に置いて使用してください。Voicepoint IP本体の内蔵マイクの集音範囲は、最大3m（推奨は1m）程度となります。さらに人数を増やして会議する場合には、専用の外部マイク（オプション）を本体に接続して利用できます。

マイク集音モードの切り替え方法については、本取扱説明書の「設定を変更する」を参照してください。

»» 外部音声入出力機器を使用する場合



外部スピーカや外部マイクミキサなどの音声入出力機器を接続してご使用する場合には、外部マイクと外部スピーカとの距離は、1m以上離して設置してください。

また、外部マイクミキサ、外部スピーカの音量を上げすぎると、エコーやハウリングが発生し、通話がしにくくなります。エコーやハウリングが発生する場合には、外部マイクミキサ、外部スピーカの音量を下げてください。

重要

- **本体のマイク、スピーカを、ふさいだり、壁のそばや、物をそばに置かないでください。**
- **残響の多い環境など、ご使用の環境によっては、エコーやハウリングが発生することがあります。残響や反響の少ない環境でお使いください。**
- **空調や機器のファンの吹き出し口など、雑音が多く発生する場所でのご使用は避けてください。**

メ モ

（準備編）

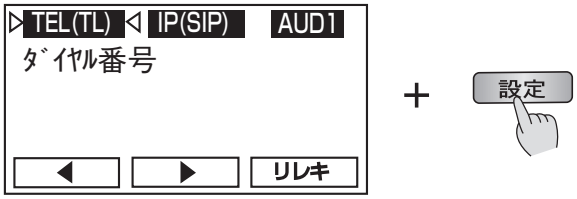
第３章　本体を設定する

アナログ電話回線を使用する

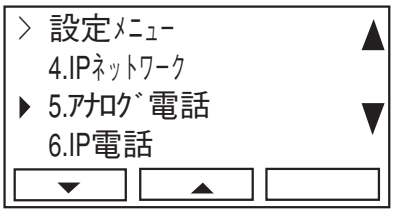
ここでは、アナログ電話回線を使用して通話する場合に必要な設定について説明します。

ダイヤルモード	使用する電話回線の種類を設定します。
切断モード	電話を切断する場合の動作モードを設定します。

① 待ち受け状態より［設定］ボタンを押してメニューを表示します。



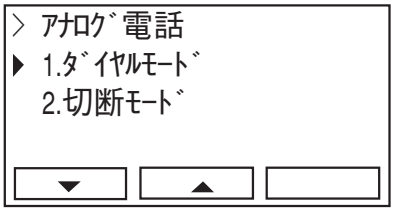
② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して“アナログ電話”を選択し、［設定］ボタンを押します。



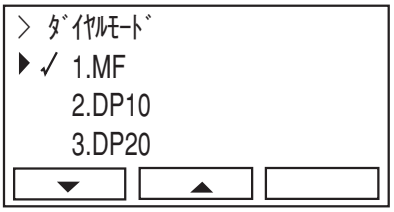
ダイヤルモードを設定する

MF	ご利用の電話回線が、トーン回線（DTMF）の場合
DP10	ご利用の電話回線が、ダイヤルパルス回線（20ppm）の場合
DP20	ご利用の電話回線が、ダイヤルパルス回線（10ppm）の場合

① アナログ電話メニューから、「ダイヤルモード」を選択して［設定］ボタンを押します。



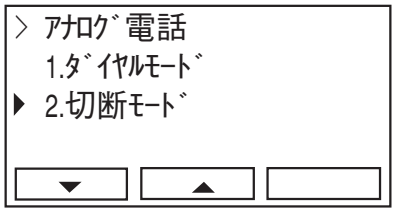
② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「MF」、「DP10」、「DP20」から、利用する電話回線に種類に合わせたダイヤルモードを選択し、［設定］ボタンを押して確定します。



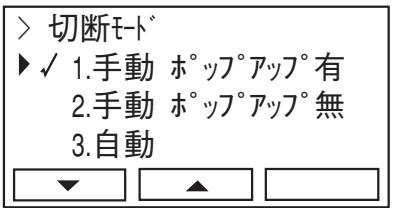
⋙ 切断モードを設定する

手動（ポップアップ無）	通話終了時に、通話モードをアナログ電話に設定して［切断］ボタンを押して、手動でアナログ電話回線を切断します。
手動（ポップアップ有）	通話終了時に、交換機のビジートーン信号を検出してポップアップメッセージが表示されます。ポップアップメッセージが表示されたら、通話モードをアナログ電話に設定して［切断］ボタンを押して、手動でアナログ電話回線を切断します。
自動	通話終了時に交換機のビジートーン信号を検出して、自動でアナログ電話回線を切断します。

① アナログ電話メニューから、「切断モード」を選択して［設定］ボタンを押します。



② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「手動　ポップアップ無」、「手動　ポップアップ有」、「自動切断」から、切断モードを選択、［設定］ボタンで確定します。



重要　**アナログ電話の自動切断は、お使いになる電話回線によってはビジートーンを検出できない場合があります。自動切断が動作しない場合には、切断モードを「手動」に設定してお使いください。**

IP回線を使用する

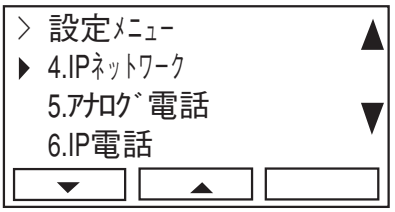
ここでは、IP 回線を使用する場合に、お使いのネットワークに合わせてIPネットワークおよびIP 回線に必要な設定を行います。

IPネットワークの設定

PPPoE	ADSL等の環境で使用する場合、プロバイダより付与されるユーザID／パスワードを登録します。登録後、本装置よりグローバルIPアドレスの取得を行います。
DHCP	DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合に使用します。また、DHCPサーバを使用しない場合は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。
DNSサーバ	DNSサーバを利用している場合にDNSサーバのIPアドレスを設定します。
IP マスカレード	エコーサーバとアドレス解決に関する設定を行います。
VLAN	VLANに関する設定を行います。
オプション	IPネットワークに関するオプション（暗号化、TOS、PING応答）の設定を行います。

① 待ち受け状態より［設定］ボタンを押してメニューを表示します。

② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「IP ネットワーク」を選択し、［設定］ボタンを押します。

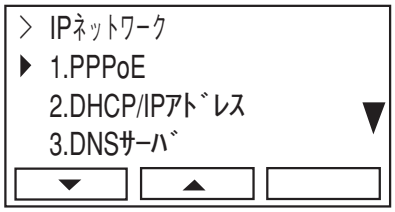


重要 **IPネットワークに関する詳しい設定については、IPネットワークを管理するシステム管理者の方に確認してください。**

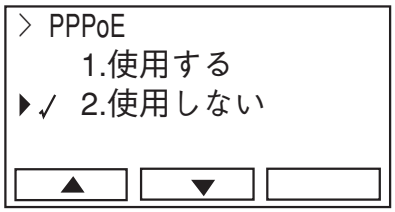
PPPoEの設定

PPPoE	ADSL等の環境で使用する場合、プロバイダより付与されるユーザID／パスワードを登録します。登録後、本装置よりグローバルIPアドレスの取得を行います。
ユーザID	プロバイダより付与されるユーザIDを設定します。
パスワード	プロバイダより付与されるパスワードを設定します。

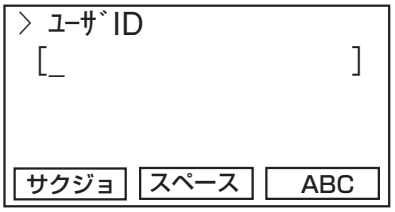
① IP ネットワークメニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「PPPoE」を選択し、［設定］ボタンを押します。



② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「使用する」または「使用しない」を選択し、［設定］ボタンで確定します。



③ 「使用する」を選択した場合はユーザIDの入力画面が表示されたら、ユーザIDを入力し、［設定］ボタンで確定します。



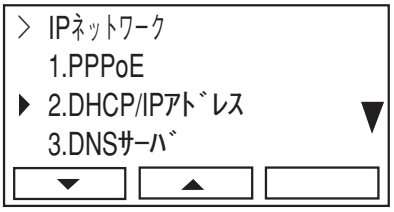
④ ユーザIDを入力するとパスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを入力し、［設定］ボタンで確定します。

≫ DHCP／IPアドレスの設定

DHCP	DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合に設定します。
IPアドレス	固定IPアドレスをお持ちの場合、IPアドレスを設定します。
サブネットマスク	IPアドレスのサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのアドレスを設定します。

DHCPを使用する場合

① IP ネットワークメニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「DHCP」を選択し、［設定］ボタンを押します。

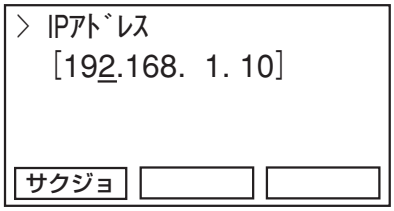


② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「使用する」または「使用しない」を選択し、［設定］ボタンを押します。

DHCPを使用しない場合

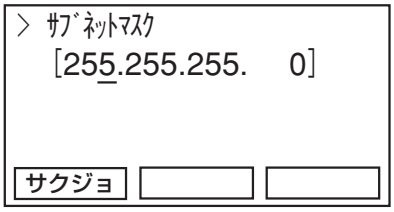
① 「使用しない」を選択した場合はIP アドレスの入力画面が表示されたら、“IP アドレス”を入力し、［設定］ボタンで確定します。

アドレス値は［0］～［9］ボタンで入力し、セグメントを移動する場合は、［＊］（◀）と［#］（▶）ボタンでカーソルを左右に移動します。



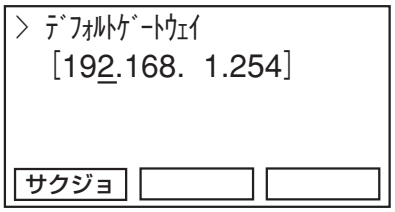
② IP アドレスを入力するとサブネットマスクの入力画面が表示されますので、サブネットマスクを入力し、［設定］ボタンで確定します。

サブネットマスク値は［0］～［9］ボタンで入力し、セグメントを移動する場合は、［＊］（◀）と［#］（▶）ボタンでカーソルを左右に移動します。



③ サブネットマスクを入力するとデフォルトゲートウェイの入力画面が表示されますので、デフォルトゲートウェイのアドレスを入力し、［設定］ボタンで確定します。

アドレス値は［0］～［9］ボタンで入力し、セグメントを移動する場合は、［＊］（◀）と［#］（▶）ボタンでカーソルを左右に移動します。



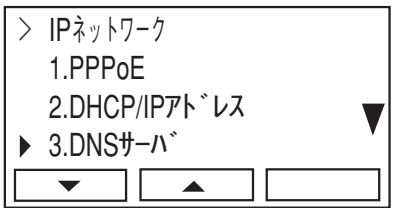
④ DHCP／IPアドレスの設定を変更した場合、設定値を有効にするため再起動が必要です。ポップアップメッセージが表示されたら、［設定］ボタンを押して再起動してください。

続けてDNSサーバの設定を変更する場合は、［取消／戻る］ボタンを押してDNSサーバの設定を行った後、再起動を行なってください。

DNSサーバの設定

DNSサーバ	DNSサーバを利用している場合、DNSサーバのIPアドレスを設定します。

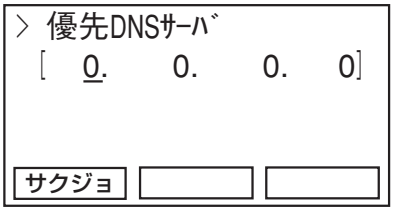
① IP ネットワークメニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「DNS サーバ」を選択し、［設定］ボタンを押します。



② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「優先DNS サーバ」を選択し、［設定］ボタンを押します。

③ 優先DNS サーバのIP アドレスを入力し、［設定］ボタンで確定します。

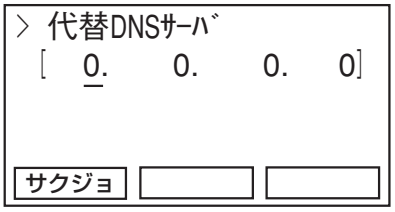
アドレス値は［0］～［9］ボタンで入力し、セグメントを移動する場合は、［*］（◀）と［#］（▶）ボタンでカーソルを左右に移動します。



④ ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「代替DNS サーバ」を選択し、［設定］ボタンを押します。

⑤ 代替DNS サーバのIP アドレスを入力し、［設定］ボタンで確定します。

アドレス値は［0］～［9］ボタンで入力し、セグメントを移動する場合は、［*］（◀）と［#］（▶）ボタンでカーソルを左右に移動します。



⑥ DNS サーバのアドレスの設定を変更した場合、設定値を有効にするため再起動が必要です。ポップアップメッセージが表示されたら、［設定］ボタンを押して再起動してください。

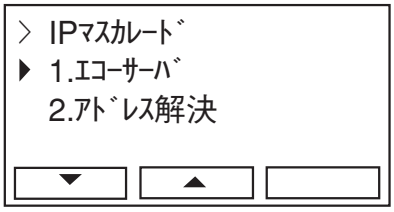
IPマスカレードの設定

エコーサーバ	エコーサーバを使用する場合に設定します。
アドレス解決	端末間でアドレス解決を行う場合に設定します。

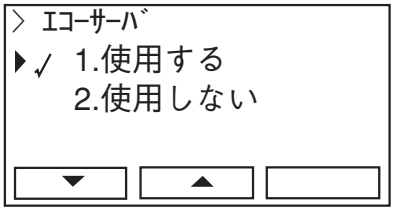
① IP ネットワークメニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「IPマスカレード」を選択し、［設定］ボタンを押します。

<エコーサーバ>

① ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「エコーサーバ」を選択し、［設定］ボタンを押します。

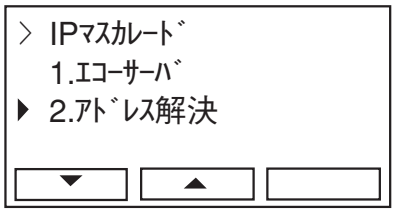


② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「使用する」または「使用しない」を選択し、［設定］ボタンで確定します。

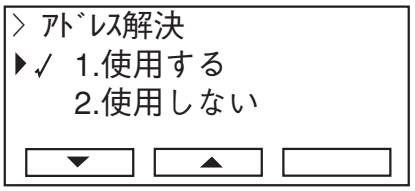


<アドレス解決>

① ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「アドレス解決」を選択し、［設定］ボタンを押します。



② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「使用する」または「使用しない」を選択し、［設定］ボタンで確定します。

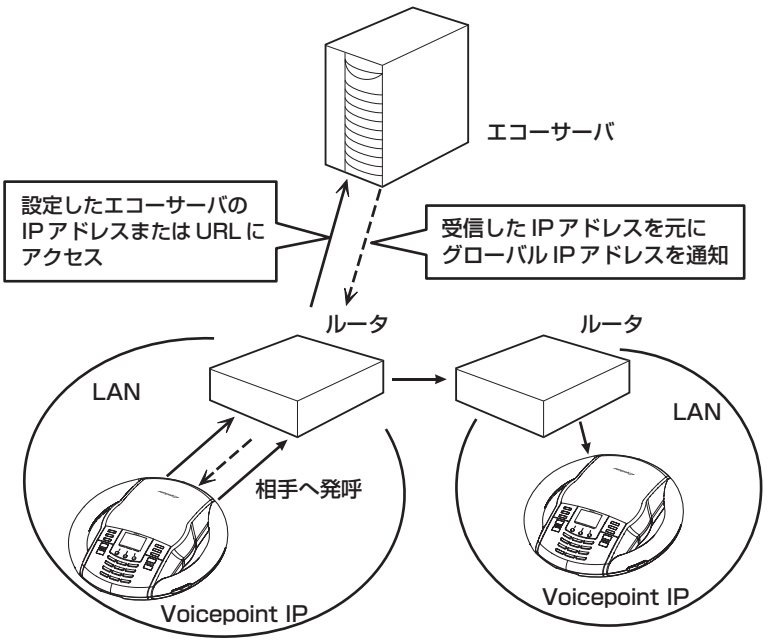


重要　プライベートIPアドレスを設定した状態でWAN通信を行う場合は、グローバルIPアドレスを参照する必要があります。

＜「エコーサーバ」を使う＞

指定したエコーサーバから自局のグローバルIP をエコーサーバより取得します。弊社エコーサーバのIP アドレスとURL は、あらかじめ設定されています。

ご使用する際、別途ルータにポートマッピングを行う必要があります。（設定の方法は、ルータの取扱説明書を参照してください。）

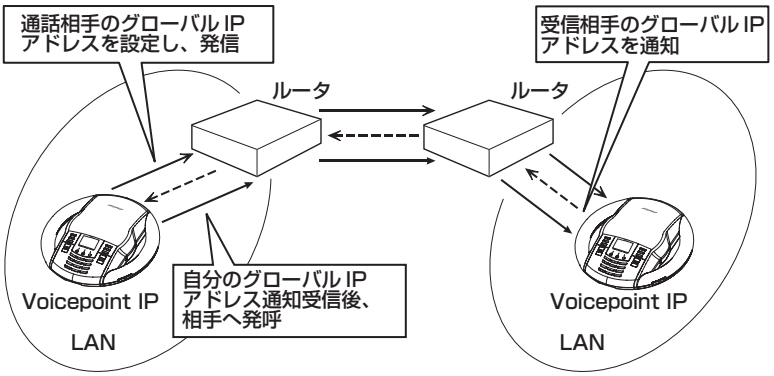


＜「アドレス解決」を使う＞

相手先のVoicepoint IP へ発信し、相手側のVoicepoint IP から、自局のグローバルIP アドレスを取得します。

ただし、相手先のVoicepoint IP がグローバルIP アドレスを取得してる必要があります。

その際、別途ルータにポートマッピングを行う必要があります。（設定の方法は、ルータの取扱説明書を参照してください。）



重要

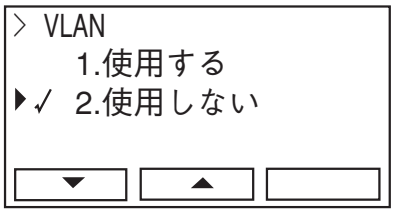
上記の設定項目で、実際は使用しない項目が、「使用する」に設定されていても、使用上は問題ありませんが、ネットワークのトラフィックを増加させる原因となりますので、実際に使用しない項目は「使用しない」に設定することをお勧めします。また使用するポート、および、「ポート番号一覧」を参照してください。

VLANの設定

VLAN	VLAN	VLANを使用する場合に設定します。
	CoS	VLANを使用する場合にCoS（Class of Service）の“0”～“7”の値を設定します。
	VLAN-ID	VLANを使用する場合にVLAN IDに“2”～“4094”の値を設定します。

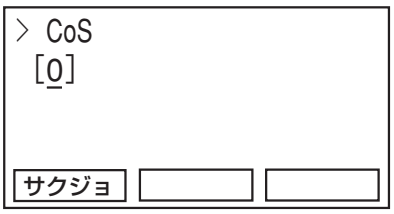
① IP ネットワークメニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「VLAN」を選択し、［設定］ボタンを押します。

② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「使用する」または「使用しない」を選択し、［設定］ボタンで確定します。



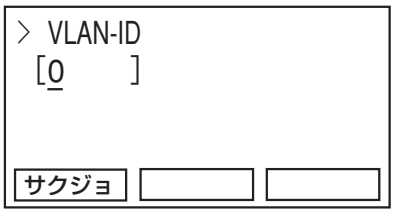
③ 「使用する」を設定した場合、CoSの入力画面が表示されたら、CoSフィールドに値を入力し、［設定］ボタンで確定します。

“CoS”フィールドは［0］～［7］ボタンで値を設定します。



④ CoSを設定した場合、VLAN-IDの入力画面が表示されたら、“VLAN-ID”フィールドに値を入力し、［設定］ボタンで確定します。

“VLAN-ID”フィールドは［0］～［9］ボタンで値を設定します。



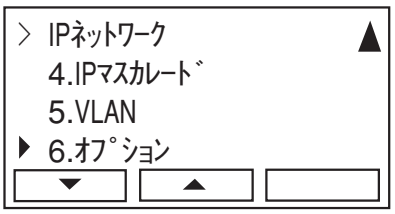
⑤ VLANの設定を変更した場合、設定値を有効にするため再起動が必要です。ポップアップメッセージが表示されたら、［設定］ボタンを押して再起動してください。

Point

- VLANとは、物理的に1つのLANにつながっていながら、論理的に分離したLANを実現する方法です。
- LAN で使用するフレームヘッダに VLAN-ID を含むタブ情報を挿入してフレーム単位でVLANを区別します。
- 本機能を使用する場合は、接続先のネットワーク管理者の指示に従って設定してください。

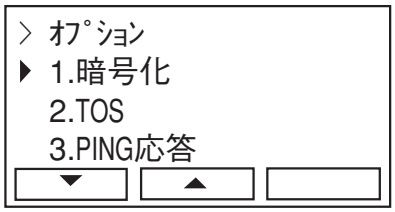
暗号化	暗号化	音声のRTPパケットをSRTP（SecureRTP）として、AESによる暗号化を行い、通信することで、特定端末間でのセキュアな通信する機能です。 特に、インターネットを利用した場合などにセキュリティを確保した会議ができます。
	暗号化キー	NEC独自の暗号化機能では、通信する相手先と同一の暗号化キーを登録しておく必要があります。8桁固定の暗号化キー（英数文字）を登録します。
TOS		IP通信を行う際の処理の優先度を設定します。設定を行った場合、送信するパケットのIPヘッダのToSフィルードにセットされ、IPネットワークに送信されます。 通常は変更しないでお使いください。
PING応答		PINGの応答設定をします。

IP ネットワークメニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「オプション」を選択し、［設定］ボタンを押します。

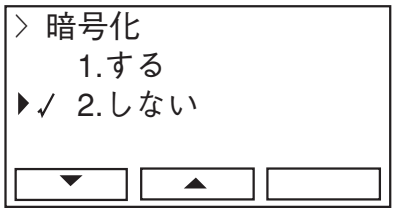


＜暗号化＞

① ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「暗号化」を選択し、［設定］ボタンを押します。

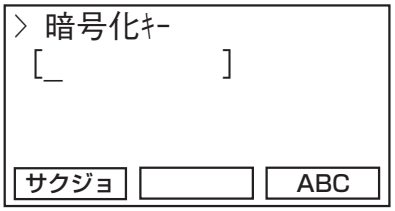


② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「する」または「しない」を選択し、［設定］ボタンで確定します。



③ 「使用する」を設定した場合、暗号化キーの入力画面が表示されたら、暗号化キーを入力し、［設定］ボタンで確定します。

“暗号化キー”は8桁の英数字（［0］～［9］ボタンで入力、アルファベット文字、数字は［ABC］［123］（F3）ボタンで切り替え）を入力します。

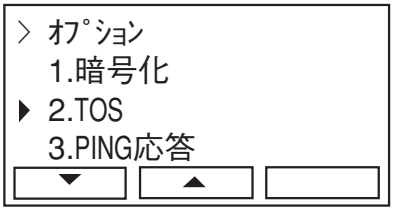


重要

- **暗号化に対応した機器同士以外の通信では、暗号化しない状態での通信となります。**
- **暗号化する設定で、相手の暗号化と異なる場合は、通信できません。**

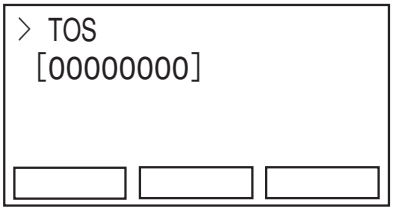
＜TOS＞

① **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「TOS」を選択し、［設定］ボタンを押します。**



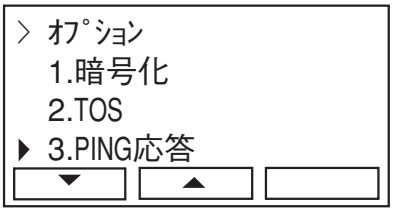
② **TOSフィールドの入力画面が表示されたら、TOSフィールドに値を入力し、［設定］ボタンで確定します。**

TOSフィールドは8桁のバイナリ値（[0]、[1] ボタンで）数値を入力します。

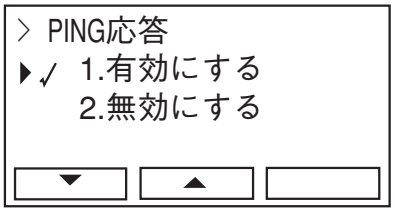


＜PING応答＞

① **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「PING応答」を選択し、［設定］ボタンを押します。**



② **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「有効にする」または「無効にする」を選択し、［設定］ボタンで確定します。**

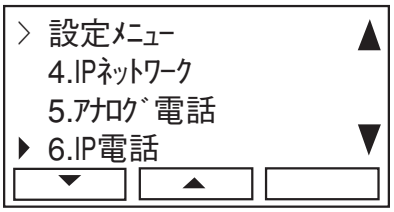


IP電話の設定

接続プロトコル	IP電話で使用する接続プロトコルを設定します。
音声コーデック	本装置で実装している4種類の音声コーデックから、通話接続時に優先して使用する音声コーデックを設定します。なお、接続プロトコルおよび、接続先の音声コーデック設定により、通話時に選択される音声コーデックが、設定した音声コーデックと異なることがあります。詳しくは、「音声コーデックの設定」を参照ください。
着信モード	電話着信の場合の動作モードを設定します。
SIP 設定	SIPサーバに関する設定を行います。
H.323 設定	H.323ゲートキーパに関する設定を行います。

① 待ち受け状態より［設定］ボタンを押してメニューを表示します。

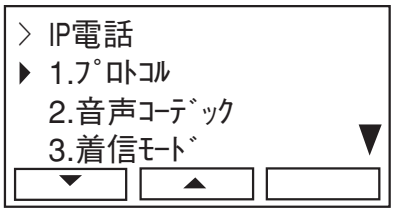
② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「IP 電話」を選択し、［設定］ボタンを押します。



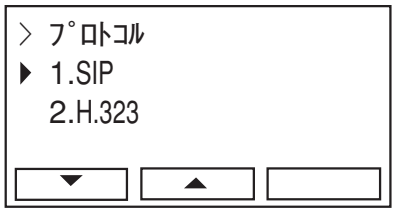
接続プロトコルの設定

SIP 設定	SIPサーバに関する設定を行います。
H.323 設定	H.323ゲートキーパに関する設定を行います。

① IP 電話メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「接続プロトコル」を選択し、［設定］ボタンを押します。



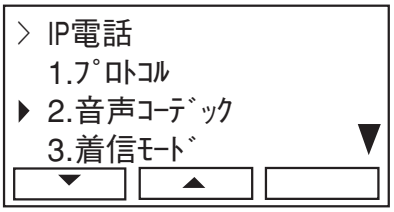
② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「SIP」または「H.323」を選択し、［設定］ボタンで確定します。



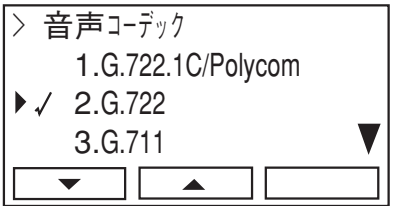
音声コーデックの設定

G.722.1C／Polycom	32kHzサンプリングのオーディオ符号化形式（14kHz帯域）
G.722	16kHzサンプリングのSB-ADPCM符号化形式（7kHz帯域）
G.711	8kHzサンプリングのμ-law符号化形式（3.4kHz帯域）
G.729A	8kHzサンプリングのCS-ACELP符号化形式（3.4kHz帯域）

① IP 電話メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「音声コーデック」を選択し、［設定］ボタンを押します。



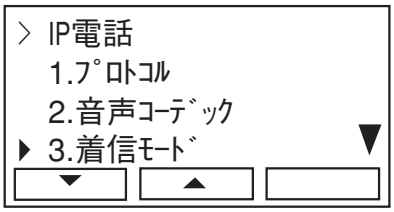
② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「G722.1C/Polycom」、「G.722」、「G.711」、「G.729A」から音声コーデックを選択し、［設定］ボタンで設定します。



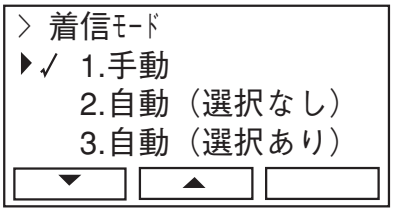
着信モードの設定

手動	IP電話着信時、「通話モード」をIP電話に設定、［接続］ボタンを押して手動でIP電話を着信します。
自動（選択なし）	IP電話着信時、自動でIP電話を着信します。
自動（選択あり）	IP電話着信時、電話帳に登録されている電話番号（もしくはIPアドレス）から発信された場合、自動でIP電話を着信します。未登録の場合は、着信を拒否します。

① IP 電話メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「着信モード」を選択し、［設定］ボタンを押します。



② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「手動」、「自動（選択なし）」、「自動（選択あり）」から「着信モード」を選択し、［設定］ボタンで確定します。

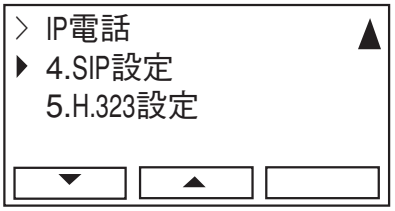


SIPに関する設定

SIP サーバ	SIP サーバで使用する場合、IP アドレスの番号による発信ではなく、固有の電話番号による接続が可能です。*1
サーバアドレス	SIP サーバのIP アドレスを設定します。
アカウント	ユーザID、パスワードのアカウントを設定します。
パスワード	
IP-TEL	IP アドレスと異なる固有のIP電話番号を設定します。
SIP URI	SIP サーバのドメイン名を「IP 電話番号@ドメイン」の形式で設定します。
サーバ選択	SIP サーバ選択を指定します。

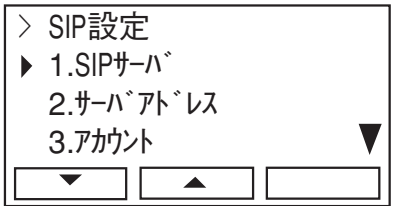
*1 SIP サーバの設定に関する詳しい設定については、SIP サーバを管理されるシステム管理者の方に確認してください。

IP 電話メニューから［▼］(F1) または［▲］(F2) ボタンを押して「SIP 設定」を選択し、［設定］ボタンを押します。

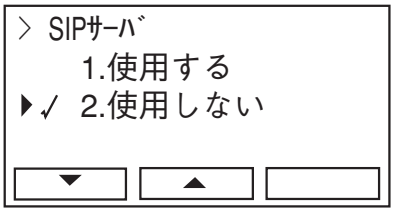


＜SIPサーバ＞

① SIP 設定メニューから［▼］(F1) または［▲］(F2) ボタンを押して「SIP サーバ」を選択し、［設定］ボタンを押します。

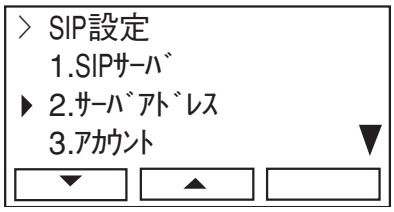


② ［▼］(F1) または［▲］(F2) ボタンを押して「使用する」または「使用しない」を選択し、［設定］ボタンで確定します。



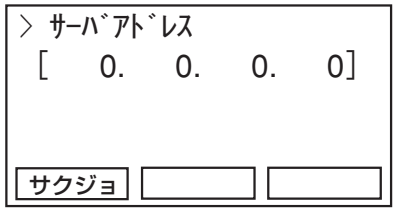
＜サーバアドレス＞

① SIP 設定メニューから［▼］(F1) または［▲］(F2) ボタンを押して「サーバアドレス」を選択し、［設定］ボタンを押します。



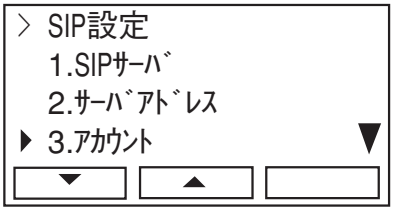
② サーバのIPアドレスの値を入力し、［設定］ボタンで確定します。

アドレス値は［0］～［9］ボタンで入力し、セグメントを移動する場合は、［*］(◀) と［#］(▶) ボタンでカーソルを左右に移動します。



＜アカウント＞

① **SIP 設定メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「アカウント」を選択し、［設定］ボタンを押します。**

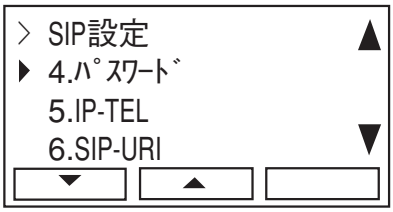


② **サーバのアカウント値を入力し、［設定］ボタンで確定します。**

アカウント値は最大64桁の英数字（［0］～［9］ボタンで入力、アルファベット文字、数字は［ABC］［123］（F3）ボタンで切り替え）を入力します。

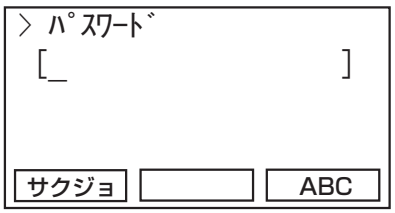
＜パスワード＞

① **SIP 設定メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「パスワード」を選択し、［設定］ボタンを押します。**



② **サーバのパスワード値を入力し、［設定］ボタンで確定します。**

パスワード値は最大64桁の英数字（［0］～［9］ボタンで入力、アルファベット文字、数字は［ABC］［123］（F3）ボタンで切り替え）を入力します。

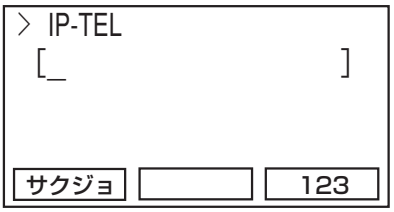


＜IP-TEL＞

① **SIP 設定メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「IP-TEL」を選択し、［設定］ボタンを押します。**

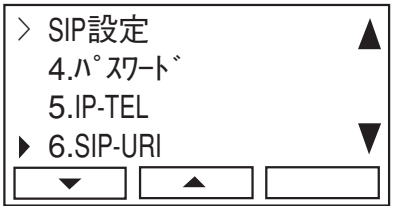
② **IP-TELの値を入力し、［設定］ボタンで確定します。**

IP-TELの値（電話番号）は［0］～［9］ボタンで入力し、セグメントを移動する場合は、［＊］（◀）と［#］（▶）ボタンでカーソルを左右に移動します。



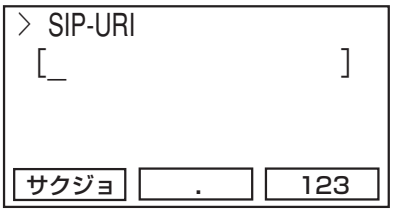
＜SIP-URI＞

① **SIP 設定メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「SIP-URI」を選択し、［設定］ボタンを押します。**



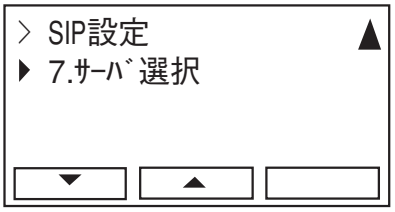
② **SIP-URI の値を入力し、［設定］ボタンで確定します。**

SIP-URI 値は最大64桁の英数字（［0］～［9］ボタンで入力、アルファベット文字、数字は［ABC］［123］（F3）ボタンで切り替え）を入力します。

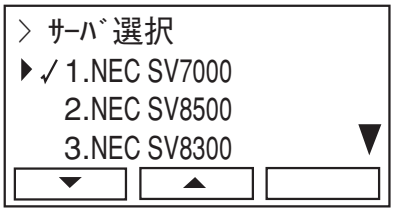


＜サーバ選択＞

① **SIP 設定メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「サーバ選択」を選択し、［設定］ボタンを押します。**

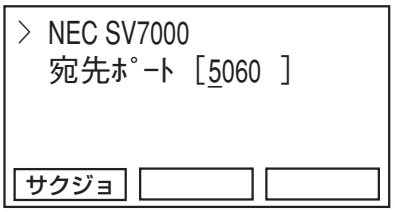


② **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押してサーバの型番を選択し、［設定］ボタンで確定します。**



③ **宛先ポート番号の値を入力し、［設定］ボタンで確定します。**

宛先ポート番号は、［0］～［9］ボタンで入力します。

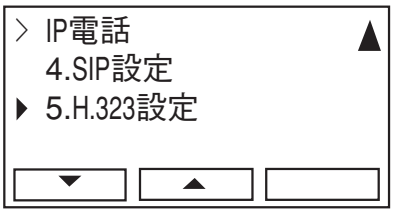


H.323に関する設定

ゲートキーパ	ゲートキーパを使用する場合、IP アドレスの番号による発信ではなく、固有の電話番号による接続が可能です。*1
ゲートキーパアドレス	「ゲートキーパのIP アドレスを設定します。
H.323-ID	IP 電話番号と一緒に送信する装置情報を設定します。なお、登録されていない場合には、装置の製造番号が送信されます。
IP-TEL	IP アドレスと異なる固有の電話番号を設定します。

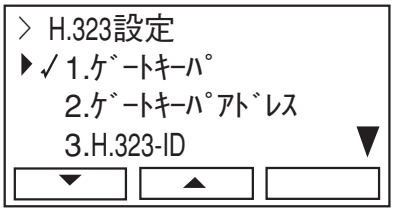
*1 ゲートキーパの設定に関する情報は、ゲートキーパを管理するシステム管理者の方にご確認願います。

IP 電話メニューから［▼］(F1）または［▲］(F2）ボタンを押して「H.323 設定」を選択し、［設定］ボタンを押します。

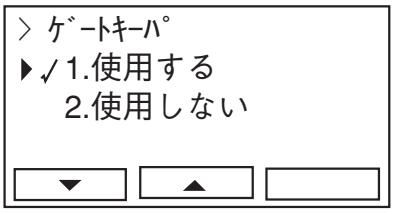


<ゲートキーパ>

① H.323 設定メニューから［▼］(F1）または［▲］(F2）ボタンを押して「ゲートキーパ」を選択し、［設定］ボタンを押します。

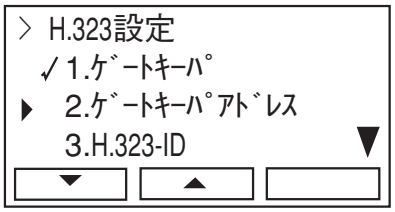


② ［▼］(F1）または［▲］(F2）ボタンを押して「使用する」または「使用しない」を選択し、［設定］ボタンで確定します。



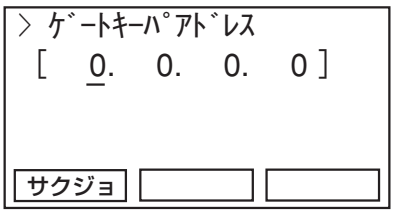
<ゲートキーパアドレス>

① H.323 設定メニューから［▼］(F1）または［▲］(F2）ボタンを押して「ゲートキーパアドレス」を選択し、［設定］ボタンを押します。



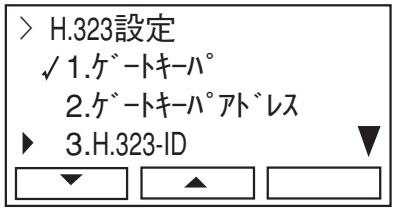
② サーバのIPアドレスの値を入力し、［設定］ボタンで確定します。

IP アドレスの値は［0］～［9］ボタンで入力し、セグメントを移動する場合は、［＊］(◀）と［#］(▶）ボタンでカーソルを左右に移動します。



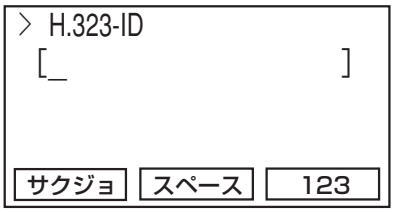
＜H.323-ID＞

① H.323 設定メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「H.323-ID」を選択し、［設定］ボタンを押します。



② H.323-ID の値を入力し、［設定］ボタンで確定します。

H.323-ID値は最大64桁の英数字（［0］～［9］ボタンで入力、アルファベット文字、数字は［ABC］［123］（F3）ボタンで切り替え）を入力します。

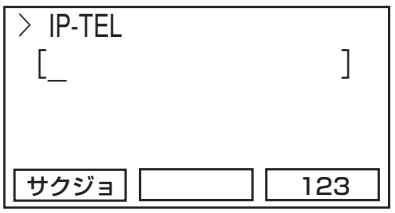


＜IP-TEL＞

① H.323 設定メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「IP-TEL」を選択し、［設定］ボタンを押します。

② IP-TELの値を入力し、［設定］ボタンで確定します。

IP-TEL の値（電話番号）は最大64桁の英数字（［0］～［9］ボタンで入力、アルファベット文字、数字は［ABC］［123］（F3）ボタンで切り替え）を入力します。



⋙ オーディオ接続を設定する

ここでは、オーディオ１コネクタにPHS や携帯電話、パソコンなどと接続してご使用になる場合に、ご利用の接続機器に合わせて「オーディオ1」に必要な設定を行います。

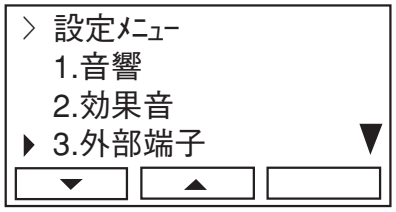
Point **接続方法は「PHS、携帯電話、パソコンに接続する」を参照願います。**

⋙ モードを設定する

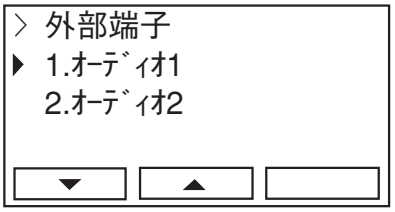
ラインコネクタ	パソコンのライン入出力コネクタ、TV会議装置の音声入出力コネクタなど、ラインレベルで入出力するコネクタに接続する場合に設定します。
マイク／ヘッドホンコネクタ	PHS／携帯電話に接続する場合、パソコンのマイク／ヘッドホンコネクタに接続する場合に設定します。
録音端子	市販の録音機器（テープレコーダ、ICレコーダ）のマイク／ヘッドホンコネクタに接続する場合に設定します。

① 待ち受け画面から［設定］ボタンを押して設定メニューを表示します。

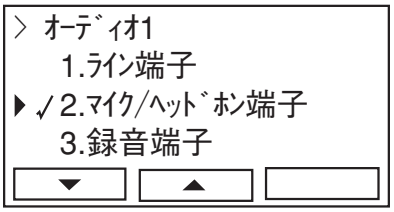
② 設定メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「外部端子」を選択し、［設定］ボタンを押します。



③ 外部端子メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「オーディオ1」を選択し、［設定］ボタンを押します。



④ オーディオ1メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、使用するモードを選択し、［設定］ボタンで確定します。



それぞれのモードの用途と接続するコネクタは以下のとおりです。

- ラインコネクタモード

  パソコンやTV会議装置のライン入出力コネクタに接続して使用するときに選択します。

- マイク/ヘッドホンコネクタモード

  PHS／携帯電話、パソコンのマイク／ヘッドセットコネクタに接続して使用するときに選択します。

- 録音端子モード

  録音機器のマイク／ヘッドセットコネクタに接続して使用するときに選択します。

（基本編）

第４章　電話機能を使用する

IP電話で通話する

ここでは、IP 電話で通話をする場合の操作について説明します。特に説明の無いかぎり、SIP プロトコルが選択されている状態の画面で説明しています。H.323プロトコルをご使用の場合は、説明画面の IP(SIP) を IP(323) に読み替えてください。

電話をかける（発信）

相手のダイヤル番号を入力して、直接電話をかける

<オンフックダイヤル>

① **［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押してIP 電話モードの待ち受け画面を表示します。**

［0］～［9］ボタンを押して、相手の電話番号（またはIP アドレス）を入力します。IP アドレスを入力する場合、セグメントの区切りの “.” は［.］（F2）ボタンで入力します。

② **［接続］ボタンを押します。**

［接続／切断］ランプが緑点灯します。
発信中の画面表示後、接続が確立すると通話中の画面が表示され、通話を行うことができます。

通話中は IP(SIP) アイコンが点滅します。

③ **通話が終了したら［切断］ボタンを押します。**

［接続／切断］ランプが緑点灯します。

<オフフックダイヤル>

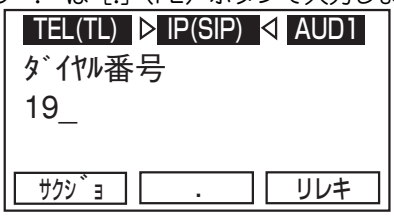
① **［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押してIP 電話モードの待ち受け画面を表示します。**

② **［接続］ボタンを押すします。**

［接続／切断］ランプが緑点灯します。

③ **発信中の画面が表示されたら、［0］～［9］ボタンを押して、相手の番号（IP アドレス）を入力し、［接続］ボタンで発信します。**

IP アドレスを入力する場合、セグメントの区切りの “.” は［.］（F2）ボタンで入力します。



④ **［接続］ボタンを押します。**

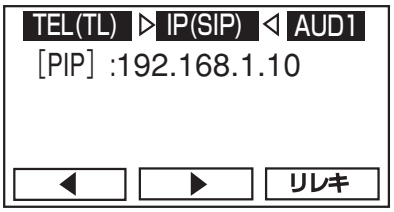
発信中の画面表示後、接続が確立すると通話中の画面が表示され、通話を行うことができます。

通話中は IP(SIP) アイコンが点滅します。

⑤ **通話が終了したら［切断］ボタンを押します。**

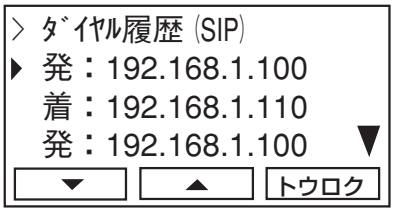
ダイヤル履歴から電話をかける

① ［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押してIP 電話モードの待ち受け画面を表示します。



② ［リレキ］ボタンを押すと、リレキ（履歴）の画面が表示されます。

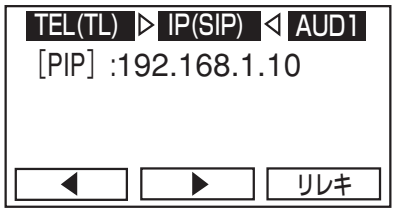
③ ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、電話をかける相手の電話番号（またはIPアドレス）の履歴を選択し、［接続］ボタンで発信します。



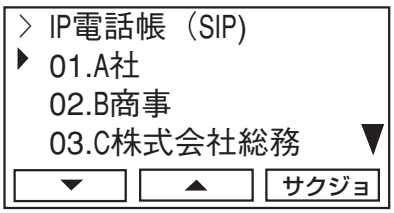
④ 発信中の画面表示後、接続が確立すると通話中の画面が表示され、通話を行うことができます。

電話帳から電話をかける

① ［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押してIP 電話モードの待ち受け画面を表示します。



② ［電話帳］ボタンを押すと、電話帳の画面が表示されます。

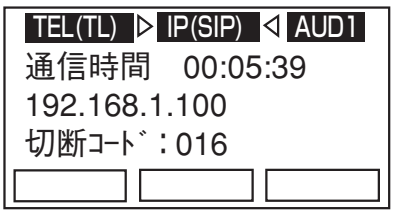


③ ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、電話をかける相手の電話帳（登録名）を選択し、［接続］ボタンで発信します。

④ 発信中の画面表示後、接続が確立すると通話中の画面が表示され、通話を行うことができます。

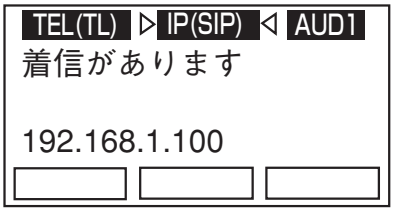
通話中は IP(SIP) アイコンが点滅します。

⑤ 通話が終了したら［切断］ボタンを押して回線接続を終了します。



»» 電話を受ける（着信）

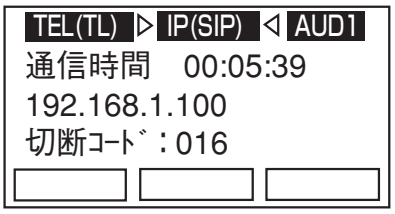
① IP 電話着信時、着信音が再生、［接続／切断］ランプが赤点滅し、IP電話の着信画面が表示されます。



② ［接続］ボタンを押すと、通話中の画面が表示され、通話を行うことができます。

通話中は IP(SIP) アイコンが点滅します。

③ 通話が終了したら［切断］ボタンを押して回線接続を終了します。



重要

- 着信モードに「自動（選択なし）」が設定されてる場合は、［接続］ボタン操作を行なわずに接続され、通話を行うことができます。着信モードの設定については、「着信モードの設定」を参照ください。
- 着信音設定で「着信音なし」が設定されている場合は、着信音は再生されません。

保留する

① 通話中に［保留／転送］ボタンを押すと、相手先を保留することができます。

相手装置の保留中の画面例

Point 保留中は、相手端末がVoicepoint IPの場合は保留音がスピーカより聞こえます。

② 再度［保留／転送］ボタンを押すと、保留を解除することがことができます。

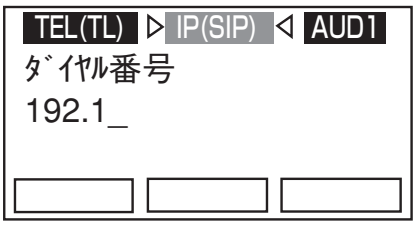
重要
- 多地点接続中またはIP（323）モードで通信中はご使用できません。
- SIPサーバをご使用時は、本操作と異なります。

転送する

NEC製のSIPサーバ（UNIVERGE）をご使用中の場合、電話を転送することができます。

① 通話中に［保留／転送］ボタンを押します。

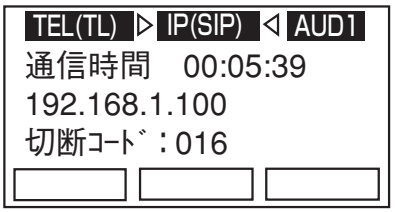
② 転送先の電話番号を入力します。



Point この操作中は、引き続き通話相手と通話が可能です。

③ ［接続］ボタンを押すと、通話中の画面が表示され、通話を行うことができます。

④ 転送先が電話を取った後、転送先と通話できることを確認して［切断］ボタンを押します。



Point
- 転送先が電話を取ったことを確認せずに［切断］ボタンを押しても転送することができます。

重要
- 多地点接続中またはIP（323）モードで通信中はご使用できません。
- NEC製のSIPサーバご使用時でも、使用できない場合があります。

複数地点に電話をかける（IP多地点接続機能）

ここでは、IP多地点接続機能を使用して、音声会議を行う場合の操作方法について説明をします。なお、多地点接続機能は、IP多地点接続モデル、および、アップグレードキットによりIP多地点接続モデルにアップグレードしたモデルに搭載される機能です。

Point 自局を含めて最大6地点まで同時に通話を行うことができます。

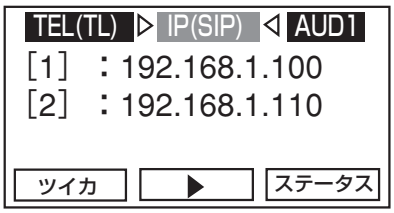
通話中に別の地点に電話をかける（発信）

相手のダイヤル番号を入力して、直接電話をかける

① 通話中に［ツイカ］ボタンを押すと発信画面が表示されますので、［0］～［9］ボタンを押して、相手の電話番号（またはIP アドレス）を入力します。

IP アドレスを入力する場合、セグメントの区切りの“.”は［.］（F2）ボタンで入力します。

② ［接続］ボタンを押し、発信中の画面表示後、接続が確立すると通話中の画面が表示されます。

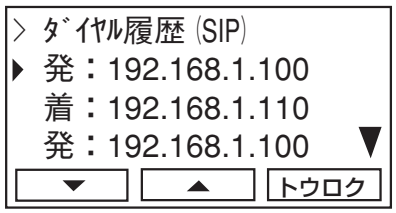


通話中は IP(SIP) アイコンが点滅します。

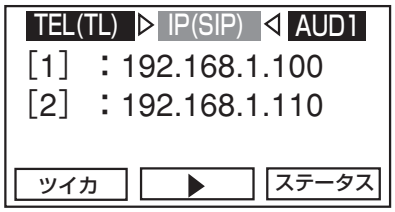
ダイヤル履歴から電話をかける

① 通話中に［ツイカ］ボタンを押すと、発信画面が表示されますので、［リレキ］ボタンを押してリレキ（履歴）の画面を表示します。

② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して電話をかける相手の電話番号（またはIP アドレス）の履歴を選択し、［接続］ボタンで発信します。



③ ［接続］ボタンを押します。発信中の画面表示後、通話中の画面が表示されます。



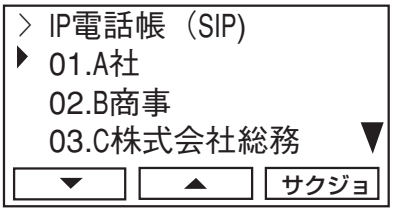
通話中は IP(SIP) アイコンが点滅します。

④ 通話が終了したら［切断］ボタンを押して回線接続を終了します。

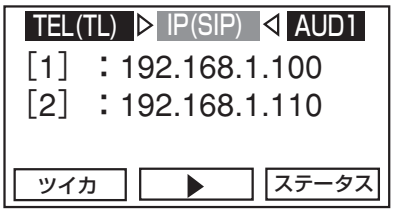
電話帳から電話をかける

① ［電話帳］ボタンを押して電話帳の画面を表示します。

② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して電話をかける相手の電話帳（登録名）を選択し、［接続］ボタンで発信します。



③ 接続中の画面表示後、接続が確立すると通話画面が表示され、通話を行うことができます。

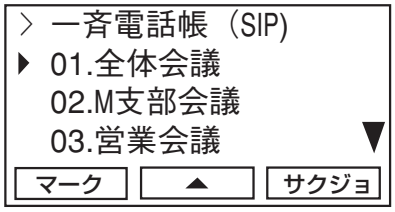


通話中は IP(SIP) アイコンが点滅します。

電話帳から一斉に電話をかける（一斉発信）

① 通話中に［ツイカ］ボタンを押すと、発信画面が表示されますので、［電話帳］ボタンを押して電話帳の画面を表示します。

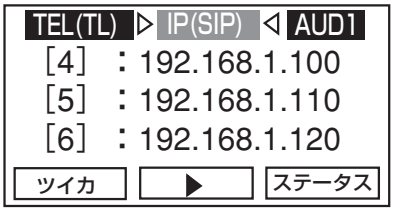
② さらに［電話帳］ボタンを押すと、一斉発信電話帳の画面が表示されます。



③ ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して一斉発信する電話帳（登録名）を選択し、［接続］ボタンで発信します。

④ 接続中の画面表示後、全ての接続が確立すると通話画面が表示され、通話を行うことができます。

通話画面には最後に接続した地点から3地点の電話番号（またはIPアドレス）が表示されます。



通話中は IP(SIP) アイコンが点滅します。

重要

- 着信端末の［IP電話］ー［着信モード］設定を「自動（選択なし）」に設定した上で、発信されることをお勧めします。

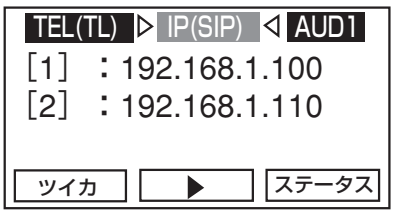
通話中に電話を受ける（着信）

① **IP 電話着信時、着信音がなり、［接続／切断］ランプが赤点滅します。**

IP電話の着信画面が表示されます。

② **［接続］ボタンを押します。**

通話中の画面が表示され、通話を行うことができます。



通話中は IP(SIP) アイコンが点滅します。

重要

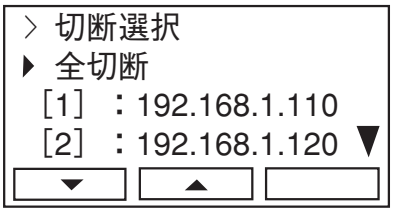
- **着信モードに「自動（選択なし）」が設定されてる場合は、［接続］ボタンを操作を行なわずに接続され、通話を行うことができます。着信モードの設定については、「着信モードの設定」を参照ください。**
- **着信音設定で「着信音なし」が設定されている場合は、着信音は再生されません。**

電話を切る（切断、多地点接続の場合）

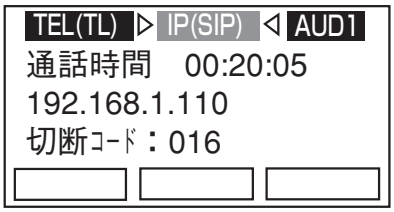
ここでは、自局を含む3地点以上の複数地点通話中に、切断する操作について説明します。

通話中の1地点を切断する

① **通話中に［切断］ボタンを押すと、切断選択の画面が表示されます。**



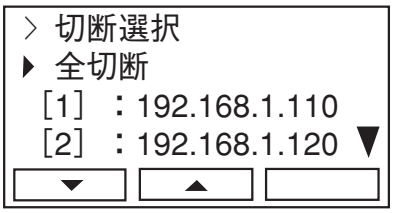
② **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、切断する地点を選択し、［切断］ボタンを押して回線接続を切断します。**



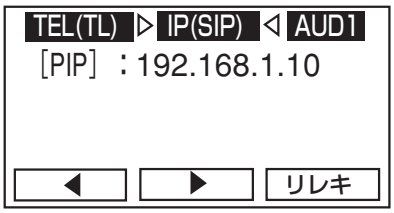
通話中は IP(SIP) アイコンが点滅します。

通話中のすべての地点を一斉に切断する

① **通話中に［切断］ボタンを押すと、切断選択の画面が表示されます。**



② **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、“全切断”を選択し、［切断］ボタンを押して全ての回線接続を切断します。**



アナログ電話を使用する

ここでは、アナログ電話で通話をする場合の操作について説明します。

電話をかける（発信）

相手のダイヤル番号を入力して、直接電話をかける

<オンフックダイヤル>

① **［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押してアナログ電話モードの待ち受け画面を表示します。**

② **［0］～［9］ボタンを押して相手の電話番号を入力します。**

③ **［接続］ボタンで発信します。**

［接続／切断］ランプが緑点灯します。
呼び出し音がスピーカから出力され、接続が確立すると通通話を行うことができます。

通話中は TEL(TL) アイコンが点滅します。

④ **通話が終了したら［切断］ボタンを押します。**

［接続／切断］ランプが赤点灯します。

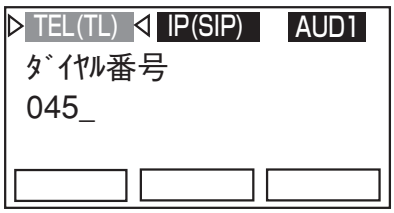
<オフフックダイヤル>

① **［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押してアナログ電話モードの待ち受け画面を表示します。**

② **［接続］ボタンを押します。**

［接続／切断］ランプが緑点灯します。

③ **［0］～［9］ボタンを押して相手の電話番号を入力します。**



数秒後、呼び出し音がスピーカから出力され、接続が確立すると通話を行うことができます。

通話中は TEL(TL) アイコンが点滅します。

④ **通話が終了したら［切断］ボタンを押します。**

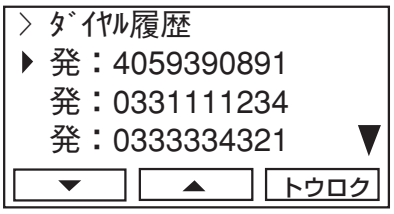
ダイヤル履歴から電話をかける

① ［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押してアナログ電話モードの待ち受け画面を表示します。

② ［リレキ］ボタンを押すと、リレキ（履歴）の画面が表示されます。

③ ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、電話をかける相手の電話番号の履歴を選択し、［接続］ボタンで発信します。

アナログ電話は、発信履歴のみからの発信となります。着信履歴「アナログ着信」からの発信はできません。



④ 相手側の呼び出し音がスピーカから出力され、接続が確立すると通話を行うことができます。

通話中は TEL(TL) アイコンが点滅します。

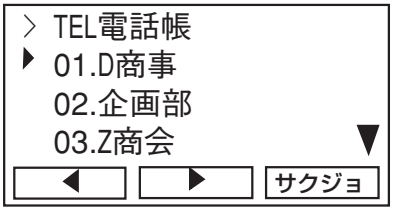
⑤ 通話が終了したら［切断］ボタンを押して回線接続を終了します。

電話帳から電話をかける

① ［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押してアナログ電話モードの待ち受け画面を表示します。

② ［電話帳］ボタンを押すと、電話帳（アナログ電話）の画面が表示されます。

③ ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、電話をかける相手の電話帳を選択し、［接続］ボタンで発信します。



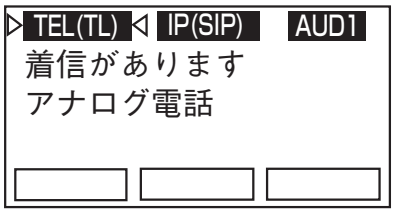
④ 相手側の呼び出し音がスピーカから出力され、接続が確立すると通話を行うことができます。

通話中は TEL(TL) アイコンが点滅します。

⑤ 通話が終了したら［切断］ボタンを押して回線接続を終了します。

電話を受ける（着信）

① **アナログ電話着信時、着信音が再生、［接続／切断］ランプが赤点滅し、アナログ電話の着信画面が表示されます。**



② **［接続］ボタンを押すと、通話中の画面が表示され、通話を行うことができます。**

通話中は TEL(TL) アイコンが点滅します。

③ **通話が終了したら［切断］ボタンを押して回線接続を切断します。**

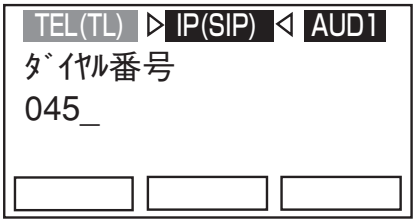
重要 **着信音設定で「着信音なし」が設定されている場合は、着信音は再生されません。**

保留／転送する

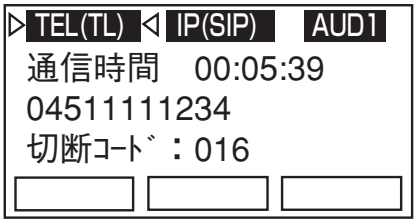
キャッチホンや接続先の構内交換機フック転送機能を使用して保留／転送することができます。

① **通話中に［保留／転送］ボタンを押します。**

② **［0］～［9］ボタンを押して、転送先の電話番号を入力します。**



③ **相手が着信したら、［切断］ボタンを押して回線接続を終了します。**



ハンドセット接続を使用する

ここでは、電話機のハンドセットコネクタに接続して通話する場合の操作について説明します。

① **［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押してハンドセット電話モードの待ち受け画面を表示します。**

② **ハンドセット用アダプタに接続した電話機から、通常電話をかける場合と同様の操作で相手先に電話をかけます。**

③ **［接続］ボタンを押します。**

［接続／切断］ランプは緑点灯します。
通話中の画面が表示され、本装置のマイク・スピーカを通じて通話を行うことができます。

通話中は TEL(HS) アイコンが点滅します。

④ **通話が終了したら［切断］ボタンを押して回線接続を終了します。また、電話機も通常電話を切断する場合と同様にハンドセットを電話機において（オンフック）、回線を切断します。**

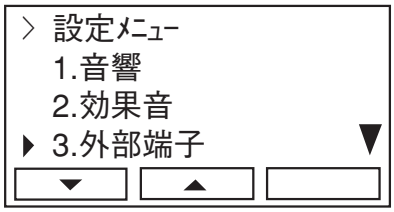
重要 ハンドセット接続時は、Voicepoint IP本体から発着信できません。電話機で発信、着信、切断の操作を行ってください。

オーディオ接続を使用する

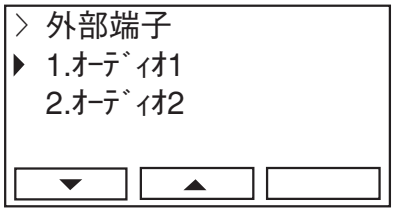
ここでは、オーディオ１コネクタにPHS や携帯電話、パソコンなどと接続して通話する場合の操作について説明します。

① 待ち受け画面から［設定］ボタンを押して設定メニューを表示します。

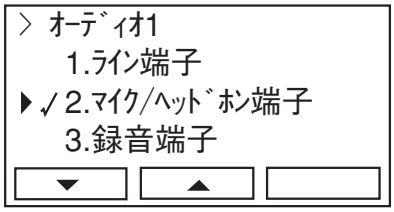
② 設定メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「外部端子」を選択し、［設定］ボタンを押します。



③ 外部端子メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「オーディオ1」を選択し、［設定］ボタンを押します。



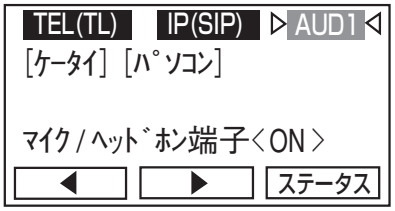
④ オーディオ1メニューから［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「マイク／ヘッドホンコネクタ」を選択し、［設定］ボタンで確定します。



⑤ ［取消／戻る］ボタンを待ち受け画面に戻るまで押します。

⑥ ［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押してオーディオ接続の待ち受け画面を表示します。

⑦ ［接続］ボタンを押します。発信中の画面表示になりますので、接続したPHS や携帯電話、パソコン（ソフトフォン）などより電話番号を入力してください。



通話中はアイコンが点滅します。

⑧ 相手側の呼び出し音がスピーカから出力され、接続が確立すると通話を行うことができます。

⑨ 通話が終了したら［切断］ボタンを押して回線接続を切断します。

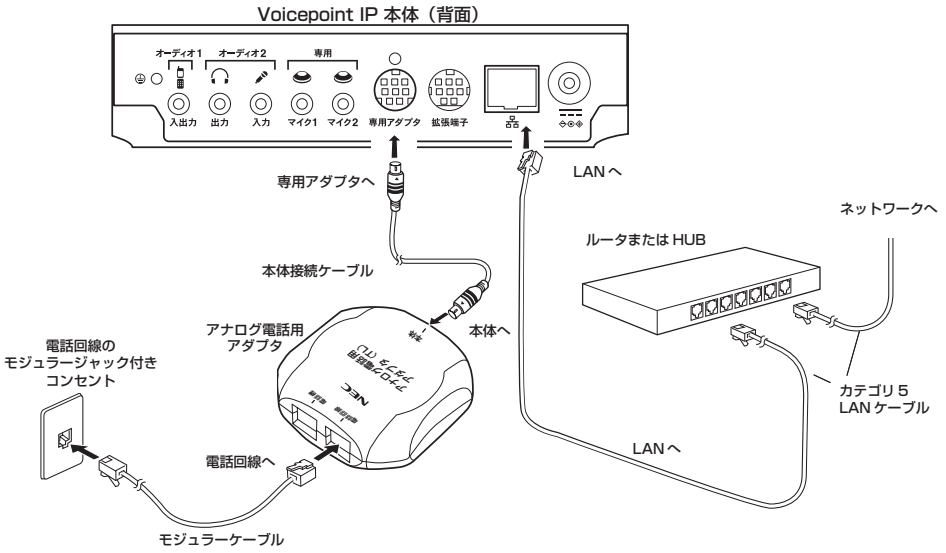
音声ミキシングを使用する

ここでは、音声ミキシング機能を使用する場合の操作について説明します。

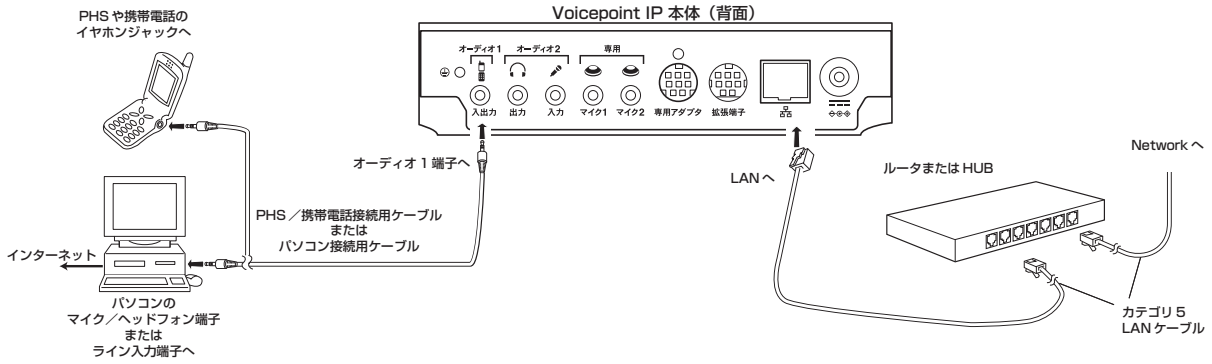
音声ミキシング機能とは、IP 電話またはアナログ電話で通話中に、異なる回線を利用して自局を含めて3地点間で通話を行う機能です。さらに、IP 多地点機能と組み合わせて使用することで、最大7地点間での通話を行うことができます。

音声ミキシングの組み合わせパターン

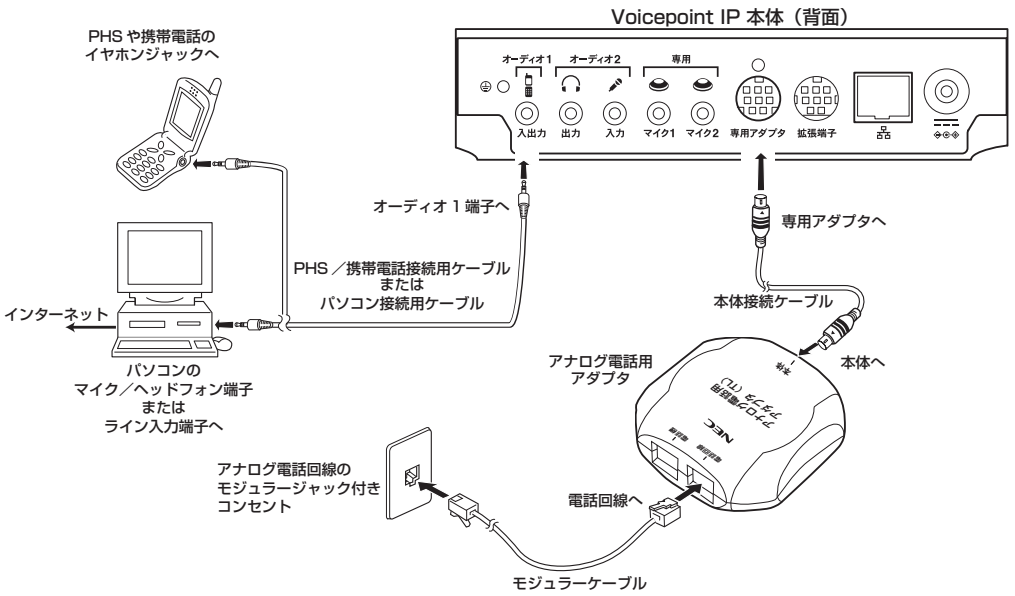
IP電話とアナログ電話



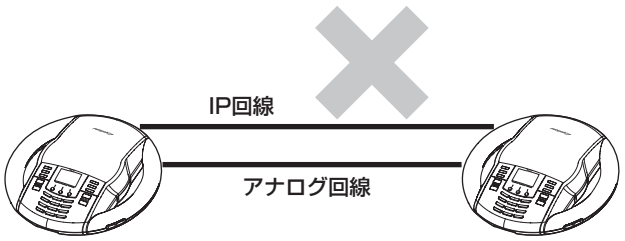
IP電話とオーディオ接続（PHS、携帯電話／パソコン）



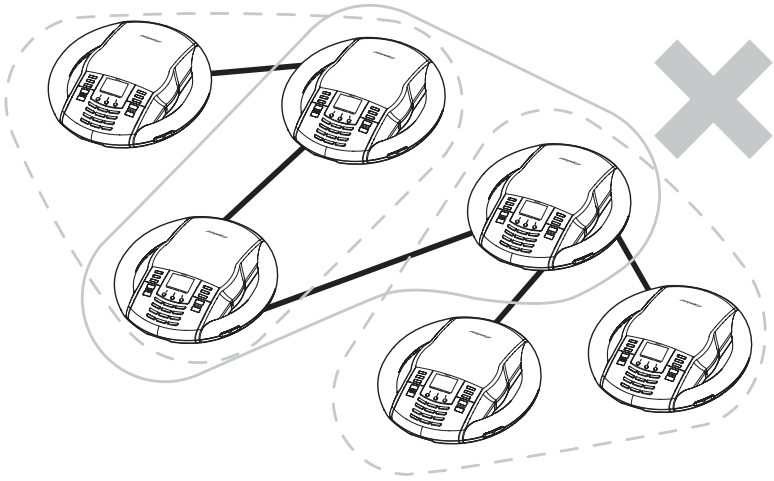
アナログ電話+オーディオ接続（PHS、携帯電話／パソコン）



重要　IP電話、アナログ電話、オーディオ接続を使用して、同一地点に２回線以上で接続するとエコーやハウリングが発生して正常な通話ができませんので、このような通話は絶対におやめください。

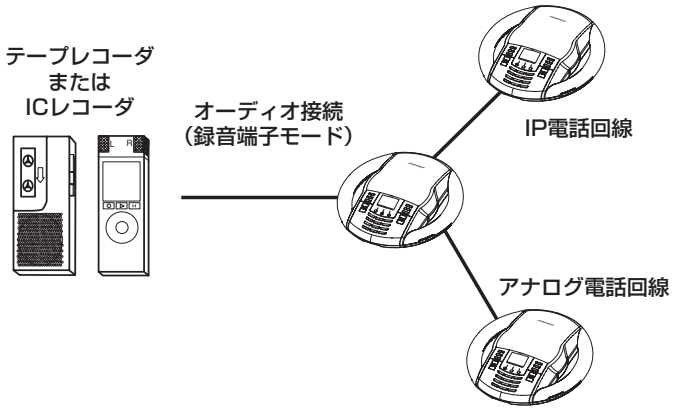


重要　IP電話、アナログ電話、オーディオ接続を使用して、カスケードでの通話は絶対におやめください。



重要

「IP電話＋アナログ電話」、「IP電話＋オーディオ接続」、「アナログ電話＋オーディオ接続」の３種類の音声ミキシングの組み合わせパターン以外はご使用いただくことはできません。
ただし、オーディオ接続を録音端子モードで接続する場合に限り、「IP電話＋アナログ電話＋オーディオ接続（録音端子モード）」でご使用いただくことが可能です。



⋙　通話中に別の地点に電話をかける（発信）

ここでは、既に「アナログ電話」、「IP電話」、「オーディオ接続」の何れか1つの回線で通話している場合について説明します。

① **通話中の回線が“IP電話”で、“オーディオ接続”または“アナログ電話”が未使用の場合とします。**

IP電話で通話中の場合

② **［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押して、接続したい回線（“アナログ電話”、“IP電話”、“オーディオ接続”）の待ち受け画面を表示します。**

③ **既に通話中の通信モードとは異なる回線を使用して、電話をかけます。電話をかける操作は、本節の「電話をかける（発信）」を参照してください。**

④ **音声ミキシング機能により、自局を含めた3地点間での通話を行うことができます。**

通話中に電話を受ける（着信）

① 着信音が鳴り、接続／切断ランプが赤点滅し、着信画面が表示されます。

アナログ電話通話中で、IP電話の着信を受けた場合

② ［接続］ボタンを押すと、通話中の画面が表示され、通話を行うことができます。

③ 通話が終了したら［切断］ボタンを押します。

重要

- IP電話の着信モードが「自動（選択あり）」または「自動（選択なし）」に設定されているときに着信すると、着信音が1回再生され自動的に接続します。

電話を切る（切断、音声ミキシング時の場合）

ここでは、音声ミキシング時の切断操作について説明します。

① 通話を終了して切断する場合、［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押して“アナログ電話”、“IP電話”、“オーディオ接続”から、切断する通話モードを選択します。

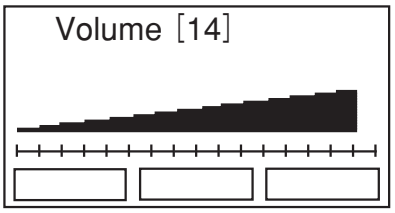
② ［切断］ボタンを押します。切断の画面が表示されます。

スピーカ音量を調節する

ここでは、スピーカ音量の調節について説明します。

通話中に、［音量+］（音量を上げる）ボタン、または［音量-］（音量を下げる）ボタンを操作して、15段階でスピーカ音量を調整することができます。

- **音量を上げる場合**
  ［音量+］ボタンを押します。
- **音量を下げる場合**
  ［音量-］ボタンを押します。



マイクオフする

ここでは、通話中に自分の声を通話相手に聞こえなくするマイクオフと、通話中に接続相手のマイクをオン／オフ制御するリモートマイク制御の操作について説明します。

マイクオフを使用する

通話中に、自分の声を通話相手に聞こえないように、マイクオフをする機能です。

① **［マイクオフ］ボタンを押します。**

② **自機のマイクがOFFになり、電源／マイクオフランプが赤点滅します。**

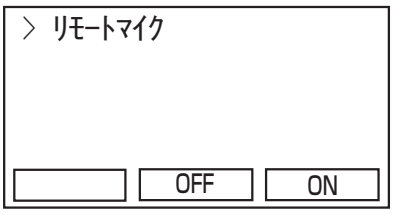
③ **再度［マイクオフ］ボタンを押すと自機のマイクがONになり、電源／マイクオフランプが緑点灯します。**

マイクがOFFの間、電源／マイクオフランプが赤点滅します。

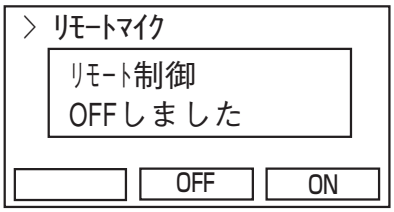
リモートマイク制御を使用する

IP 多地点接続で通話中に、センター局から、接続される各地点のマイクを一斉に制御（リモートマイク制御）する機能です。

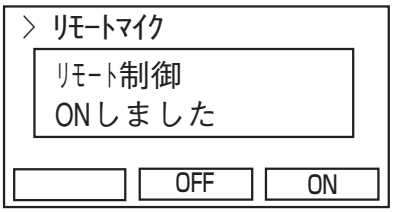
① **通話中に［マイクオフ］ボタンを長押しすると、リモートマイク制御メニューが開きます。**



② **［OFF］（F2）ボタンを押すと通話相手のマイクをOFFにして、画面上に表示します。**

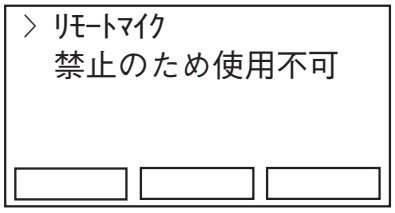


③ **［ON］（F3）ボタンを押すと通話相手のマイクをONにして、画面上に表示します。**



重要

- リモートマイク制御機能は、AEC-70／70i／70PにIP多地点アップグレードキットを適用し、IP多地点機能が動作するモデルのみ使用することができます。
- 以下の画面が表示されるときは、HTTP画面より［リモートマイク制御］設定を「許可する」にしてください。



重要

- リモートマイク制御機能は、会議や朝礼などの最中に円滑に会議を進めるための機能ですので、それ以外の目的では使用しないでください。
- リモートマイク制御機能は、HTTPサーバ機能の「[IP電話] ーリモートマイク制御」で禁止に設定することができます。

メ モ

（設定／登録編）

第５章　電話帳を登録する

電話帳を登録する

ここでは、電話帳の登録について説明します。電話帳はアナログ電話、IP電話（SIP）、IP電話（H.323）の電話番号またはIP アドレスをそれぞれ50 件登録することが可能です。

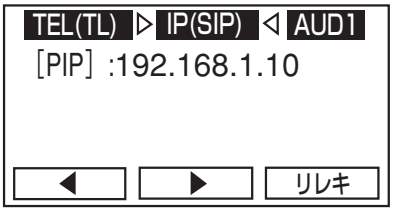
電話帳を登録する

登録する電話番号の種類に応じて、待ち受け画面でアナログ電話、IP電話（SIP）、IP電話（H.323）の何れかの通話モードを選択してください。

Point 通話モードごとに電話帳を設定して発信します。

電話帳を登録する

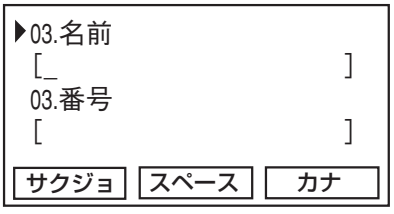
① 登録する電話帳に対応する通話モードを［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押して選択します。



② ［電話帳］ボタンを押して電話帳を表示し、登録する番号を［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンで選択して［設定］ボタンを押します。

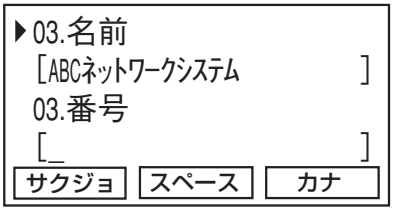
③ 電話登録画面が表示され、最初に名前に［▶］カーソルが移動するので、［0］～［9］ボタンで名前を入力し、［設定］ボタンで確定します。

Point アルファベット文字、数字、カナは［ABC］［123］［カナ］（F3）ボタンで切り替えることができます。

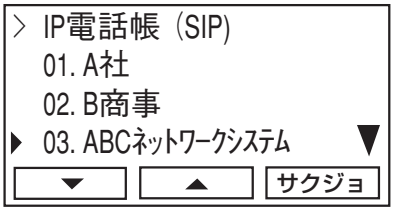


④ 次に［▶］カーソルが番号に移動するので、［0］～［9］ボタンで名前を入力し、［設定］ボタンで確定します。

Point 電話番号を入力しても、［取消／戻る］ボタンを押して電話帳画面から抜けると、名前、電話番号ともに登録されません。

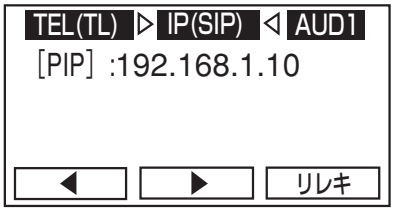


⑤ 自動的に電話帳画面に戻ります。

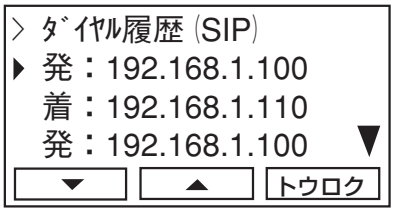


電話帳を履歴から登録する

① 待ち受け画面から［リレキ］（F3）を押して、ダイヤル履歴画面を表示します。



② 履歴画面から電話帳に登録する番号を［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンで選択して［トウロク］（F3）ボタンを押します。

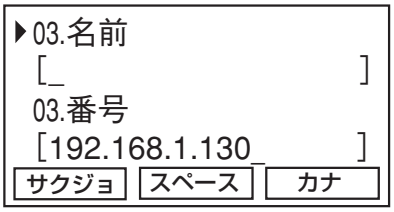


③ 電話帳の画面が表示されます。

④ ［設定］ボタンを押します。

⑤ 最初に名前にカーソルが移動するので、［0］～［9］ボタンで名前を入力し、［設定］ボタンで確定します。

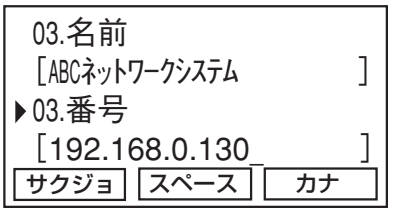
アルファベット文字、数字、カナは［ABC］［123］［カナ］（F3）ボタンで切り替えルことができます。



Point 既に電話番号の登録欄には、先程選択した電話番号が登録されています。

⑥ 次に番号にカーソルが移動するので、［設定］ボタンで確定します。

［取消／戻る］ボタンを押して電話帳画面から抜けると、名前、電話番号ともに登録されません。



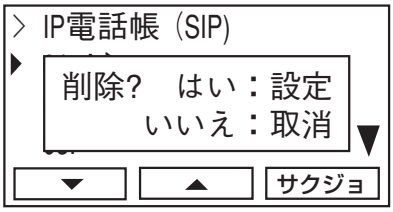
Point 電話帳の各地点に全角の漢字、カナ、数字、アルファベットの文字で登録したい場合には、Webブラウザ画面から登録することができます。またWebブラウザ画面からは、CSVファイルをインポートすることにより電話帳を一括登録／編集することができます。詳しくは「[SIP]」を参照してください。

電話帳を削除する

① ［電話帳］ボタンを押して電話帳を表示します。

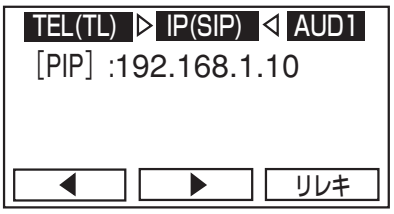
② 登録された電話番号の中で削除する電話番号のインデックスを［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンで選択して［サクジョ］ボタンを押します。

③ ポップアップメッセージで“はい：設定”と“いいえ：取消”が表示されるので、はいの場合は［設定］ボタンを、いいえの場合は［取消］ボタンを選択して押します。

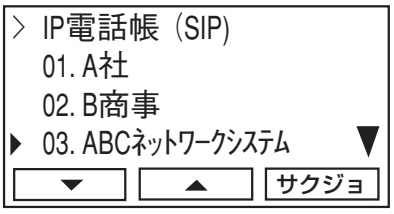


電話帳を編集する

① 登録する電話帳に対応する通話モードを［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押して選択します。

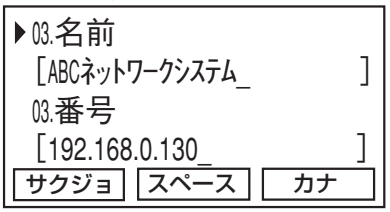


② ［電話帳］ボタンを押して電話帳を表示し、編集する番号を［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンで選択して［設定］ボタンを押します。



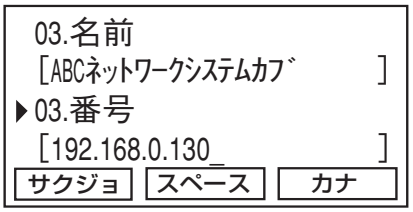
③ 電話登録画面が表示され、最初に名前に［▶］カーソルが移動するので、［0］～［9］ボタンで名前を入力し、［設定］ボタンで確定します。

Point アルファベット文字、数字、カナは［ABC］［123］［カナ］（F3）ボタンで切り替えることができます。

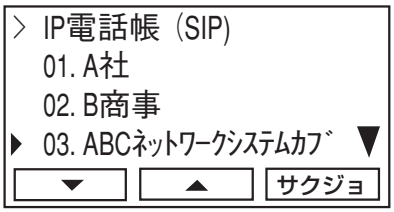


④ 次に［▶］カーソルが番号に移動するので、［0］～［9］ボタンで名前を入力し、［設定］ボタンで確定します。

Point 電話番号を入力しても、［取消／戻る］ボタンを押して電話帳画面から抜けると、名前、電話番号ともに登録されません。



⑤ 自動的に電話帳画面に戻ります。



一斉電話帳に登録する

ここでは、一斉電話帳の登録について説明します。一斉電話帳は、IP 多地点接続機能を使用して複数地点で音声会議を行う場合に、電話帳に登録された各地点の電話番号に一斉に電話をかける機能です。一斉電話帳には、複数の会議地点（最大 5 地点）までを 1 つのグループにして、最大10 件のグループを登録することができます。なお、一斉電話帳を使用した電話のかけ方は、「電話帳から一斉に電話をかける（一斉発信）」を参照ください。

IP 電話（SIP）	10件
IP 電話（H.323）	10件

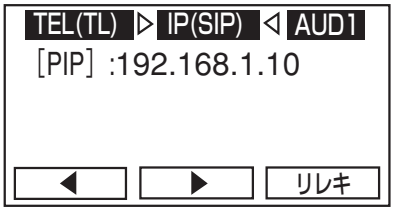
Point AEC-70／70i／70Pの場合、オプション機能となります。

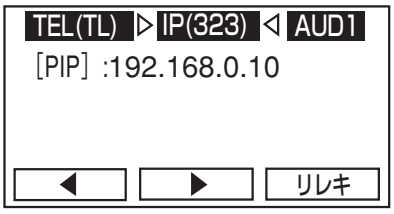
一斉電話帳に登録する

登録する電話番号の種類に応じて、待ち受け画面で、「IP(SIP)電話」「IP(323)電話」の何れかの通話モードを選択してください。例えば、一斉電話帳IP(SIP)に登録する場合には、通話モードをIP(SIP)に設定、一斉電話帳(H323)に登録する場合には、通話モードをIP(H323)に設定してください。

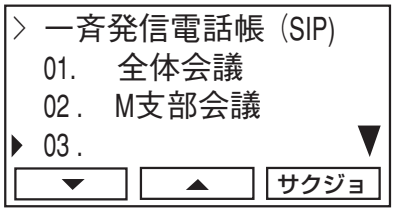
通話モードを選択する

現在、選択されている通話モードにおいて、その電話帳を登録することができます。





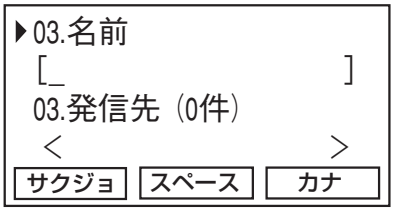
① ［電話帳］ボタンを2回押して一斉電話帳を表示します。



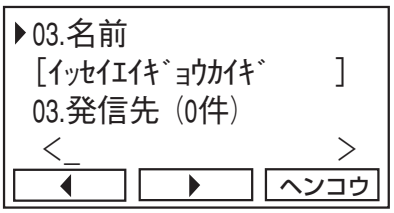
② グループ登録する番号を［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンで選択して［設定］ボタンを押します。

③ 電話登録画面が表示され、最初に名前にカーソルが移動するのでので、［0］～［9］ボタンで名前を入力し、［設定］ボタンで確定します。

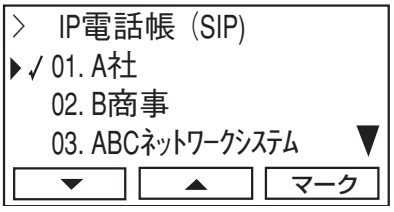
アルファベット文字、数字、カナは［ABC］［123］［カナ］（F3）ボタンで切り替え、［＊］［#］ボタンでカーソルを移動します。



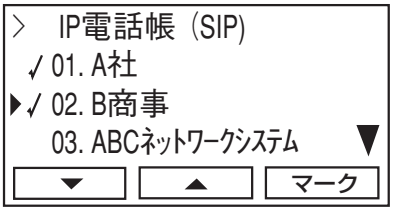
④ 次に番号にカーソルが移動するので、［ヘンコウ］（F3）ボタンを押します。



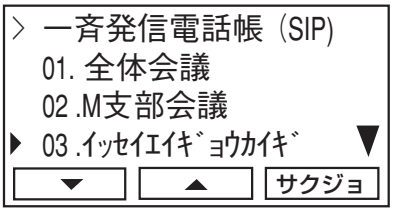
⑤ 一斉電話帳に登録する地点名を［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンで選択し、［マーク］（F3）ボタンを押して登録します。マークされると”✓”が地点名の左に表示されます。



⑥ さらに地点を追加する場合には、同様に登録する地点を［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンで選択し、［マーク］（F3）ボタンを押して登録します。最大5地点まで登録することができます。



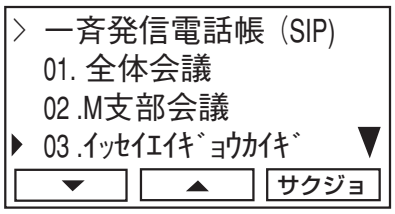
⑦ 登録が終わったら、［設定］ボタンで確定します。なお、［設定］ボタンを押さずに［取消／戻る］ボタンを押して電話帳画面から抜けると、一斉電話帳には登録されません。



Point 電話帳の各地点に全角の漢字、カナ、数字、アルファベットの文字で登録したい場合には、Webブラウザ画面から登録することができます。またWebブラウザ画面からは、CSVファイルをインポートすることにより電話帳を一括登録／編集することができます。詳しくは「［一斉発信］ー［SIP]」を参照ください。

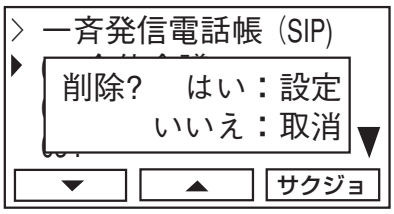
⋙ 一斉電話帳を削除する

① ［電話帳］ボタンを2回押して電話帳を表示します。



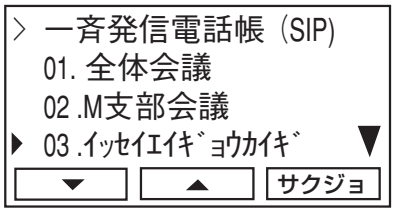
② 登録された電話番号の中で削除する電話番号のインデックスを［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンで選択して［サクジョ］ボタンを押します。

③ ポップアップメッセージで“はい：設定”と“いいえ：取消”が表示されるので、はいの場合は［設定］ボタンを、いいえの場合は［取消］ボタンを選択して押します。



⋙ 一斉電話帳を編集する

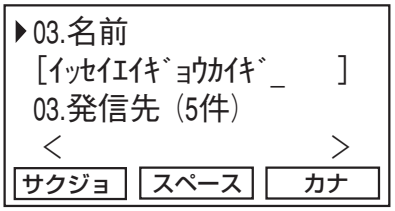
① ［電話帳］ボタンを2回押して電話帳を表示します。



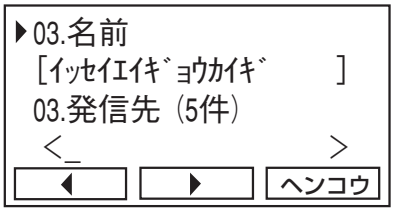
② 登録された電話帳の中で、編集する電話帳のインデックス番号を［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンで選択して［設定］ボタンを押します。

③ 電話登録画面が表示され、最初に名前にカーソルが移動するのでので、［0］～［9］、［サクジョ］（F2）ボタンで名前を編集し、［設定］ボタンで確定します。

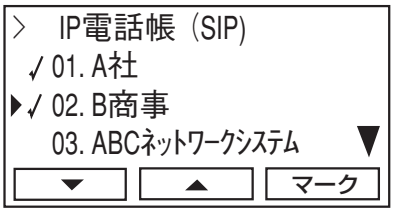
アルファベット文字、数字、カナは［ABC］［123］［カナ］（F3）ボタンで切り替え、［＊］［#］ボタンでカーソルを移動します。



④ 次に番号にカーソルが移動するので、［ヘンコウ］（F3）ボタンを押します。



⑤ 登録済みの地点を削除する場合は、一斉電話帳に登録済みの地点を［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンで選択して［マーク］（F3）ボタンを押します。



⑥ 新たに地点を登録するときは、同様に登録したい地点を［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンで選択して［マーク］（F3）ボタンを押します。

⑦ 編集が終わったら。［設定］ボタンで確定します。

［設定］ボタンを押さずに［取消／戻る］ボタンを押して電話帳画面から抜けると、一斉電話帳は更新されません。

メ モ

（応用編）

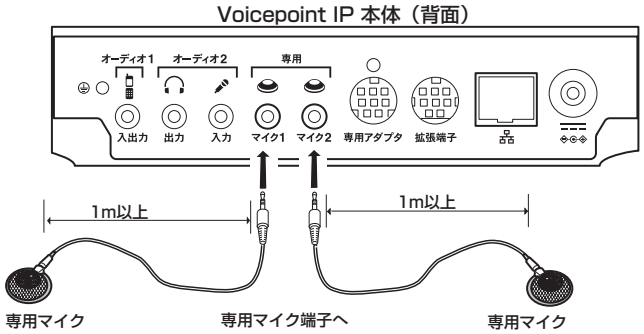
第６章　外部音声機器を接続する

外部音声機器を使用する

ここでは、外部マイク、外部音声機器（市販のマイクミキサ、モニタスピーカ、録音機器）を接続して使用する場合について説明します。

専用マイクを使用する

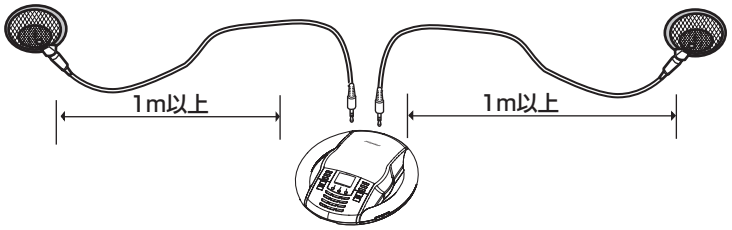
装置背面の専用マイクコネクタに外部マイク（オプション）を接続して使用することによって、4か所の本体内蔵マイクで使用する場合よりも、さらに多人数で音声会議を行うことができます。



外部マイク（オプション）を専用マイクコネクタのマイク1またはマイク2に差し込みます。外部マイクは、最大2個まで接続することができます。

なお、外部マイクを接続して使用する場合も、4か所の本体内蔵マイクを使用することができます。

Point **外部マイクを接続してご使用になる場合は、装置本体から1m～3m離して設置してください。装置の内蔵スピーカに近づけすぎると、エコーやハウリングが発生することがあります。**

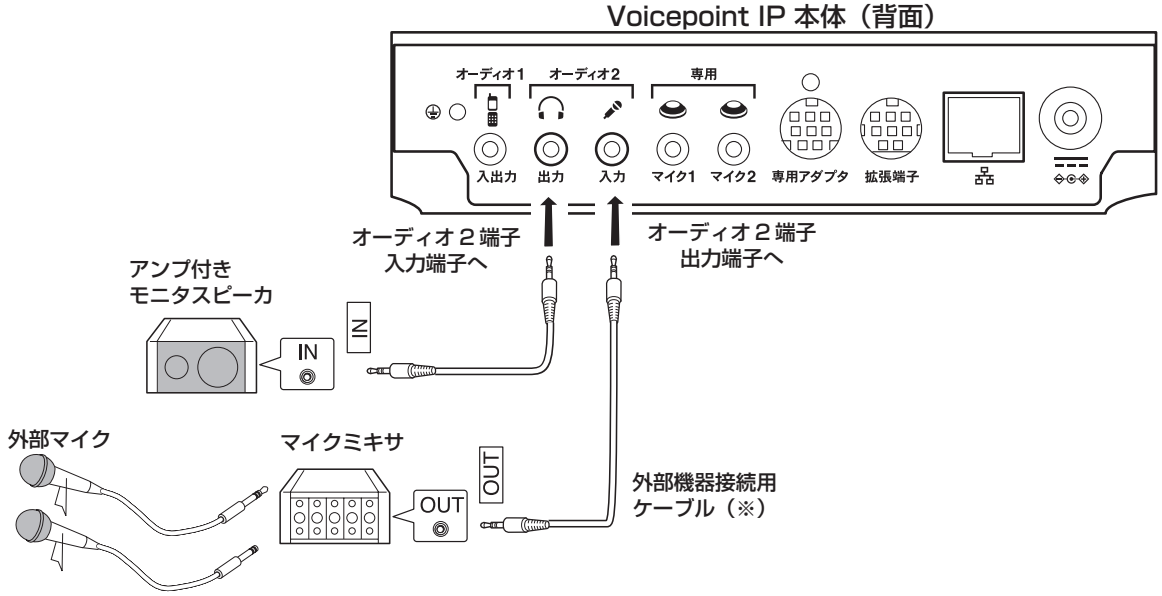


重要 **専用マイクコネクタには、オプションの外部マイク以外は接続してご使用いただくことができません。装置が故障する原因となりますので、市販のマイクなどは、絶対に接続しないでください。**

音声入出力機器を使用する

マイクミキサやモニタスピーカを接続する場合

装置背面のオーディオ２コネクタに外部音声入出力器（市販のマイクミキサ、アンプ付きモニタスピーカなど）を接続して使用することによって、広い会議室で多人数による音声会議を行うことができます。



音声入力機器を接続する場合

マイクミキサなどの音声入力機器の出力コネクタと、「オーディオ2」入力コネクタを接続します。「オーディオ2」入力コネクタは、L またはR チャンネルのどちらでも使用することができます。

Point **「オーディオ2」入力コネクタを使用する場合は、内蔵マイクを使用できません。**

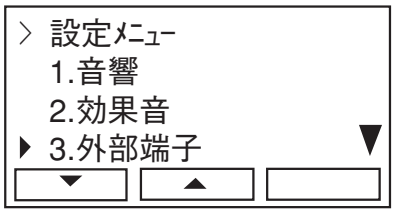
>>> 音声出力機器を接続する場合

モニタスピーカなどの音声出力機器の入力コネクタと「オーディオ2」の出力コネクタを接続します。「オーディオ2」出力コネクタは、L またはR チャンネルともどちらも同じ（モノラル）音声が出力されます。なお、「オーディオ2」出力コネクタを使用する場合は、内蔵スピーカは使用できません。

Point **マイクミキサやモニタスピーカなどの音声入出力機器を接続する場合には、「オーディオ2」を「音声入出力機器」モードに設定してご使用ください。**

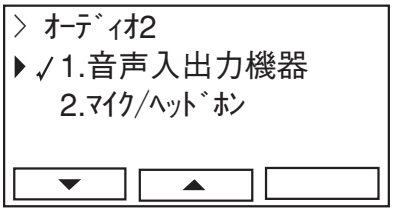
① **待ち受け状態より［設定］ボタンを押して設定メニューを表示します。**

② **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、“外部端子”を選択し、［設定］ボタンを押します。**



③ **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、“オーディオ2”を選選択し、「選択」ボタンを押します。**

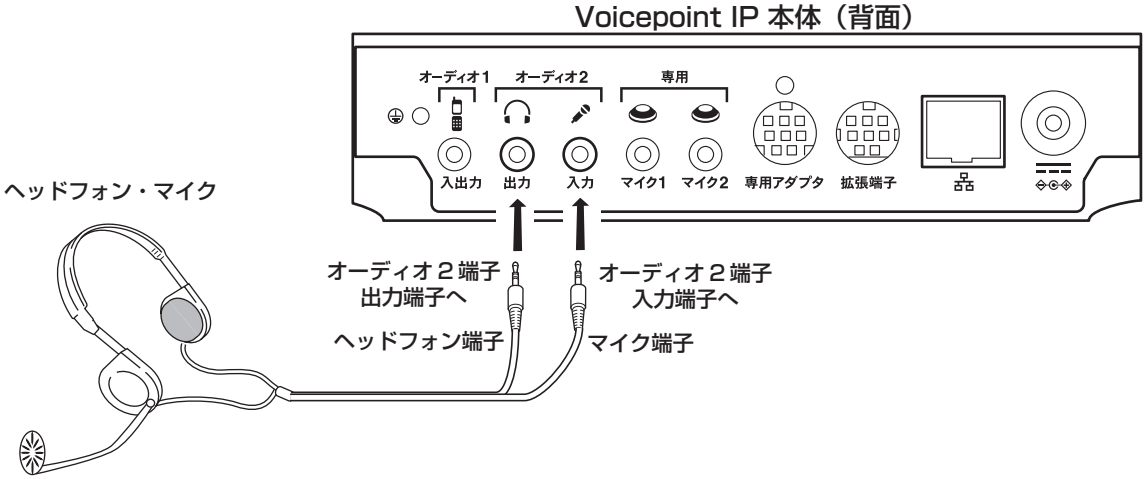
④ **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、“音声入出力機器”を選択し、［設定］ボタンで確定します。**



Point **「オーディオ2」にコネクタ接続すると、「オーディオ2」の設定画面が表示されます。**

≫≫ ヘッドホン・マイクを接続する場合

装置背面のオーディオ２コネクタにヘッドホン・マイクを接続して使用することによって、装置内蔵マイクや内蔵スピーカを使用しないで、通話を行うことができます。

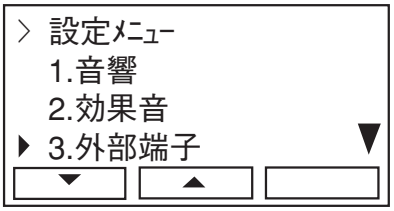


ヘッドホン・マイクのヘッドホン（スピーカ）コネクタを、「オーディオ２」の出力コネクタに差し込み、マイクコネクタを「オーディオ２」の入力コネクタに差し込みます。

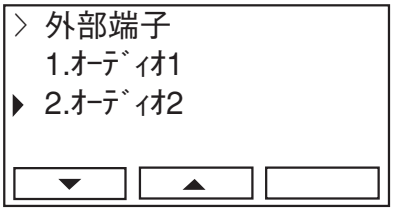
Point ヘッドセットマイクなどの音声入出力機器を接続する場合には、「オーディオ２」を「マイク／ヘッドホン」モードに設定してご使用ください。

① 待ち受け状態より［設定］ボタンを押して設定メニューを表示します。

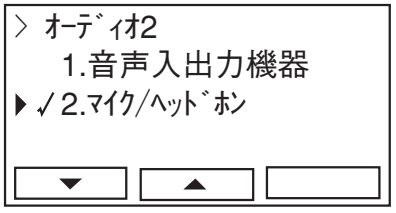
② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、“外部端子”を選択し、［設定］ボタンを押します。



③ ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、“オーディオ2”を選択し、「選択」ボタンを押します。



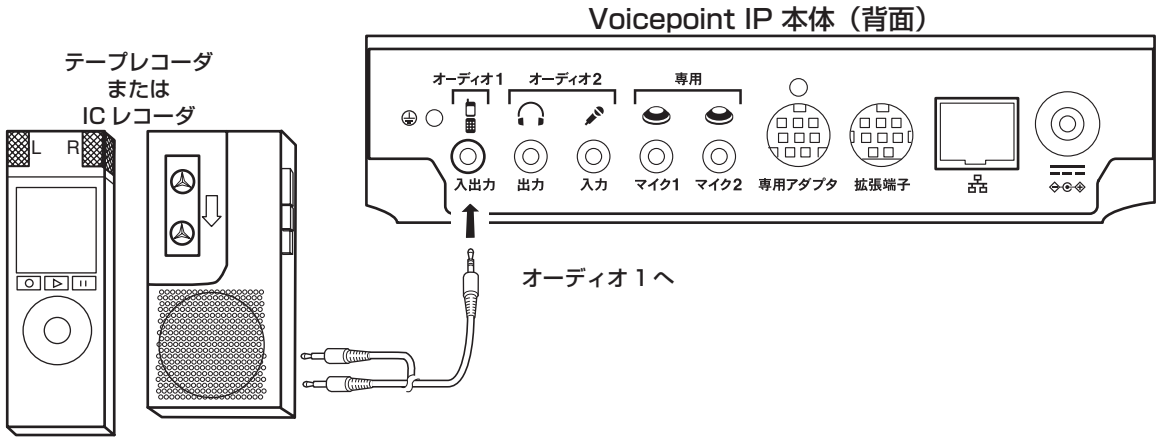
④ ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、“マイク／ヘッドホン”を選択し、［設定］ボタンで確定します。



Point 「オーディオ２」にコネクタ接続すると、「オーディオ２」の設定画面が表示されますので、「マイク／ヘッドホン」を［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して選択し、［設定］ボタンで確定します。

録音機器を接続する

録音機器を「オーディオ1」コネクタに接続して使用することで、会議の内容を録音することができます。



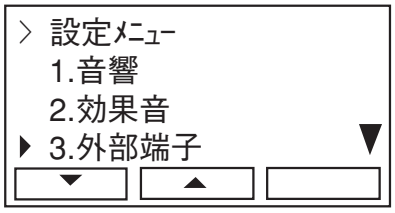
（L チャンネル：出力、R チャンネル：入力）

録音機器の入力コネクタと「オーディオ1」の出力コネクタを接続します。録音機器の出力コネクタと「オーディオ1」の入力コネクタを接続します。

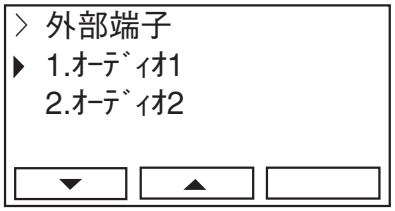
なお録音機器を接続する場合には、「オーディオ1」コネクタを「録音端子」モードに設定してご使用ください。

① 待ち受け状態より［設定］ボタンを押して設定メニューを表示します。

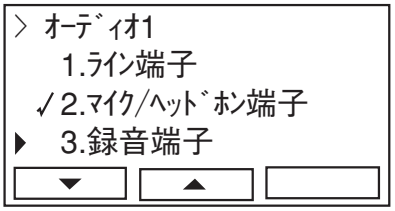
② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、“外部端子”を選択し、［設定］ボタンを押します。



③ ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、“オーディオ1”を選択し、「選択」ボタンを押します。



④ ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して、“録音端子”を選択し、［設定］ボタンで確定します。



⑤ 待ち受け画面で［◀］（F1）または［▶］（F2）ボタンを押してAUDI1を選択します。

⑥ 録音機器の準備ができたら［接続］ボタンを押します。

⑦ 録音機器で録音を開始します。

⑧ 録音が完了したら録音を停止します。

⑨ 録音機器が停止したら［切断］ボタンを押します。

Point 「オーディオ1」にコネクタを接続すると、「オーディオ1」の設定画面画表示されるので、「録音端子」を［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して選択し、［設定］ボタンで確定します。

重要 録音機器で録音した音声を本体の内蔵スピーカから再生する場合、録音機器の「再生」ボタンを押してください。また、IP 多地点接続や音声ミキシング接続時は、録音機器から再生される音声は、接続される拠点へも同時に送信され再生されます。

（応用編）

第７章　管理者設定を変更する

管理者設定を変更する

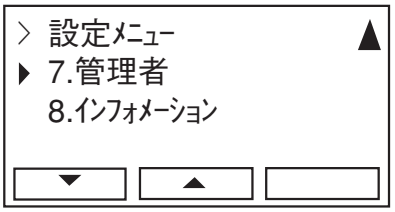
ここでは、管理者設定を変更する場合の操作について説明します。管理者設定を行う場合は、管理者パスワードを入力する必要があります。

Point **管理者パスワード：＊＊00##**

管理者パスワードを入力する

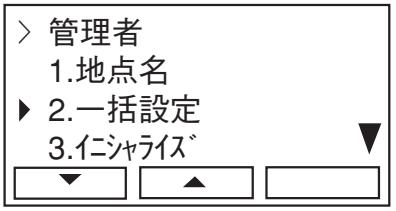
① 待ち受け状態より［設定］ボタンを押して設定メニューを表示します。

② ［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「管理者設定」を選択し、［設定］ボタンを押します。

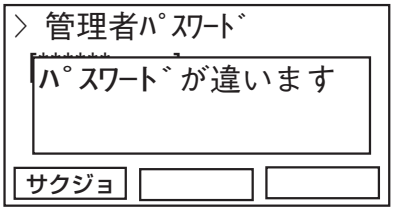


③ パスワードの入力画面が表示されますので、［＊］［＊］［0］［0］［＃］［＃］ボタンを順に押します。

④ 入力すると管理者設定のメニューを表示します。



正しいパスワードでない場合には次の画面が表示されます。パスワードを再入力してください。



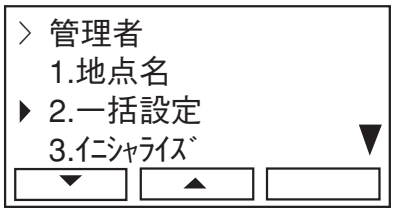
一括設定を行う

ここでは、装置の設定内容を一括でセーブ（格納）して、必要に応じてロード（再設定）することができる一括設定について説明します。

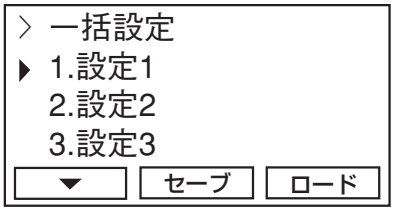
設定を一括でセーブする

① **管理者メニューより［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「一括設定」を選択し、［設定］ボタンを押します。**

② **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「管理者設定」を選択し、［設定］ボタンを押します。**

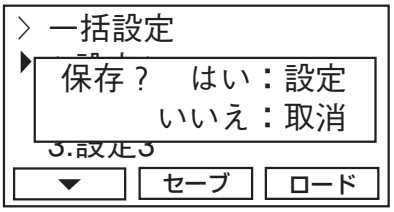


③ **［▼］（F1）ボタンを押して「設定名」を選択し、［セーブ］（F2）ボタンを押します。**



④ **ポップアップ画面が表示されるので、［設定］ボタンを押します。**

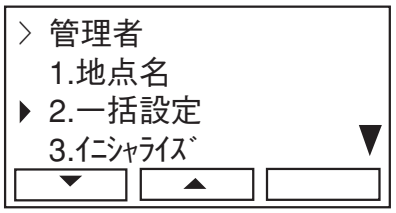
キャンセルしたい場合は［取消］ボタンを押してください。



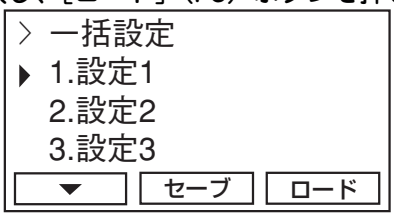
設定を一括でロードする

① **管理者メニューより［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「一括設定」を選択し、［設定］ボタンを押します。**

② **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「管理者設定」を選択し、［設定］ボタンを押します。**

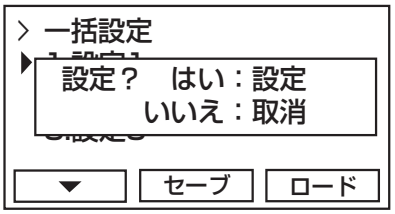


③ **［▼］（F1）ボタンを押して「設定名」を選択し、［ロード］（F3）ボタンを押します。**



④ **ポップアップ画面が表示されるので、［設定］ボタンを押します。**

キャンセルしたい場合は［取消］ボタンを押してください。

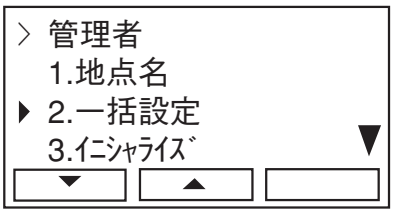


設定名を変更する

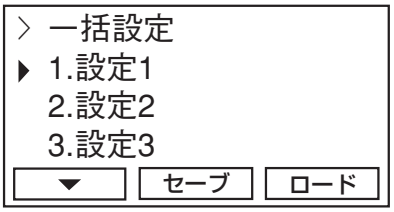
設定名を変更することができます。

① **管理者メニューより［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「一括設定」を選択し、［設定］ボタンを押します。**

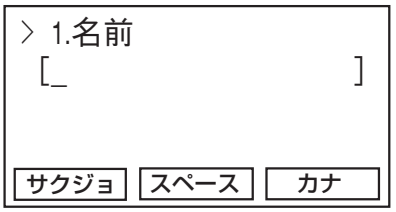
② **［▼］（F1）または［▲］（F2）ボタンを押して「管理者設定」を選択し、［設定］ボタンを押します。**



③ **［▼］（F1）ボタンを押して「設定名」を選択し、［設定］ボタンを押します。**

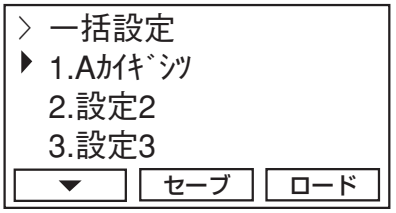


④ **設定名を変更します。**



⑤ **変更した後、［設定］ボタンを押します。**

一括設定の画面に戻ります。



Point HTTPサーバ機能を使用した場合は、漢字入力も可能です。詳しくは「」（8-21ページ）を参照ください。

（応用編）

第８章　HTTPサーバ機能を使用する

HTTPサーバ機能を使用する

ここでは、HTTPサーバ機能を使用して装置の設定メニューを確認・変更する場合や電話帳を登録・編集する場合の操作方法について説明します。

ログインする

① **PC上でからWebブラウザを起動します。**

装置のWebブラウザ画面をご覧になる場合、Microsoft Internet Explorer6.0以上を推奨します。

② **WebブラウザのアドレスバーにVoicepoint IP本体に設定されているIPアドレスを入力します。**

③ **IPアドレスが正しく設定されている場合には、Webブラウザにログイン画面が表示されます。**

④ **ログイン画面で、「Serial No」の入力欄に装置底面のシールに記載されています10桁のシリアル番号を入力します。**

⑤ 正しくログインできると、［設定メニュー］画面が表示されます。

Point Webブラウザにログイン画面が表示されていない場合は、IPアドレスが正しく入力されているか、またVoicepoint IP本体のHTTP画面設定がONに設定されているがご確認ください。HTTP画面の設定については、「[HTTPサーバ]」をご参照ください。

⋙ ログアウトする

① 設定メニュー上で［ログアウト］ボタンをクリックします。

② 再度ログインする場合は［ログイン］をクリックし、ログイン画面から再度ログインします。

Point 設定メニューにログインしている状態で、3分以上操作を行なわないとログアウト状態に戻ります。再度ログイン操作が必要です。

再起動する

① 設定メニュー上で［再起動］ボタンをクリックします。

② 再度ログインする場合は［ログイン］をクリックし、ログイン画面から再度ログインします。

Point 再ログインする場合には、装置の画面が待ち受け画面になるのを待ってからログイン操作を行ってください。

設定の確認・変更をする

Webブラウザ画面からVoicepoint IP本体の設定メニューを確認・変更することができます。［地点名］の登録を行うときに、全角文字（漢字、カナ、英数字）で登録することができます。

- 環境設定
  - 音響
  - 効果音
  - 外部端子
  - IP ネットワーク関連
    - IP ネットワーク
    - IP マスカレード
    - IP オプション
  - アナログ電話
  - IP 電話
- 管理者設定
  - 地点名
  - バージョンアップ
  - オプションキー
- 一括設定
- メンテナンス
  - インフォメーション

電話帳の登録・編集をする

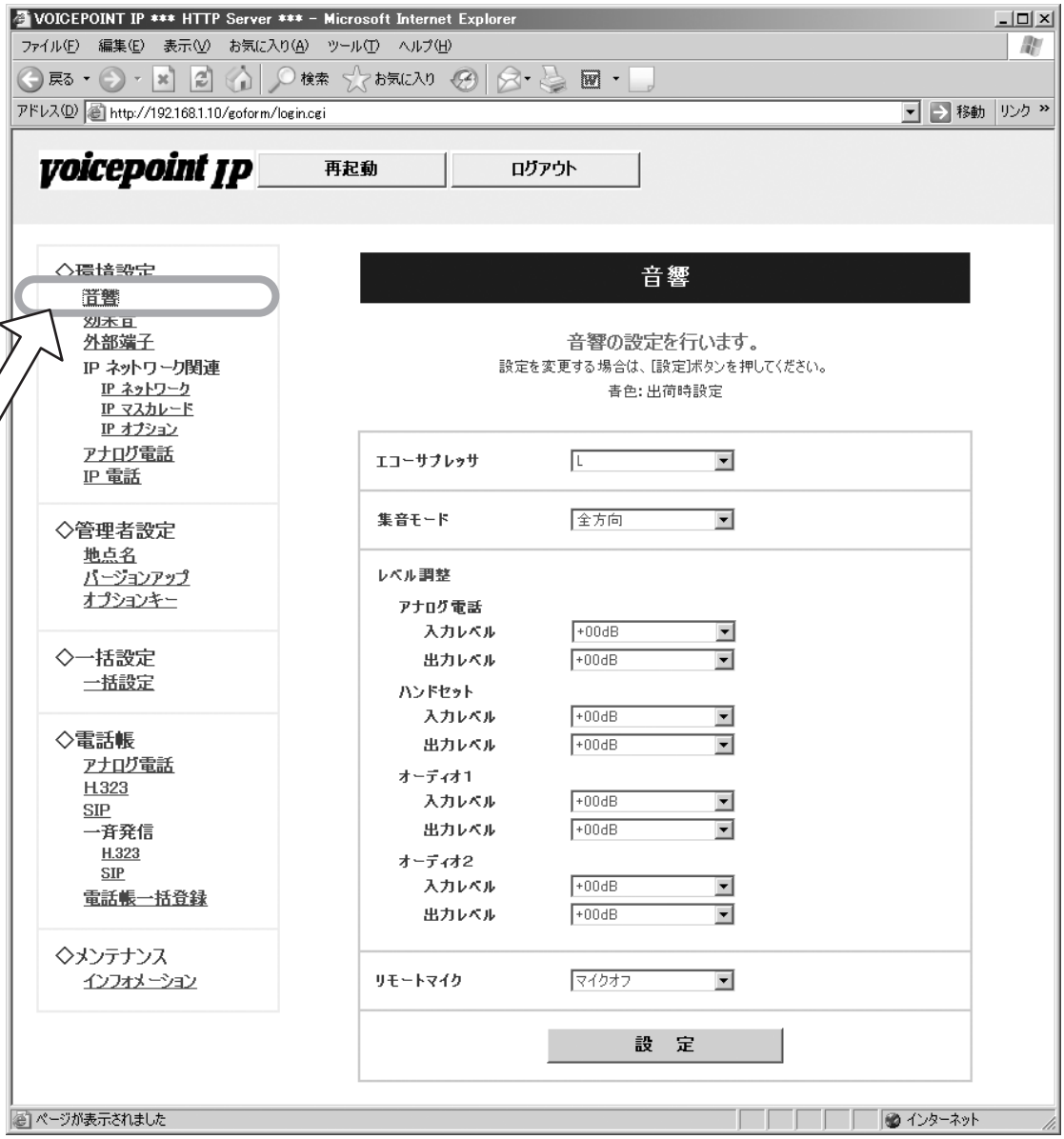
Webブラウザ画面から電話帳の編集・登録をすること ができます。電話帳の地点名などに、全角文字（漢字、カナ、英数字）で登録することができます。

Point Voicepoint IP本体に登録されている電話帳の情報をCSV形式の電話帳ファイルにダウンロードし、PCでファイル編集後、再度装置にアップロードすることで、全ての電話帳の情報を一括設定できる電話帳一括設定機能を使用することができます。

- 電話帳
  - アナログ電話
  - H.323
  - SIP
  - 一斉発信
    - H.323
    - SIP
  - アナログ電話
- 電話帳一括登録

[音響]

ここでは、音響に関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。



- エコーサプレッサ
  エコーやハウリングが発生する場合に調節します。
  H＞ M＞L＞ OFF の順序で、ハウリングは発生し難くなりますが、語頭や語尾などの音声が聞き取りにくく、途切れ間が強くなります。効果音に関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。

設定内容	出荷時設定
OFF	L
L	
M	
H	

- 集音モード

  内蔵マイクの集音方向を調整します。

設定内容	出荷時設定
正面／背面	全方向
全方向	

- レベル調整[アナログ電話][入力レベル]／[出力レベル]

  アナログ電話用アダプタを接続し、アナログ電話回線で接続して使用する場合に、入力、出力レベルの補正を行います。

  Point

  通話中（オフフック）にレベルを変更しても、通話終了後（オンフック）時にはオフフックする前に設定値に戻ります。待ちうけ中（ オンフック）に、設定値を変更する場合は、その設定値は保存されます。

設定内容	出荷時設定
-24dB～+12dB	0dB

- レベル調整[ハンドセット][入力レベル]／[出力レベル]
  ハンドセット用アダプタを接続し、電話機のハンドセットコネクタに接続して使用する場合に、入力、出力レベルの補正を行います。

設定内容	出荷時設定
-24dB～+12dB	0dB

- レベル調整[オーディオ1][入力レベル]／[出力レベル]
  オーディオ１コネクタにケーブルを接続して使用する場合に、入力、出力レベルの補正を行います。

設定内容	出荷時設定
-24dB～+12dB	0dB

- レベル調整[オーディオ2][入力レベル]／[出力レベル]
  オーディオ２コネクタにケーブルを接続して使用する場合に、入力、出力レベルの補正を行います。

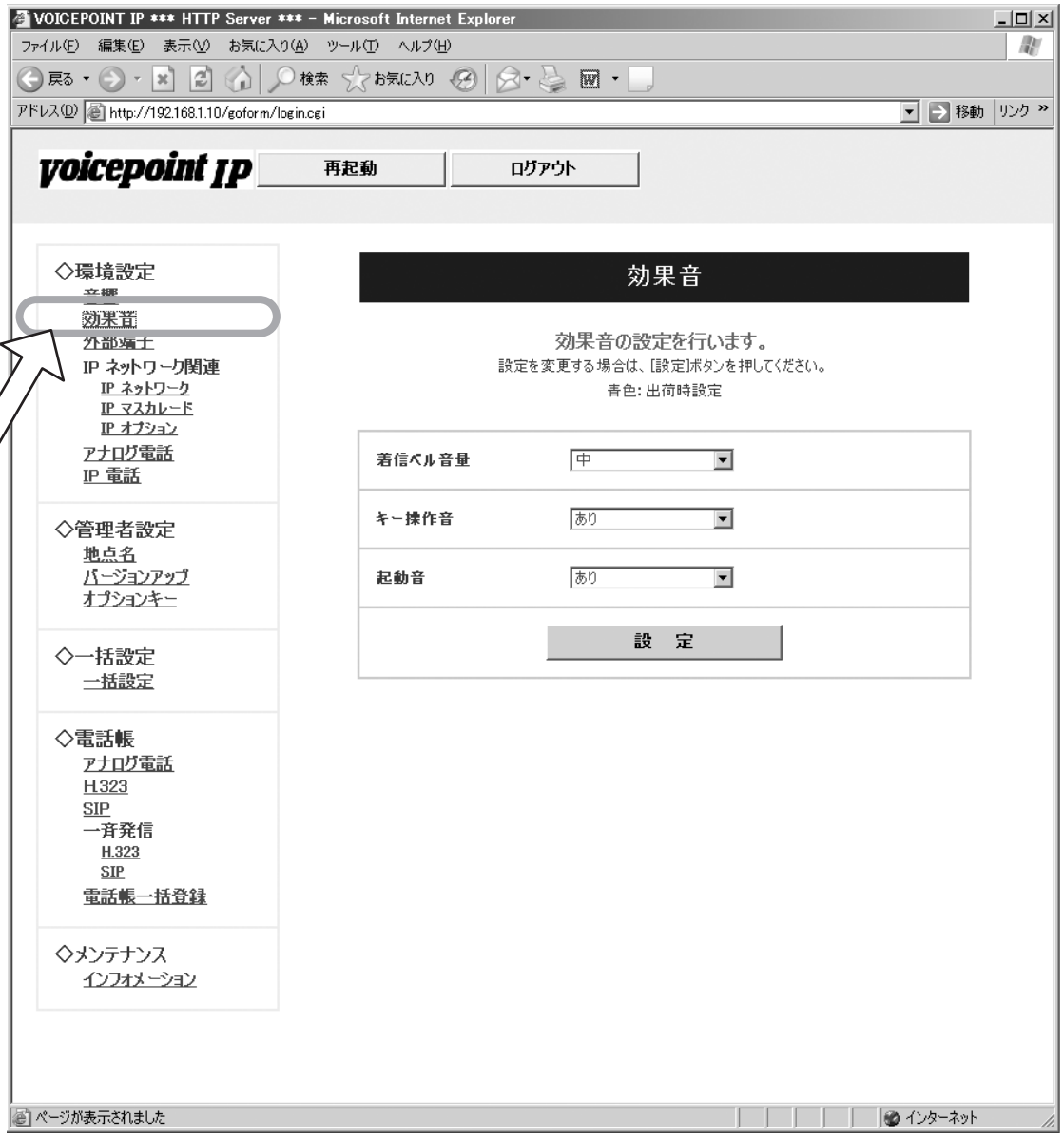
設定内容	出荷時設定
-24dB～+12dB	0dB

- リモートマイク
  通話中に通信相手のマイクオフ制御を行ないます。　**多地点接続対応機器のみ対応。**

設定内容	出荷時設定
マイク　ON	—
マイク　OFF	

≫ [効果音]

ここでは、効果音に関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。



- 着信ベル音量
  着信音量を調節します。

設定内容	出荷時設定
消音	中
小	
中	
大	

- キー操作音
  着信音量を調節します。

設定内容	出荷時設定
あり	あり
なし	

- 起動音
  起動音を調節します。

設定内容	出荷時設定
あり	あり
なし	

[外部端子]

ここでは、外部端子に関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。

- オーディオ1
  オーディオ1コネクタにケーブルを接続して使用する場合に設定します。詳しくは、「オーディオ接続を設定する」を参照ください。

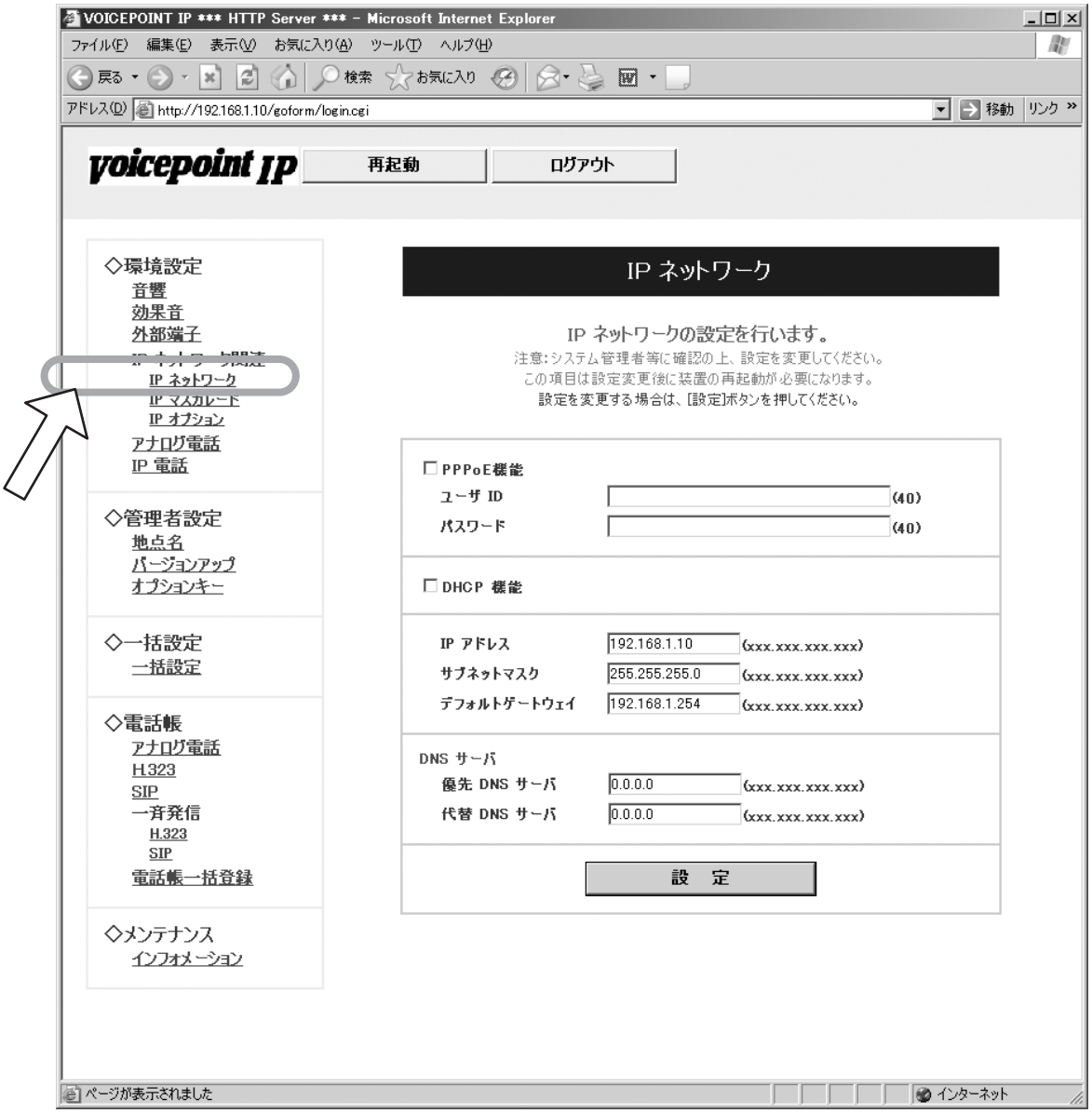
設定内容	出荷時設定
ライン端子	マイク/ヘッドホン端子
マイク/ヘッドホン端子	
録音端子	

- オーディオ2
  オーディオ2コネクタにケーブルを接続して使用する場合に設定します。詳しくは、「音声出力機器を接続する場合」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
音声入出力機器	マイク/ヘッドホン
マイク/ヘッドホン	

［IPネットワーク関連］ー［IPネットワーク］

ここでは、IPネットワークに関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。



- PPPoE機能
  IP ネットワーク環境の［PPPoE］設定をします。詳しくは、「PPPoEの設定」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
使用する	使用しない
使用しない	

- DHCP機能
  IP ネットワーク環境の［DHCP］設定をします。詳しくは、「DHCP／IPアドレスの設定」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
使用する	使用しない
使用しない	

- IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ
  IP ネットワーク環境の［IP アドレス］／［サブネットマスク］／［デフォルトゲートウェイ］設定をします。詳しくは、「DHCP／IP アドレスの設定」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
IPアドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254

- DNS サーバ
  IP ネットワーク環境の［DNS サーバ］設定をします。詳しくは、「DNS サーバの設定」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
優先DNSサーバ	0.0.0.0
代替DNSサーバ	0.0.0.0

［IPネットワーク関連］ー［IPマスカレード］

ここでは、IPマスカレードに関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。

- エコーサーバ
  IP ネットワーク環境の［エコーサーバ］設定をします。

設定内容	出荷時設定
使用する	使用しない
使用しない	

- アドレス解決
  IP ネットワーク環境の［アドレス解決］設定をします。

設定内容	出荷時設定
使用する	使用しない
使用しない	

≫ [IPオプション]

ここでは、IP オプションに関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。

- 暗号化
  IP ネットワーク環境の［暗号化］設定をします。

設定内容	出荷時設定
する	しない
しない	

- 暗号化キー
  IP ネットワーク環境の［暗号化キー］設定をします。

設定内容	出荷時設定
半角8文字	—

- TOS
  IP ネットワーク環境の［TOS］設定をします。

設定内容	出荷時設定
8ビット、バイナリ入力	00000000

- PING応答
  IP ネットワーク環境の［PING応答］設定をします。

設定内容	出荷時設定
有効にする	有効にする
無効にする	

［アナログ電話］

ここでは、アナログ電話に関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。

- ダイヤルモード
  アナログ電話環境の［ダイヤルモード］設定をします。詳しくは、「ダイヤルモードを設定する」を参照ください。

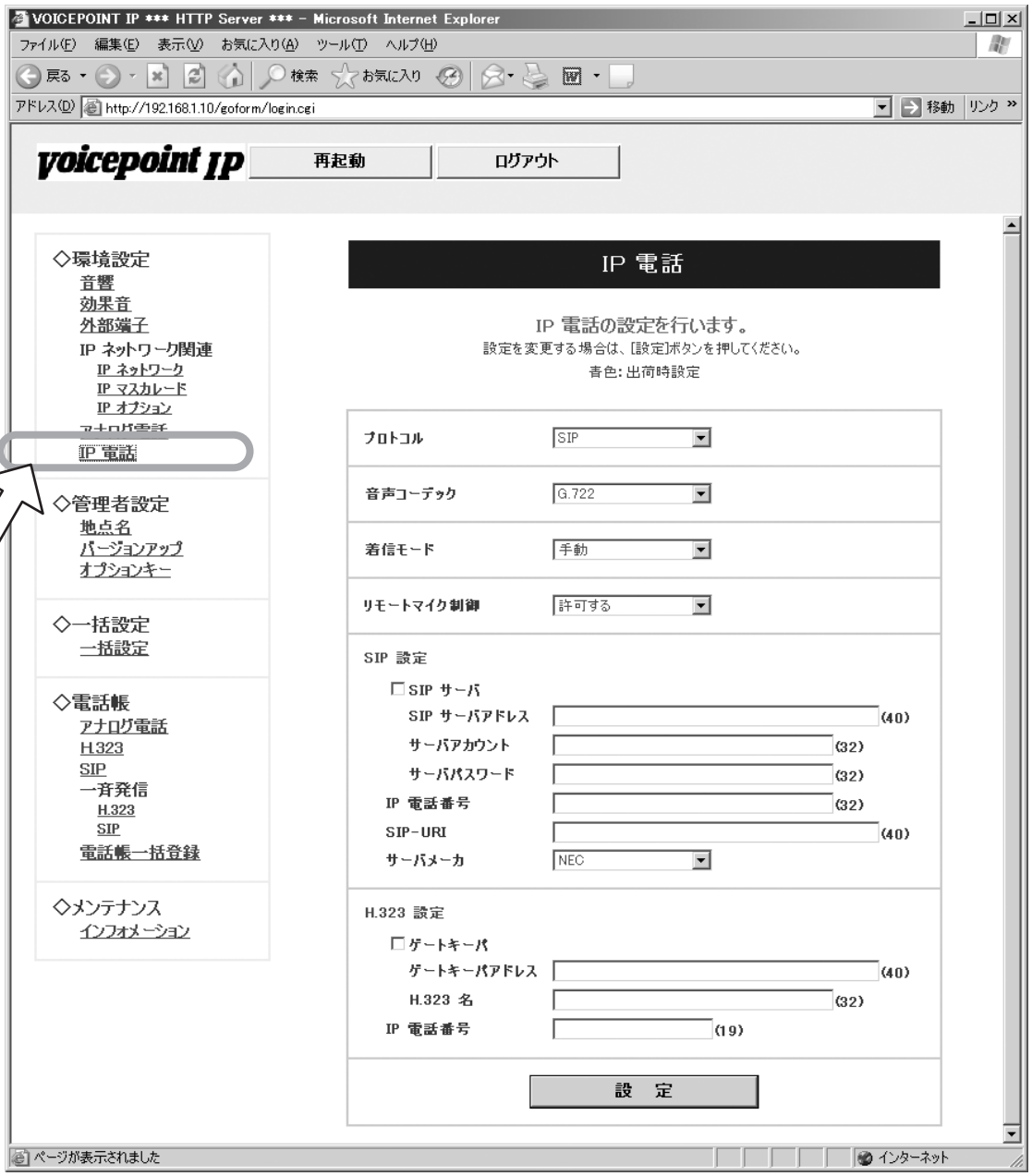
設定内容	出荷時設定
MF（トーン回線）	MF（トーン回線）
DP10（ダイヤルパルス：10pps）	
DP20（ダイヤルパルス：20pps）	

- 切断モード
  アナログ電話環境の［切断モード］設定をします。詳しくは、「切断モードを設定する」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
手動　ポップアップ有	手動　　ポップアップ有
手動　ポップアップ無	
自動	

≫　[IP電話]

ここでは、IP電話に関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。



- プロトコル
  IP 電話環境の［プロトコル］設定をします。詳しくは、「接続プロトコルの設定」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
SIP	SIP
H.323	

- 音声コーデック
  IP 電話環境の［音声コーデック］設定をします。詳しくは、「音声コーデックの設定」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
G.722.1C／Polycom	G.722
G.722	
G.711	
G.729A	

- 着信モード
  IP 電話環境の［着信モード］設定をします。詳しくは、「着信モードの設定」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
手動	手動
自動（選択なし）	
自動（選択あり）	

- リモートマイク制御
  IP 電話環境の［リモートマイク制御］設定をします。詳しくは、「リモートマイク制御を使用する」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
許可する	許可する
禁止する	

- SIP
  IP 電話環境の［SIP］設定をします。詳しくは、「SIP に関する設定」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
SIP サーバ	使用しない
サーバアドレス	0.0.0.0
アカウント	ー
パスワード	ー
IP-TEL	ー
SIP-URI	ー
サーバ選択	NEC SV7000

- H.323
  IP 電話環境の［H.323］設定をします。詳しくは、「H.323に関する設定」を参照ください。

設定内容	出荷時設定
ゲートキーパ	使用しない
ゲートキーパアドレス	0.0.0.0
H.323名	ー
IP電話番号	ー

管理者設定の詳細

［地点名］

ここでは、地点名に関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。

- 地点名
  ［地点名］を入力してください。

設定内容	出荷時設定
全角のみ、または半角のみで16文字	―

重要

- **全角文字と半角文字の混在はできません。（入力エラーになります。）**

［バージョンアップ］

ここでは、バージョンアップに関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。

- バージョンアップ
  バージョンアップを行う場合は、ダウンロードツールをインストールしたパソコン（ダウンロードサーバ）のIPアドレスを設定してください。

設定内容	出荷時設定
—	0.0.0.0

［オプションキー］

ここでは、オプションキーに関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。

- オプションキー
  IP 多地点モデルにアップブレードする場合に、オプションキーコードを入力してください。IP 多地点アップグレードキットを別途お買い求めください。

設定内容	出荷時設定
—	—

一括設定の詳細

ここでは、一括設定に関する設定パラメータの確認と変更を行ないます。一括設定とは、ご使用する会議室ごとに環境設定（IP ネットワーク環境ほか）を Voicepoint IP本体に保存し、ご使用の環境が変わる度に、一度保存した環境設定を読み込んでご使用いただけます。複数の環境設定を簡単に切り替えて使用することができます。

- 一括設定
  装置内の設定内容を一括でセーブ（保存）して、必要に応じてロード（再設定）することができます。
  最大で3つの場所の設定をセーブしておくことが可能です。
  設定名のタイトルは変更可能です。
  詳しくは、「一括設定を行う」を参照ください。

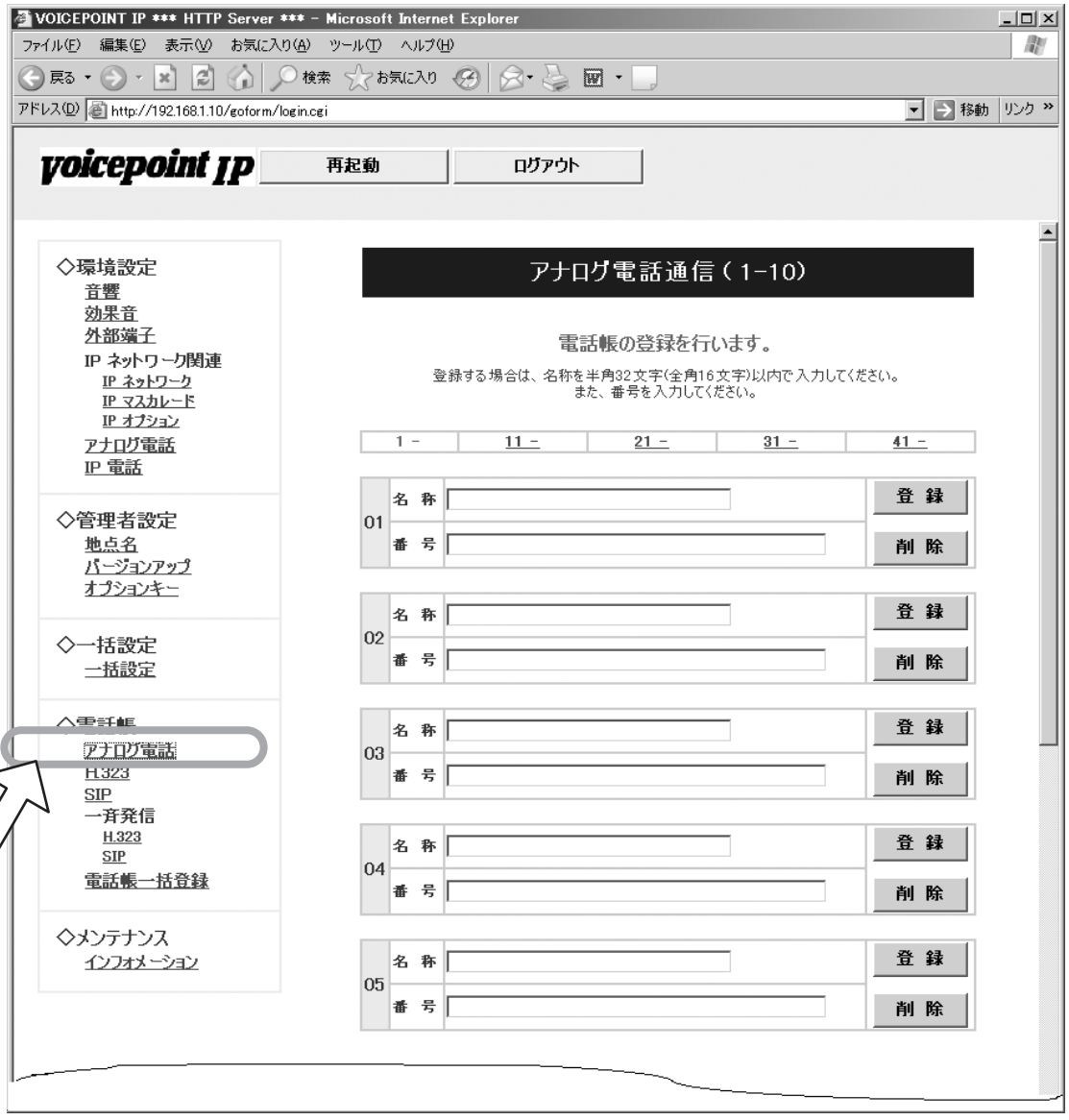
設定内容	出荷時設定
設定1	設定1（設定名のみ仮設定済み）
設定2	設定2（設定名のみ仮設定済み）
設定3	設定3（設定名のみ仮設定済み）

電話帳設定の詳細

[アナログ電話]

ここでは、アナログ電話帳の編集･登録を行ないます。アナログ電話帳は最大50件の通話先（名称、電話番号）を登録することができます。インデックス（01～50）ごとに、名称、電話番号を入力して、Voicepoint IP 本体に登録する場合は［登録］ボタンをクリックします。Voicepoint IP 本体から削除する場合は、［削除］ボタンをクリックします。

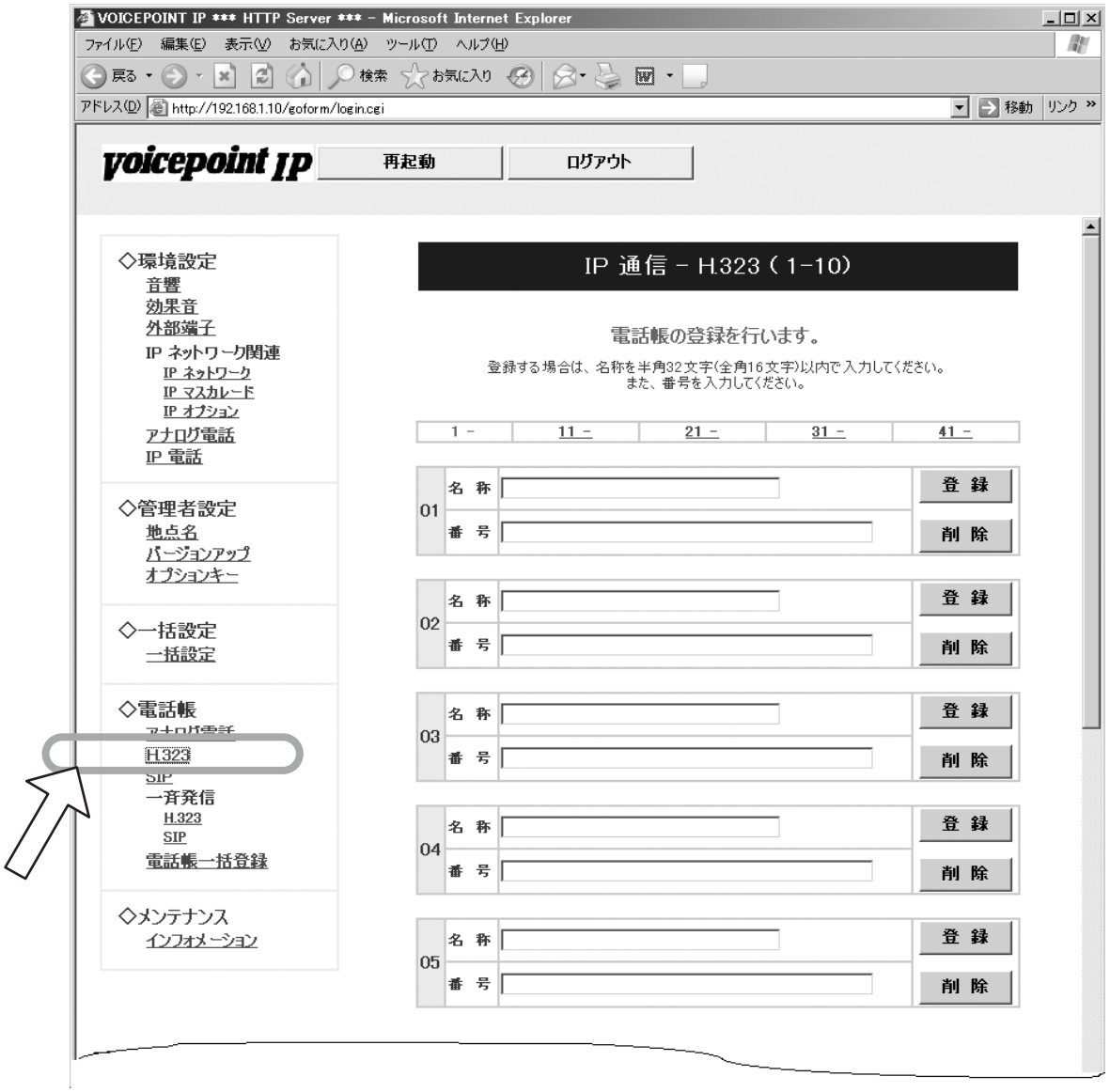
Point **ここでは、電話帳の登録･削除は１件ずつ行ないます。一括して電話帳に登録する場合は、電話帳一括登録をご使用ください。**



[H.323]

ここでは、IP（H.323）電話帳の編集･登録を行ないます。IP（H.323）電話帳電話帳は最大50件の通話先（名称、電話番号）を登録することができます。インデックス（01～50）ごとに、名称、電話番号を入力して、Voicepoint IP本体に登録する場合は［登録］ボタンをクリックします。Voicepoint IP本体から削除する場合は、［削除］ボタンをクリックします。

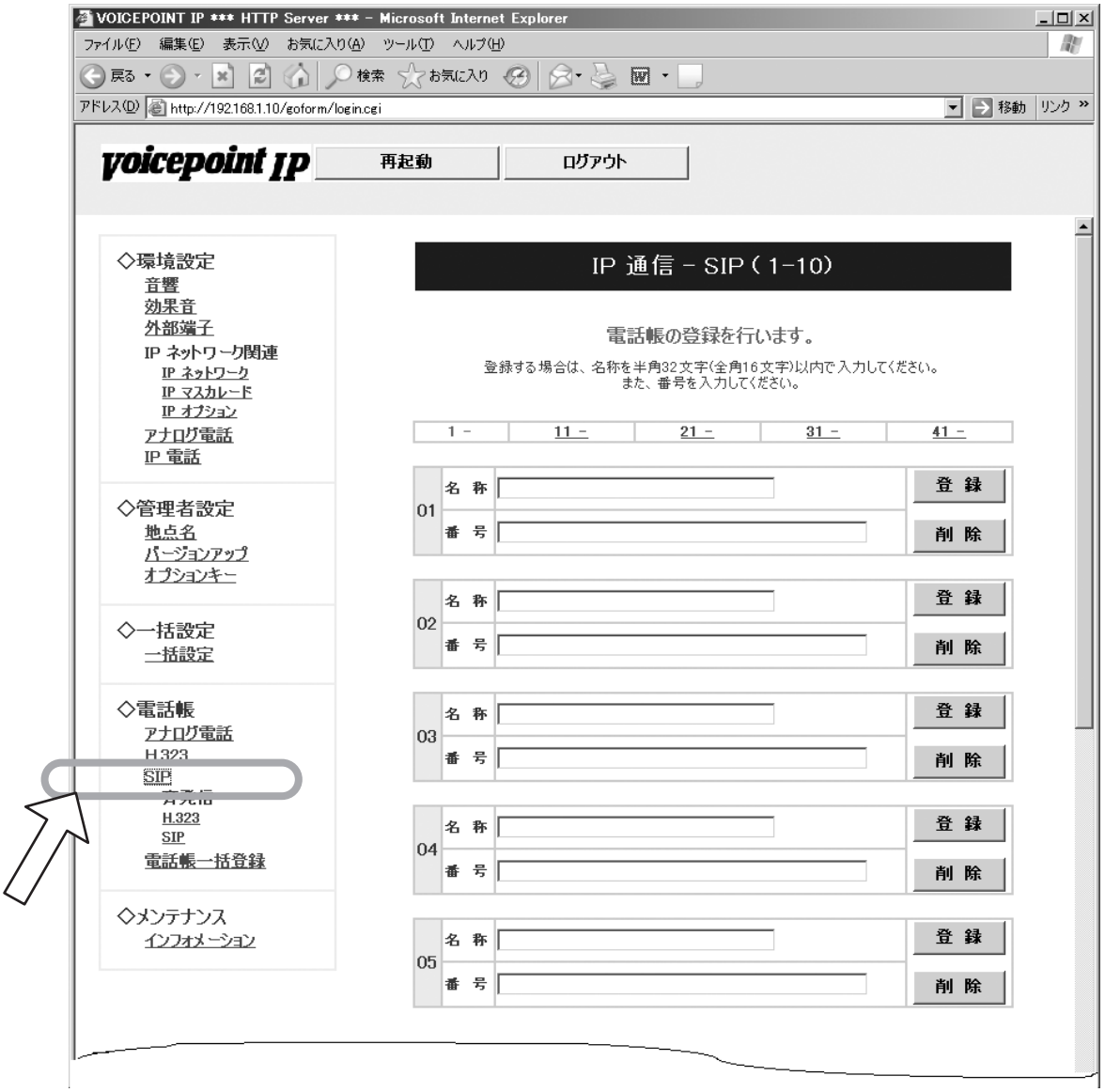
Point **ここでは、電話帳の登録･削除は1件ずつ行ないます。一括して電話帳に登録する場合は、電話帳一括登録をご使用ください。**



[SIP]

ここでは、IP（SIP）電話帳の編集･登録を行ないます。IP（SIP）電話帳電話帳は最大50件の通話先（名称、電話番号）を登録することができます。インデックス（01～50）ごとに、名称、電話番号を入力して、Voicepoint IP本体に登録する場合は［登録］ボタンをクリックします。Voicepoint IP本体から削除する場合は、［削除］ボタンをクリックします。

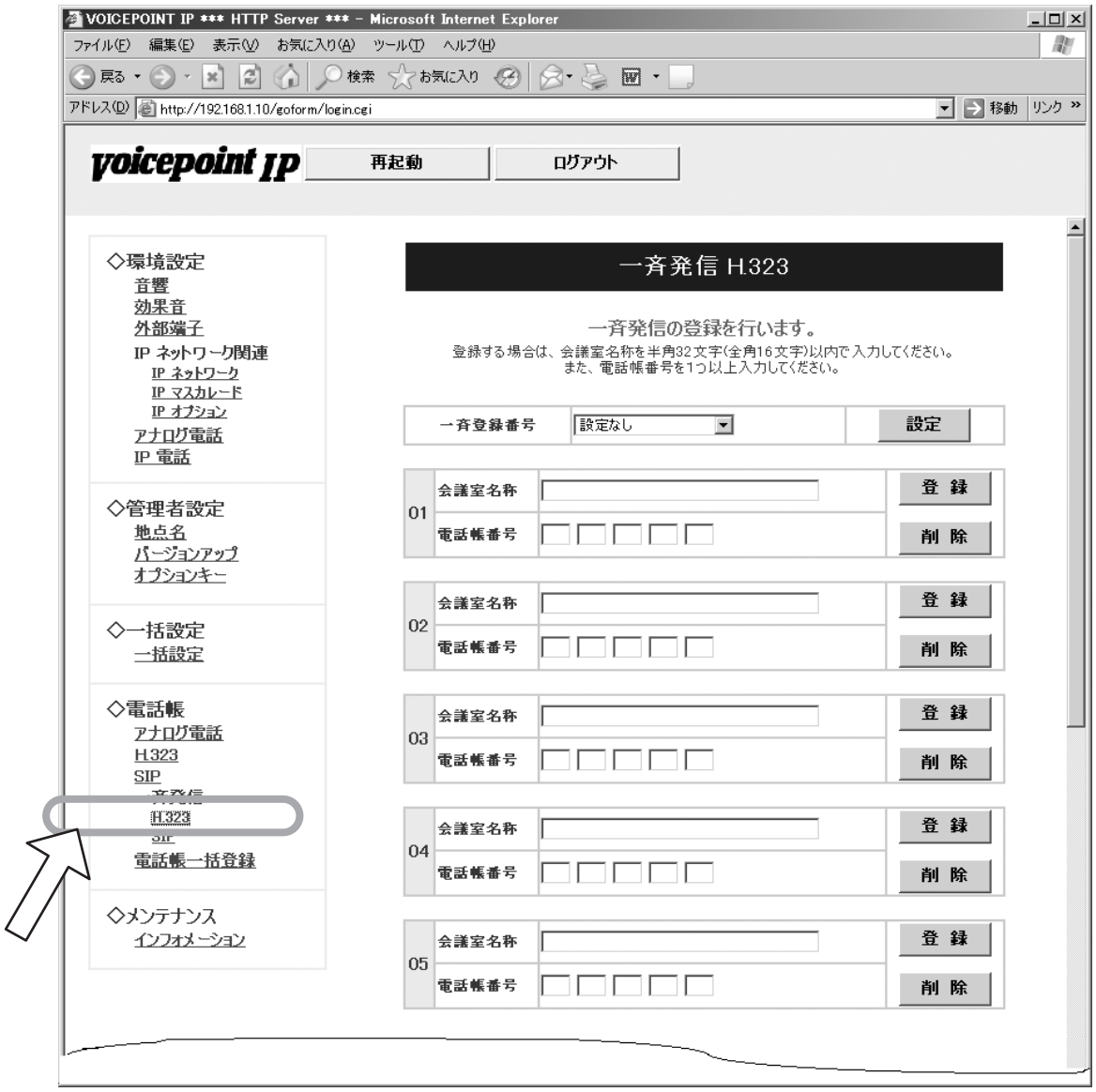
Point **ここでは、電話帳の登録･削除は1件ずつ行ないます。一括して電話帳に登録する場合は、電話帳一括登録をご使用ください。**



［一斉発信］－［H.323］

ここでは、一斉発信IP（H.323）電話帳の編集･登録を行ないます。一斉発信IP（H.323）電話帳電話帳は最大10件の通話先（名称、電話番号）を登録することができます。インデックス（01～10）ごとに、名称、電話帳番号（IP（H.323）電話帳の番号）を入力して、Voicepoint IP本体に登録する場合は［登録］ボタンをクリックします。Voicepoint IP本体から削除する場合は、［削除］ボタンをクリックします。

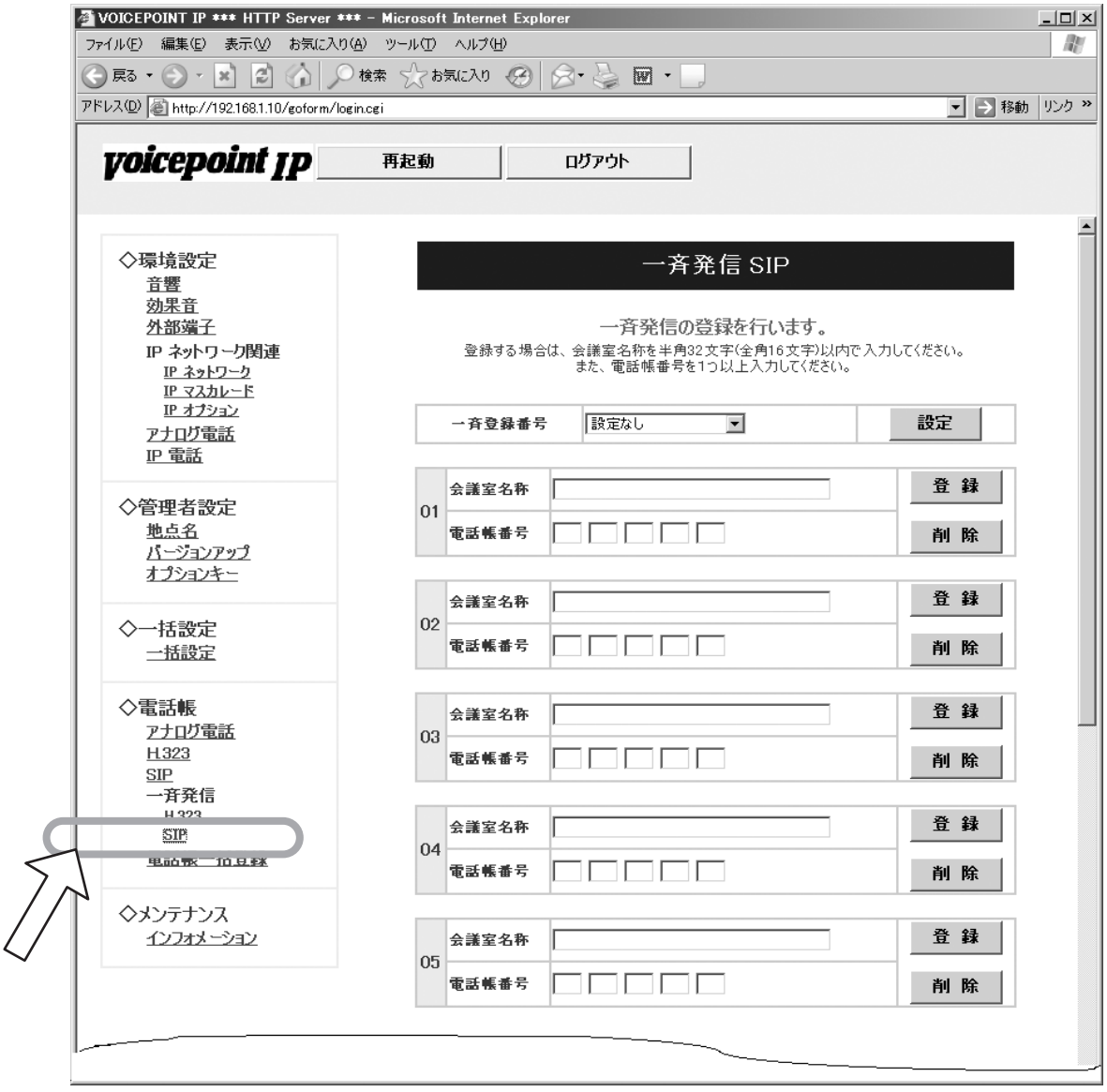
Point **ここでは、電話帳の登録･削除は１件ずつ行ないます。一括して電話帳に登録する場合は、電話帳一括登録をご使用ください。**



≫　［一斉発信］ー［SIP］

ここでは、一斉発信IP（SIP）電話帳の編集･登録を行ないます。一斉発信IP（SIP）電話帳電話帳は最大10件の通話先（名称、電話番号）を登録することができます。インデックス（01～10）ごとに、名称、電話帳番号（IP（SIP）電話帳の番号）を入力して、Voicepoint IP本体に登録する場合は［登録］ボタンをクリックします。Voicepoint IP本体から削除する場合は、［削除］ボタンをクリックします。

Point　**ここでは、電話帳の登録･削除は１件ずつ行ないます。一括して電話帳に登録する場合は、電話帳一括登録をご使用ください。**



≫ ［電話帳一括登録］

ここでは、電話帳一括登録について説明します。電話帳一括登録は、Voicepoint IP本体に登録されている電話帳の情報をCSV形式の電話帳ファイルにダウンロードし、PCでファイル編集後、再度装置にアップロードすることで、全ての電話帳の情報を一括設定できる機能です。

Voicepoint IP本体に登録されている電話帳のデーターを読み出すときは［ダウンロード］ボタンをクリックします。Voicepoint IP本体に電話帳のデーター読み込むときは［参照］ボタンをクリックして電話帳ファイルを選択し、［更新］ボタンをクリックすることで登録できます。

Point **電話帳一括登録はHTTP機能でだけサポートされる機能です。アナログ電話50件、IP電話帳各50件、一斉発信電話帳各10件の電話帳情報を、CSV形式のファイルからVoicepoint IP本体の電話帳にまとめて登録することができます。**

»» インフォメーションの詳細

ここでは、装置情報に関する情報の確認を行ないます。

第９章　その他（ご参考）

LCDメニュー一覧

1	音響	1	エコーサプレッサ			9-4 ページ
		2	集音モード			9-4 ページ
		3	レベル調整	1	アナログ電話	9-4 ページ
				2	ハンドセット	9-4 ページ
				3	オーディオ 1	9-4 ページ
				4	オーディオ 2	9-4 ページ
		4	リモートマイク			9-5 ページ
2	効果音	1	着信ベル音量			9-5 ページ
		2	キー操作音			9-5 ページ
		3	起動音			9-5 ページ
3	外部端子	1	オーディオ 1			9-5 ページ
		2	オーディオ 2			9-5 ページ
4	IP ネットワーク*1	1	PPPoE*2	1	PPPoE	9-6 ページ
				2	ユーザ ID	
				3	パスワード	
		2	DHCP/IP アドレス*2		DHCP	9-6 ページ
				1	IP アドレス	9-6 ページ
				2	サブネットマスク	
				3	デフォルトゲートウェイ	
		3	DNS サーバ*2	1	優先 DNS サーバ	9-6 ページ
				2	代替 DNS サーバ	
		4	IP マスカレード	1	エコーサーバ	9-6 ページ
				2	アドレス解決	
		5	VLAN 応答*2	1	VLAN	9-6 ページ
				2	CoS	
				3	VLAN-ID	
		6	オプション	1	暗号化	9-6 ページ
				2	暗号化キー	9-6 ページ
				3	TOS	9-7 ページ
				4	PING 応答	9-7 ページ
5	アナログ電話*3	1	ダイヤルモード			9-7 ページ
		2	切断モード			9-7 ページ
6	IP 電話*1	1	プロトコル			9-8 ページ
		2	音声コーデック			9-8 ページ
		3	着信モード			9-8 ページ
		4	SIP 設定			9-8 ページ
		5	H.323 設定			9-8 ページ

7	管理者*1, *3		パスワード			9-9 ページ
		1	地点名			9-9 ページ
		2	一括設定			9-9 ページ
		3	イニシャライズ	1	履歴	9-9 ページ
				2	電話帳	
				3	ユーザ設定*4	
				4	出荷設定*4	
		4	バージョンアップ*4			9-9 ページ
		5	オプションキー			9-9 ページ
		6	HTTPサーバ			9-9 ページ
8	インフォメーション	1	型名			9-10 ページ
		2	シリアル番号			9-10 ページ
		3	MACアドレス			9-10 ページ
		4	バージョン			9-10 ページ

*1 IP 電話通話中に設定変更することができません。
*2 設定変更後に設定を反映させるため、再起動する必要がります。設定後、「設定」ボタンを押すと再起動します。
*3 アナログ電話通話中に設定変更することができません。
*4 設定変更後に設定を反映させるため、再起動する必要がります。設定後、自動で再起動します。

LCD設定メニュー項目について

ここでは、LCD設定メニューから設定できる項目の内容を記載します。

音響

[エコーサプレッサ]

説明	設定内容	出荷時設定
エコーやハウリングが発生する場合に調節します。 H＞ M＞L＞OFF の順序で、ハウリングは発生し難くなりますが、語頭や語尾などの音声が聞き取りにくく、途切れ感が強くなります。	1. OFF	2. L
	2. L	
	3. M	
	4. H	

[集音モード]

説明	設定内容	出荷時設定
内蔵マイクの集音方向を調整します。	1. 正面／背面	全方向
	2. 全方向	

[レベル調整][アナログ電話][入力レベル]／[出力レベル]

説明	設定内容	出荷時設定
アナログ電話用アダプタを接続し、アナログ電話回線で接続して使用する場合に、入力、出力レベルの補正を行います。 **Point** **通話中（オフフック）にレベルを変更しても、通話終了後（オンフック）時にはオフフックする前に設定値に戻ります。待ち受け中（ オンフック）に、設定値を変更する場合は、その設定値は保存されます。**	-24dB～+12dB	0dB

[レベル調整][ハンドセット][入力レベル]／[出力レベル]

説明	設定内容	出荷時設定
ハンドセット用アダプタを接続し、電話機のハンドセットコネクタに接続して使用する場合に、入力、出力レベルの補正を行います。	-24dB～+12dB	0dB

[レベル調整][オーディオ１][入力レベル]／[出力レベル]

説明	設定内容	出荷時設定
オーディオ 1 コネクタにケーブルを接続して使用する場合に、入力、出力レベルの補正を行います。	-24dB～+12dB	0dB

[レベル調整][オーディオ2][入力レベル]／[出力レベル]

説明	設定内容	出荷時設定
オーディオ 2 コネクタにケーブルを接続して使用する場合に、入力、出力レベルの補正を行います。	-24dB～+12dB	0dB

[リモートマイク]

説明	設定内容	出荷時設定
通話中に通信相手のマイクオフ制御を行ないます。 **多地点接続対応機器のみ対応。**	マイク　ON	—
	マイク　OFF	

››› 効果音

[着信ベル音量]

説明	設定内容	出荷時設定
着信音量を調節します。	1. 消音	3. 中
	2. 小	
	3. 中	
	4. 大	

[キー操作音]

説明	設定内容	出荷時設定
キー操作音を調節します。	1. あり	1. あり
	2. なし	

[起動音]

説明	設定内容	出荷時設定
起動音を調整します。	1. あり	1. あり
	2. なし	

››› 外部端子

[オーディオ 1]

説明	設定内容	出荷時設定
オーディオ 1 コネクタにケーブルを接続して使用する場合に設定します。 詳しくは、「オーディオ接続を設定する」を参照ください。	1. ライン端子	2. マイク/ヘッドホン端子
	2. マイク/ヘッドホン端子	
	3. 録音端子	

[オーディオ 2]

説明	設定内容	出荷時設定
オーディオ2コネクタにケーブルを接続して使用する場合に設定します。 詳しくは、「音声出力機器を接続する場合」を参照ください。	1. 音声入出力機器	2. マイク/ヘッドホン
	2. マイク/ヘッドホン	

»» IPネットワーク

[PPPoE]

説明	設定内容	出荷時設定
IP ネットワーク環境の［PPPoE］設定をします。 詳しくは、「PPPoEの設定」を参照ください。	1. 使用する	2. 使用しない
	2. 使用しない	

[DHCP／IP アドレス][DHCP]

説明	設定内容	出荷時設定
IP ネットワーク環境の［DHCP］設定をします。 詳しくは、「DHCP／IPアドレスの設定」を参照ください。	1. 使用する	2. 使用しない
	2. 使用しない	

[DHCP／IP アドレス][IP アドレス]

説明	設定内容	出荷時設定
IP ネットワーク環境の［IPアドレス］設定をします。 詳しくは、「DHCP／IPアドレスの設定」を参照ください。	IPアドレス	192.168.1.10
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254

[DNS サーバ]

説明	設定内容	出荷時設定
IP ネットワーク環境の［DNSサーバ］設定をします。 詳しくは、「DNSサーバの設定」を参照ください。	1. 優先DNSサーバ	0.0.0.0
	2. 代替DNSサーバ	0.0.0.0

[IP マスカレード]

説明	設定内容	出荷時設定
IP ネットワーク環境の［IPマスカレード］設定をします。 詳しくは、「IPマスカレードの設定」を参照ください。	1. エコーサーバ	使用しない
	2. アドレス解決	使用しない

[VLAN 応答]

説明	設定内容	出荷時設定
IP ネットワーク環境の［VAN応答］設定をします。 詳しくは、「VLANの設定」を参照ください。	1. 使用する	2. 使用しない
	2. 使用しない	

[IP オプション][暗号化]

説明	設定内容	出荷時設定
IP ネットワーク環境の［暗号化］設定をします。	1. する	2. しない
	2. しない	

[IP オプション][暗号化キー]

説明	設定内容	出荷時設定
IP ネットワーク環境の［暗号化キー］設定をします。	半角8文字	―

[IP オプション][TOS]

説明	設定内容	出荷時設定
IP ネットワーク環境の［TOS値］設定をします。	8ビット、バイナリ入力	00000000

[IP オプション][PING応答]

説明	設定内容	出荷時設定
IP ネットワーク環境の［PING応答］設定をします。 詳しくは、「＜PING応答＞」を参照ください。	1. 有効にする	1. 有効にする
	2. 無効にする	

»» アナログ電話

[ダイヤルモード]

説明	設定内容	出荷時設定
アナログ電話環境の［ダイヤルモード］設定をします。 詳しくは、「ダイヤルモードを設定する」を参照ください。	1. MF	1. MF
	2. DP10	
	3. DP20	

[切断モード]

説明	設定内容	出荷時設定
アナログ電話環境の［切断モード］設定をします。 詳しくは、「切断モードを設定する」を参照ください。	1. 手動　ポップアップ有	1. 手動 ポップアップ有
	2. 手動　ポップアップ無	
	3. 自動	

»» IP電話

[プロトコル]

説明	設定内容	出荷時設定
IP 電話環境の［プロトコル］設定をします。 詳しくは、「接続プロトコルの設定」を参照ください。	1. SIP	1. SIP
	2. H.323	

[音声コーデック]

説明	設定内容	出荷時設定
IP 電話環境の［音声コーデック］設定をします。 詳しくは、「音声コーデックの設定」を参照ください。	1. G.722.1C／Polycom	2. G.722
	2. G.722	
	3. G.711	
	4. G.729A	

[着信モード]

説明	設定内容	出荷時設定
IP 電話環境の［着信モード］設定をします。 詳しくは、「着信モードの設定」を参照ください。	1. 手動	1. 手動
	2. 自動（選択あり）	
	3. 自動（選択なし）	

[SIP]

説明	設定内容	出荷時設定
SIPの設定をします。 詳しくは、「SIPに関する設定」を参照ください。	1. SIP サーバ	使用しない
	2. サーバアドレス	0.0.0.0
	3. アカウント	ー
	4. パスワード	ー
	5. IP-TEL	ー
	6. SIP-URI	ー
	7. サーバ選択	NEC SV7000

[H.323]

説明	設定内容	出荷時設定
H.323 の設定をします。 詳しくは、「H.323に関する設定」を参照ください。	1. ゲートキーパ	使用しない
	2. ゲートキーパアドレス	0.0.0.0
	3. H.323-ID	ー
	4. IP-TEL	ー

»» 管理者

[パスワード]

説明	設定内容	出荷時設定
管理者メニューを変更する場合は、右記のパスワード入力してください。	変更できません。	**00##

[地点名]

説明	設定内容	出荷時設定
［地点名］を入力してください。		―

[一括設定]

説明	設定内容	出荷時設定
装置内の設定内容を一括でセーブ（保存）して、必要に応じてロード（再設定）することができます。 最大で3つの場所の設定をセーブしておくことが可能です。 設定名のタイトルは変更可能です。 詳しくは、「一括設定の詳細」を参照ください。	設定１	設定１ （設定名のみ仮設定済み）
	設定２	設定２ （設定名のみ仮設定済み）
	設定３	設定３ （設定名のみ仮設定済み）

[イニシャライズ]

説明	設定内容	出荷時設定
初期化が必要な場合は、右記の項目から初期化モードを選択して、初期化を行ってください。	１．ダイヤル履歴	―
	２．電話帳	
	３．ユーザ設定	
	4.　出荷時設定	

[バージョンアップ]

説明	設定内容	出荷時設定
バージョンアップを行う場合は、ダウンロードツールをインストールしたパソコン（ダウンロードサーバ）のIPアドレスを設定してください。	―	0.0.0.0

[オプションキー]

説明	設定内容	出荷時設定
IP 多地点モデルにアップブレードする場合に、オプションキーコードを入力してください。IP 多地点アップグレードキットを別途お買い求めください。	―	―

[HTTPサーバ]

説明	設定内容	出荷時設定
パソコンから設定メニューを変更する場合に「1 使用する」に設定してください。	1. 使用する	1. 使用する
	2. 使用しない	

»» インフォメーション

[型名]

説明	設定内容	出荷時設定
型名を表示します。 装置底面の銘版に記載される型名が表示されます。	装置型名ごとに異なります。 オプションが追加されている場合は、オプション名も表示されます。*1	—

*1 IP 多地点モデルアップグレードライセンス（AEC-70-UG）を追加した場合は、”+UG1”が追加されて表示します。

[シリアル番号]

説明	設定内容	出荷時設定
装置のシリアル番号を表示します。シリアル番号は装置底面の銘板に記載される番号が表示されます。	—	—

[MAC アドレス]

説明	設定内容	出荷時設定
装置のMAC アドレスを表示します。MAC アドレスは、装置底面の銘板に記載される番号が表示されます。	—	—

[バージョン]

説明	設定内容	出荷時設定
装置のハードウェアバージョン番号とファームウェアバージョン番号を表示します。	ハードウェア：△.△.△△ ソフトウェア：△△.△△.△△	—

第10章 主な仕様

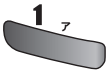
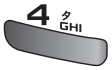
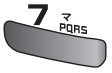
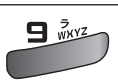
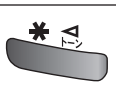
主な仕様

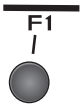
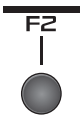
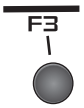
型名			AEC-70M	AEC-70	AEC-70i	AEC-70P（受注生産）
回線インタフェース	アナログ電話	形状	RJ-11		アナログ接続（オプション）	
		ダイヤル種別	MF（トーン回線） DP（ダイヤルパルス回線：10ppm／20ppm）		アナログ接続（オプション）	
	LAN	形状	RJ-45			
		種別	10BASE-T／100BASE-TX			
	その他		ラインコネクタモード →パソコン（ライン入力コネクターライン出力コネクタ） マイク／ヘッドホンコネクタモード →パソコン、携帯電話（マイクコネクターヘッドセットコネクタ） 録音端子モード →録音機器接続（マイクコネクターヘッドセットコネクタ）			
			ハンドセット接続	ハンドセット接続（オプション）		
VoIP	通信プロトコル		H323／SIP			
	音声コーデック		G.711、729A、G.722、G.722.1C, licensed from Polycom®			
	最大通話地点数		IP電話6地点（自局含む）+1地点（アナログ電話またはオーディオ接続）	IP電話2地点（自局含む）+1地点（アナログ電話またはオーディオ接続）		
外部機器接続インタフェース	オーディオ1	形状	φ3.5mmミニジャック×1（3極）			
		機能	パソコン接続／携帯電話接続用			
	オーディオ2	形状	φ3.5mmミニジャック×2（3極）			
		機能	外部音声入出力機器／ヘッドセット接続用			
	専用マイク	形状	φ3.5mmミニジャック×2（3極）			
		機能	外部マイク（オプション）接続用			
	カードスロット		1（将来拡張用）			
	専用アダプタ	形状	コネクタ：ミニDIN			
		機能	アナログ電話用アダプタ、ハンドセット用アダプタ			
内蔵マイク	個数		本体に4ヵ所			
	集音機能		エコーキャンセラ、ノイズリダクション、オートゲインコントロール			
	集音範囲		2～3m			
	その他		マイク指向性切り替え、マイクオフ			
			リモートマイク制御	-		
内蔵スピーカ	個数		本体中央に1ヵ所			
音声信号処理	ミキシング機能		IP電話＋アナログ電話、IP電話＋オーディオコネクタ、アナログ電話＋オーディオコネクタ			
電話機能	通話録音		オーディオ1コネクタに録音機能を接続			
	電話帳		アナログ電話：50件、SIP：50件、H323：50件			
	一斉電話帳		IP多地点モデル	標準モデル		
	ダイヤル履歴		アナログ電話：20件、SIP：20件、H323：20件			

型名		AEC-70M	AEC-70	AEC-70i	AEC-70P （受注生産）
ユーザ インタフェース	キーパッド	ダイヤル＜0＞～＜＊＞＜＃＞、電源、接続、切断、保留／転送、マイクオフ、音量+、音量-、ファンクション＜F1＞～＜F3＞、設定、取消／戻る、電話帳			
	LED	電源／マイクオフ、接続／切断			
	LCD	128×64ドットグラフィカルバックライト付き			
	表示言語	日本語（漢字）			
	HTTPサーバ	あり			
寸法・質量	外形寸法	（W）300mm ×（D）300mm ×（H）70mm			
	本体質量	1.3kg以下			
動作環境	電源	専用ACアダプタ（AC100V　50／60Hz）			専用ACアダプタ （AC100V　50／60Hz） PoE （IEEE802.3af）
	消費電力	約12W			
	設置方向	横置き			
	周囲温度範囲	5℃～40℃			
	周囲湿度範囲	20%～80%（結露しないこと）			
外部規格	情報処理装置等電波障害自主規制協会基準 （VCCI）	クラスA情報処理装置			
	端末認定番号	AD08-0410001			

キー一覧

ここでは、本装置のキーで入力できる文字の内容を記載します。

キー		カナ（カナ）	英語（ABC）	数字（1 2 3）
ダイヤル		アイウエオァィゥェォ	?!-/¥&*()#"	1
		カキクケコ	ＡＢＣabc	2
		サシスセソ	ＤＥＦdef	3
		タチツテトッ	ＧＨＩghi	4
		ナニヌネノ	ＪＫＬjkl	5
		ハヒフヘホ	ＭＮＯmno	6
		マミムメモ	ＰＱＲＳpqrs	7
		ヤユヨャュョ	ＴＵＶtuv	8
		ラリルレロ	ＷＸＹＺwxyz	9
		ワヲン゛゜。｜「」、・！＇＃＄％＆＇（）＊＋，－．／：；＜＝＞？＠［¥］＾＿	.@/( ),-_:' ^&¥	0
		トーン カーソル左移動		
		カーソル右移動		
ファンクション	接続	個別接続 一斉接続		
	切断	回線切断		
	保留/転送	保留 保留転送		
	マイクオフ	マイクオフ リモートマイク		
	電源	スタンバイ設定/解除		
	電話帳	電話帳、一斉電話帳の登録、削除、編集		
	音量 ＋	スピーカ音量を上げる		
	音量 －	スピーカ音量を下げる		
	設定	設定		
	取消/戻る	取消、上位メニュー階層に戻る		

キー		カナ（カナ）	英語（ABC）	数字（1 2 3）
ソフトウェア ファンクション		ファンクションキー一覧を参照してください		
				
				

ファンクションキー一覧

ここでは、ファンクションキーとして表示されるアイコンの一覧を記載します。

アイコン	状　態	内　容
ｻｸｼﾞｮ	設　定	アドレス、電話番号、文字を削除
ON		リモートマイク・オン
OFF		リモートマイク・オフ
123		数字入力
ABC		英字入力
ｶﾅ		半角カナ入力
ｾｰﾌﾞ		設定をメモリにセーブ
ﾛｰﾄﾞ		設定をメモリからロード
+[dB]		レベルを+2dB 上げる
-[dB]		レベルを-2dB 下げる
ｷｬﾝｾﾙ	通　話	ステータス画面を終了
ｽﾃｰﾀｽ		ステータス画面を表示
.		アドレスセグメント”.”入力
ﾂｲｶ		多地点発信
ｱﾗｰﾑ		アラーム情報を表示
ﾘﾚｷ		発信・着信リレキを表示
▲		▶カーソルを上に移動
▼		▶カーソルを下に移動
▶		▷　◁カーソルを右に移動
◀		▷　◁カーソルを左に移動
[1]		1地点のステータス画面を表示
[2]		2地点のステータス画面を表示
[3]		3地点のステータス画面を表示
[4]		4地点のステータス画面を表示
[5]		5地点のステータス画面を表示
NEXT		画面を移動
TOP		画面を移動

アイコン	状　態	内　容
ﾍﾝｺｳ	電話帳	電話帳修正
ﾏｰｸ		電話帳
123		数字入力
ABC		英字入力
ｽﾍﾟｰｽ		半角スペース入力
ﾄｳﾛｸ		電話帳に登録
ｶﾅ		半角カナ入力
-		ポーズ入力

ポート番号一覧

ここでは、ルータに設定するポート番号を記載します。

プロトコル	ポート番号	備考
TCP	1720	—
	51000～51015	—
	51100	—
	59999	—
UDP	5060	—
	61000～61001	—
	61008～61010	—
	61012～61021	—

重要

- ルータにポートマッピング情報を設定してください。
- ルータの設定に関しては、ルータの説明書を参考にしてください。

第１１章　こんなときは

切断コード一覧

ここでは、切断コードについて説明します。

通話中に回線が切断されると、液晶画面に3桁の数字（切断コード）とメッセージが表示されます。
以下の数字の場合は、お客様ご自身で解決できる問題ですので、切断理由を参考にご確認ください。

H.323の場合

切断コード	切断理由
016	正しく切断されました。
017	相手側が話中です。しばらくたってから、もう一度おかけ直しください。
021	相手端末が着信を拒否しました。相手端末をご確認ください。
028	発信IP アドレスのフォーマットが無効か不完全番号です。発信IP アドレスをご確認ください。
088	相手端末の属性が一致していません。相手端末の属性をご確認ください。
920	回線が外れているか、または異常です。LAN ケーブルが抜けていないかご確認ください。
921	PPP リンク異常です。「IP ネットワーク設定」にて、「PPPoE」の設定を確認してください。設定内容については、契約されている回線事業者、またはインターネットプロバイダにご確認ください。
922	PPP 認証異常です。「IP ネットワーク設定」にて、「PPPoE」の「ユーザID」「パスワード」が正しく入力されているか確認してください。
923	自局IP アドレスが未設定です。「IP ネットワーク設定」にて、「DHCP」ならびに「IP アドレス」設定を確認してください。
924	自局IP アドレスが未取得です。「IP ネットワーク設定」にて、「DHCP」設定ならびにDHCP サーバの設定を確認してください。
925	DHCP 取得IP アドレスがリース切れとなりました。新しく取得されたIP アドレスを確認し、もう一度おかけ直しください。
926	DNS サーバアドレスが未取得です。DNSサーバアドレスの通知がありません。契約されている回線事業者、またはインターネットプロバイダにご確認ください。
927	要求URL がDNS に未登録です。ネットワーク管理者にご相談ください。
929	DNS サーバアドレスが未設定です。「IP ネットワーク設定」にて、「DNS」を設定してください。
930	ゲートキーパが見つかりませんでした。ゲートキーパ設定ならびに、ゲートキーパサーバをご確認ください。
931	ゲートキーパに登録できませんでした。ゲートキーパ設定をご確認ください。
932	ゲートキーパから参加を拒否されました。しばらくたってから、おかけ直しください。
933	接続相手が見つかりませんでした。接続相手端末の状態ならびに、電話番号をご確認ください。
936	相手端末と通信できません。TCP コネクションに対するエラーを受信しました。相手端末をご確認ください。
937	相手の応答がありません。TCP コネクションでタイムアウトが発生しました。回線ならびに相手端末をご確認ください。
938	相手を呼びましたが、誰も出ません。しばらくたってから、もう一度おかけ直しください。
939	IP 回線が混み合って、通信速度が低下しました。IP 回線はベストエフォート型のため、回線状況により通信帯域が低下して回線が切断される場合があります。
960	発信しようとしたIP アドレスがIP アドレスではありません。入力されたIP アドレスが、255 を超えています。正しいIP アドレスを入力してください。
962	オフフック後一定時間内にIP アドレスの入力がありませんでした。再度オフフックし、相手端末のIP アドレスを入力してください。
992	この番号へは発信できません。発信番号を確かめて、再度おかけ直しください。
–	対応エラーコードなし。Voicepointセンターへお問い合わせください。

»» SIPの場合

切断コード	切断理由
021	相手端末が着信を拒否しました。相手端末をご確認ください。
400	SIP サーバ通信メッセージにエラーがありました。設定内容を確認してください。
401	ユーザ認証が必要です。設定したユーザ名・パスワードを確認してください。
402	料金の支払いが必要です。管理者へ確認してください。
403	接続を拒否されました。管理者へ確認してください。
404	指定相手またはサーバは存在しません。指定先のSIP アドレスを再確認してください。
405	指定した相手との通信が許可されていません。
406	SIP サーバでは、未サポートの内容が検出されました。管理者へ確認してください。
407	Proxy サーバ上で承認が必要です。管理者へ確認してください。
408	リクエストがタイムアウトしました。
409	SIP サーバ内部エラーのため、実行されませんでした。管理者へ確認してください。
410	指定したサーバは現在利用できません。
411	通信を拒否しました。管理者へ確認してください。
412	サーバ上のテストで不正と判断されました。管理者へ確認してください。
413	サーバの許容範囲を超えたため、拒否されました。管理者へ確認してください。
414	サーバ側でメッセージが処理できませんでした。管理者へ確認してください。
415	相手先でサポートしていないCODEC であるため、通信を拒否されました。相手先のCODEC の設定を確認してください。
416	サーバにて、承認されないため、接続できません。管理者へ確認してください。
417	サーバ側でメッセージの処理ができませんでした。管理者へ確認してください。
420	Voicepoint IP からのメッセージ内容をサーバが理解できませんでした。
421	サーバ側でメッセージの処理ができませんでした。管理者へ確認してください。
423	サーバから拒否されました。時間をおいてから、再度かけ直してください。
480	指定した相手と現在通話ができません。時間をおいてから、再度かけ直してください。
481	相手先がサーバ内に存在しません。相手先の番号等の情報を再確認してください。
482	サーバ内の状態エラーです。管理者へ確認してください。
483	サーバ内の状態エラーです。管理者へ確認してください。
484	サーバ内の状態エラーです。管理者へ確認してください。
485	サーバ側でメッセージを処理できませんでした。SIP 設定の内容を再確認してください。
486	現在通話中です。
487	正常に切断しました。
488	通信を拒否されました。
491	同一ユーザが存在する可能性があります。管理者へ確認してください。
493	解読不能（暗号化されています）。
500	サーバ内の状態エラーです。管理者へ確認してください。
501	必要な機能が未サポートのため、接続できませんでした。
502	不正なメッセージを受信しました。時間をずらしてから、再度かけ直してください。
503	サーバは一時的な過負荷またはメンテナンスのため、一時的にリクエストを実行できません。時間をずらしてから、再度かけ直してください。
504	DNS などのサーバからレスポンスを受信できませんでした。管理者へ確認してください。
505	サーバはSIP プロトコルのバージョンをサポートしていません。管理者へ確認してください。
513	メッセージの処理ができません。サーバにて処理できないサイズのメッセージ長を受信した可能性があります。

切断コード	切断理由
600	指定した相手が、現在通話中です。時間をずらしてから、再度かけ直してください。
603	指定した相手が、着信を拒否しました。
604	指定した相手は存在しません。相手先の番号等の情報を再確認してください。
606	コミュニケーションを望んでいるが記述されたセッションを十分にサポートできません。
974	指定した相手に暗号化機能がありません。暗号化を使用しないか、暗号化キーを確認してください。

SIP 機能による通信の場合でも、H.323接続の場合に記載されている切断コードが通知される場合があります。

故障かな？と思ったら

ここでは、「故障かな？」と思ったときの症状と対処方法について説明します。

症状	対策
電源ランプ（橙）が点灯しない	→ ACアダプタが電源コンセントに接続されているか確認してください。 → 電源コンセントからACアダプタのプラグを抜き、再度電源コンセントに接続してください。
電話がかからない、または鳴らない	→ アナログ電話用アダプタと電話回線が接続されているか確認してください。 → モード選択が正しいか 確認してください。 → ダイヤルモードの設定が正しいか確認してください。 → 着信音の調整（リンガ音量）がオフになっていないか確認してください。
スピーカから相手の声が聞こえない	→ ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 → オーディオ1入出力をご使用の場合、［接続／切断］ランプが緑点灯（接続状態）になっているか確認してください。 → ボリューム設定が［0］になっていないか確認してください。 → 相手がマイクオフになっていないか確認してください。 → 入出力音声レベルを調整してください。
自分の声が相手に伝わらない	→ ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 → ［接続／切断］ランプが緑点灯（接続状態）になっているか確認してください。 → マイクオフになっていないか確認してください。 → 入出力音声レベルを調整してください。 → 本体と話者の距離は半径 1m程度が目安です。本体に近づいてお話ください。
ハウリングがおこる	→ 壁や遮へい物のそばから離してください。 → スピーカやマイクロホンをふさいでいないか確認し、適当な音量に調節してください。 → エコーサプレッサ設定を調節してください。（例：L→M）
IP電話で発信してもつながらない	→ DHCPの設定または、IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイの設定が正しいか確認してください。 → 相手の番号（IPアドレス）が正しいか確認してください。 → 相手先端末の通信プロトコルが発信元と合っているか確認してください。

保証書とアフターサービス

■ 保証書について

- この製品には保証書がついています。
- ご購入時に、「販売店名・保証期間・購入年月日」が記入されていることをご確認の上、大切に保管してください。
- 販売店記入がない場合は領収書を提示していただくことがありますので、領収書も一緒に保管してください。
- 保証期間はご購入日から 1 年間です。
- 保証書を紛失したり、分解や改造したりすると保証期間内であっても修理は有料になります。また、修理できないことがあります。

■ アフターサービスについて

- 修理を依頼する前に、もう一度本書をご覧になり、故障かどうかご確認の上、お買い求めの販売店にご依頼ください。

■ 保証期間中の修理は

- 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

- 修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により、有料で修理させていただきます。

■ 修理を依頼するときは、次のことをお知らせください

- お名前、住所、電話番号
- 機種名：Voicepoint IP AEC-70M/70/70i/70P
- ご購入年月日
- シリアルナンバー（本体底面の銘版に記載されている本体製造番号）
- 故障の状態（できるだけ詳しく）

Voicepoint センター

フリーダイヤル　0120-343010
ホームページ　http://www.nec.co.jp/solution/engsl/pro/kaigi/

NEC エンジニアリング

2012.5（2版）
E21-046296-003